

附属資料

二酸化炭素消火設備の操作手順

二酸化炭素消火設備の操作手順

目次

1	集合管用閉止弁の操作手順	1
2	操作管用閉止弁の操作手順	28
3	手動起動装置の操作手順	40
4	制御盤の操作手順	96
5	操作管の取外し手順	111

1 集合管用閉止弁の操作手順

番号	会社名	型式番号	頁	動画
101	エマソンバルブアンドコントロールジャパン株式会社	HGF-14	2	○
102	エア・ウォーター防災株式会社/ホーチキ株式会社	KMV(Ⅱ)、HE108(レバータイプ)	3	×
103	エア・ウォーター防災株式会社/ホーチキ株式会社	KMV(レバータイプ)	4	×
104	エア・ウォーター防災株式会社/ホーチキ株式会社	KMV、KMV(Ⅱ)、HE108(ハンドルタイプ)	5	×
105	株式会社コアツ	YSL/YFL	6	○
106	株式会社コアツ	YFG	7	○
107	株式会社コアツ	BVS20A	8	○
108	東京計器株式会社	QSV-〇〇 他	9	×
109	東京計器株式会社	QSV-B〇〇	10	×
110	東京計器株式会社	QSV-BG〇〇(ハンドル)	11	×
111	東京計器株式会社	QSV-N〇〇	12	×
112	ニッタン株式会社	NF	13	×
113	日本ドライケミカル株式会社	HB-GF(25～100A)	14	×
114	日本ドライケミカル株式会社	HB-GF(125～150A)	15	×
115	日本ドライケミカル株式会社	HB-DF(25A～80A)	16	×
116	日本ドライケミカル株式会社	HB-DF(100A～150A)	17	×
117	日本ドライケミカル株式会社	HB-LM	18	×
118	日本ドライケミカル株式会社	HB-NF(65A～80A)	19	×
119	日本ドライケミカル株式会社	HB-NF(100A～150A)	20	×
120	日本ドライケミカル株式会社	HB-N	21	×
121	株式会社初田製作所	HMV-〇〇Y	22	×
122	ホーチキ株式会社	GCV-AH(レバータイプ 20A～100A)	23	○
123	ヤマトプロテック株式会社	YCMV(80A 以下)、YCMV-N	24	×
124	ヤマトプロテック株式会社	YCMV(100A 以上)	25	×
125	ヤマトプロテック株式会社	YMV(80A 以下)	26	×
126	ヤマトプロテック株式会社	YMV-〇〇(100A 以上)	27	×

2 操作管用閉止弁の操作手順

番号	会社名	型式番号	頁	動画
201	エア・ウォーター防災株式会社	KSV1、KSV2	29	○
202	エア・ウォーター防災株式会社	KSV1(新型)	30	○
203	株式会社コアツ	BVS4	31	○
204	東京計器株式会社	QSV-6、QSV-6A	32	○
205	日本ドライケミカル株式会社	HB-K-01	33	○
206	日本ドライケミカル株式会社	HB-KD-01	35	○
207	日本フェンオール株式会社	NFSV-01	36	○
208	日本フェンオール株式会社	NFMB(遠隔操作タイプ)	37	×
209	株式会社初田製作所	HMV-6B	38	○
210	モリタ宮田工業株式会社(宮田工業株式会社)	SGCV	39	○

3 手動起動装置の操作手順

番号	会社名	型式番号	頁	動画
301	エア・ウォーター防災株式会社	P10R-JAM、P9R-JAM	41	○
302	エア・ウォーター防災株式会社	P9JAM	43	○
303	エア・ウォーター防災株式会社	P8JAM	45	○
304	エア・ウォーター防災株式会社	P8、P7※	47	×
305	エア・ウォーター防災株式会社	P5※	48	×
306	エア・ウォーター防災株式会社	P4、P2、P1※	49	○
307	株式会社コアツ	CB	50	○
308	東京計器株式会社	OP-SRS1、OPC-RS1 他	51	○
309	東京計器株式会社	OP-US-T、OP-US-B 他	54	×
310	東京計器株式会社	CPS111 他	56	×
311	東京計器株式会社	CPV111 他	58	×
312	東京計器株式会社	CPV112 他	60	×
313	東京計器株式会社	TK-SA1SK、TK-SA2SK 他	62	×
314	ニッタン株式会社	NRSA-2	64	×
315	ニッタン株式会社	NRSA-3	66	○
316	ニッタン株式会社f	NRSA-4、NRSA-5	68	○
317	ニッタン株式会社	NRS-1	70	×
318	ニッタン株式会社	NRS-1(手動専用)	72	×
319	ニッタン株式会社	CAR-M、CAU-M※	73	×
320	ニッタン株式会社	CAR-M、CAU-M(手動専用)	74	×
321	ニッタン株式会社	不明(手動専用)	75	×
322	日本ドライケミカル株式会社	OB-CA	76	○
323	日本フェンオール株式会社	CMS-12	78	○
324	日本フェンオール株式会社	CMS-22	80	○
325	株式会社初田製作所	SPB-24	82	○
326	ホーチキ株式会社	GCK-E	84	○
327	ホーチキ株式会社	GCK-C	86	×
328	ホーチキ株式会社	GCK-A、B	88	○
329	モリタ宮田工業株式会社(宮田工業株式会社)	MA-02	90	○
330	ヤマトプロテック株式会社	TY4	92	×
331	ヤマトプロテック株式会社	TY2、TY3	94	×

※がついている手動起動装置は、自動手動切替え装置が設けられていないため、制御盤で起動方式を切り替える必要があります。制御盤の型式番号を確認し、「4 制御盤操作手順」に掲載している同一の型式番号の操作手順により、切替え操作を実施してください。

4 制御盤の操作手順

番号	会社名	型式番号	頁	動画
401	エア・ウォーター防災株式会社	CA、CBA	97	○
402	エア・ウォーター防災株式会社	CSA、CSBA	98	○
403	エア・ウォーター防災株式会社	CPA、CPBA	99	○
404	エア・ウォーター防災株式会社	RKPSA	100	○
405	エア・ウォーター防災株式会社	KTSMSB 他	101	×
406	株式会社コーアツ	TC	102	○
407	株式会社コーアツ	TC110V-GS、TC110V-GM	103	○
408	東京計器株式会社	RP111、RPV111 他	105	×
409	ニッタン株式会社	5C	106	○
410	日本フェンオール株式会社	CCPA 型(1回線用)	107	○
411	日本フェンオール株式会社	CCPA 型(多回線用)	108	○
412	モリタ宮田工業株式会社(宮田工業株式会社)	UCP-A	110	○

5 操作管の取外し手順

番号	会社名	型式番号	頁	動画
501	エア・ウォーター防災株式会社	—	112	○
502	株式会社コーアツ	—	113	○
503	東京計器株式会社	—	114	○
504	ニッタン株式会社	—	115	○
505	日本フェンオール株式会社	—	116	○
506	株式会社初田製作所	—	117	○
507	ヤマトプロテック株式会社	—	118	×

1 集合管用閉止弁の操作手順

101 エマソンバルブアンドコントロールジャパン株式会社 HGF-14 型

(旧:ペンテアバルブアンドコントロールジャパン株式会社 又は 北村バルブ製造株式会社)

<使用メーカー>

エア・ウォーター防災株式会社	日本フェンオール株式会社	ニッタン株式会社
東京計器株式会社 (旧:株式会社トキメック)	モリタ宮田工業株式会社 (旧:宮田工業株式会社)	日本ドライケミカル株式会社
ヤマトプロテック株式会社	ホーチキ株式会社	株式会社初田製作所

(1) 外観

名称:リミットスイッチ

機能:閉止弁の開閉信号
を接点出力する。

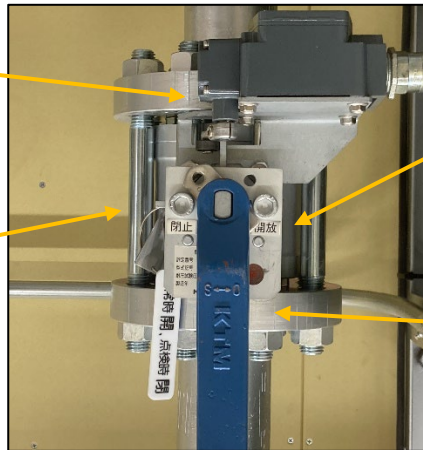
名称:開閉表示

機能:閉止弁の開閉位置を示す。

名称:閉止弁本体

機能:ボール弁によりガスの
流れを閉止する。

名称:レバー

機能:閉止弁の開閉操作を行う。
通常時レバーは取り外され
ている。

(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

主管用閉止弁



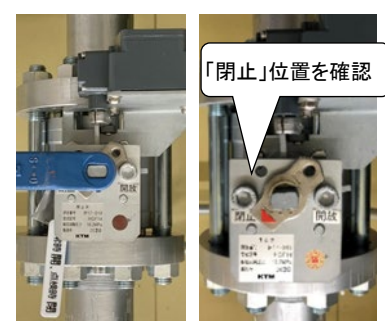
① 設置位置の確認

- ・集合管から先の配管に設置される
(選択弁がある場合は、集合管と選
択弁の間)。



② レバーをセットする

- ・「開放」位置であることを確認する。
- ・付属のレバーを閉止弁の軸にセット
し、時計回りに回す。



③ レバーを回す

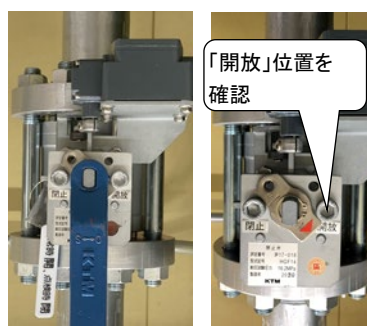
- ・配管と 90° となる位置まで回し、
「閉止」位置であることを確認する。
- ・制御盤で「閉止」表示を確認する。

イ 開放する場合(退室時)



① レバーをセットする

- ・「閉止」位置であることを確認する。
 - ・付属のレバーを閉止弁の軸にセットする。
- 注) 開放する際は、制御盤が火災または起
動の状態でないこと及び防護区画に人がい
ないことを必ず確認してから操作すること。



② レバーを回す

- ・配管と並行になる位置まで反時計回りに回
し、「開放」位置であることを確認する。
- ・制御盤で「開放」表示を確認する。

↓閉止する場合(入室時)

動画を
確認!

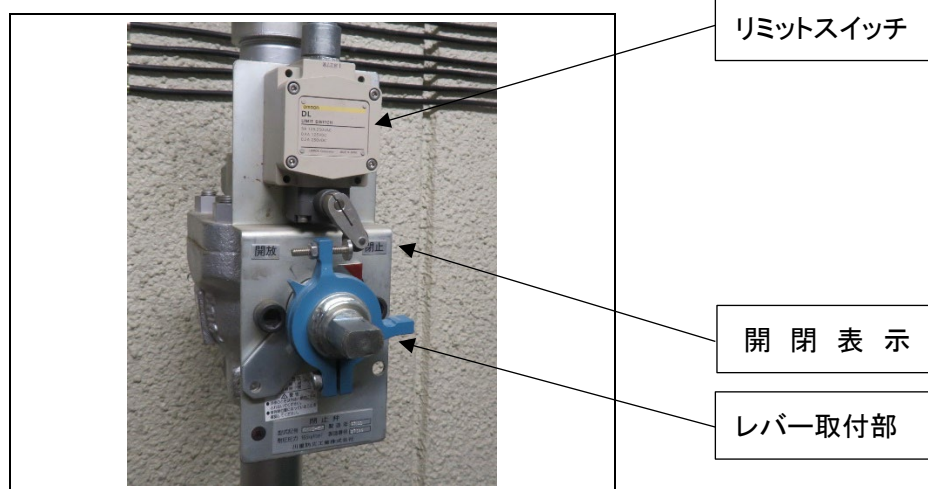
↓開放する場合(退室時)



102 エア・ウォーター防災株式会社 KMVⅡ型、HE0108型(レバータイプ)

ホーチキ株式会社 KMVⅡ型(レバータイプ)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

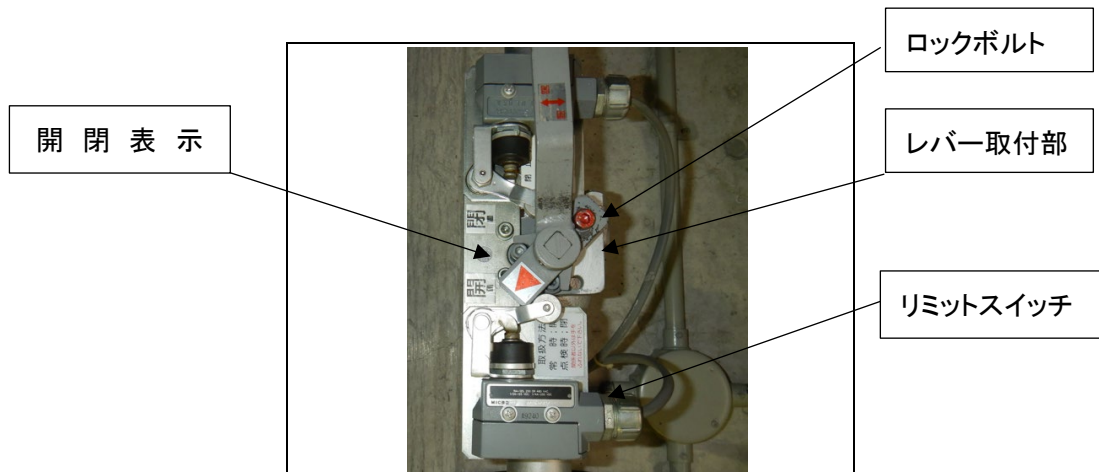
① 設置位置の確認 二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の主配管に設置される。	② レバーを取付ける。 閉止弁にレバーを取付けて時計方向に回す。	③ 閉止状態を確認する。

イ 開放する場合(退室時)

④ レバーを取付ける。 閉止弁にレバーを取付けて反時計方向に回す。	⑤ 開放状態を確認する。

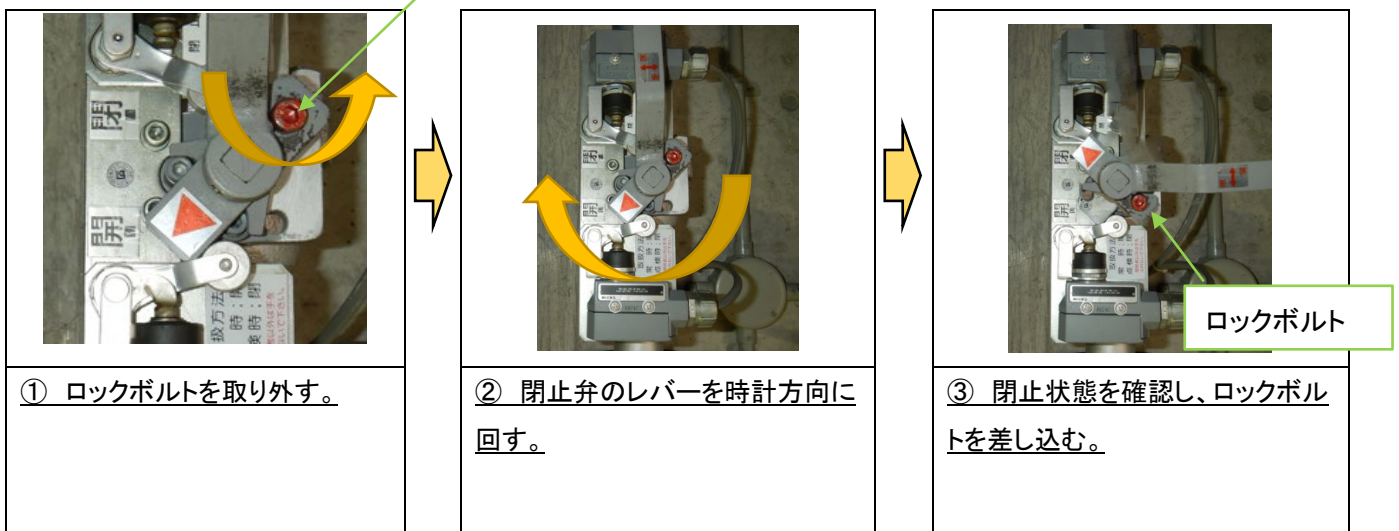
103 エア・ウォーター防災株式会社 KMV 型(80A 以下のレバータイプ)
ホーチキ株式会社 KMV 型(80A 以下のレバータイプ)

(1) 外観

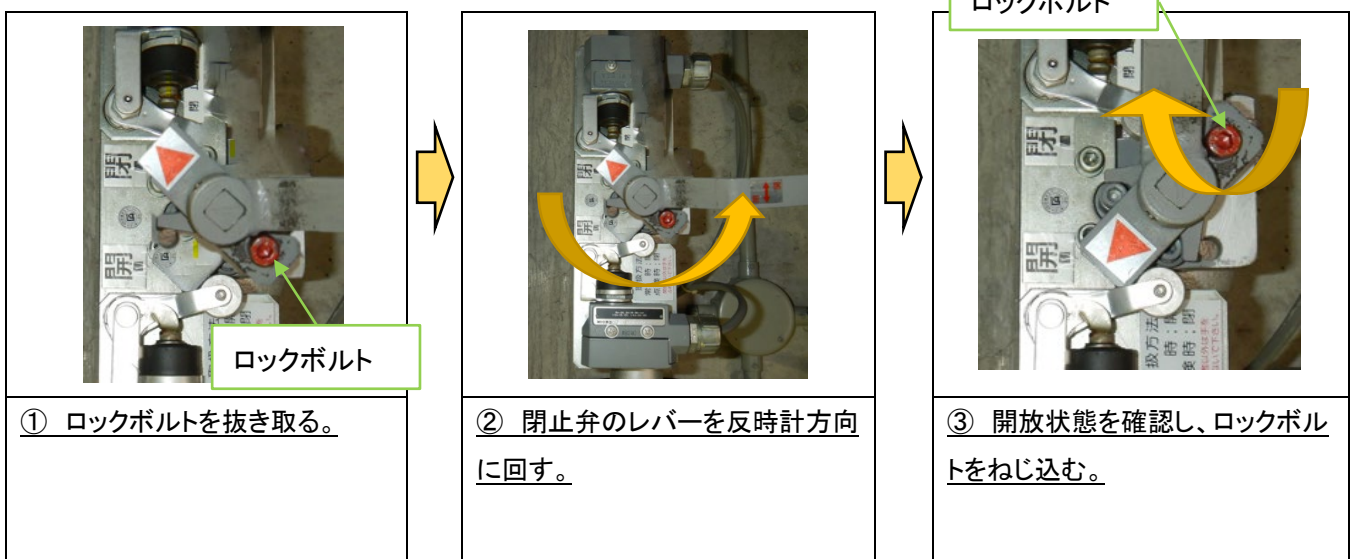


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



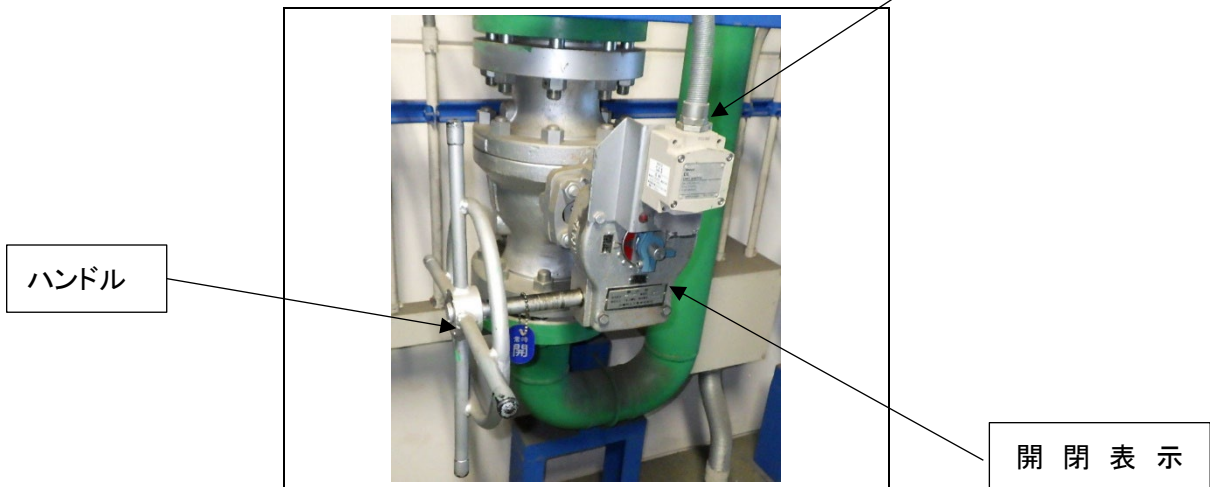
イ 開放する場合(退室時)



104 エア・ウォーター防災株式会社 KMV 型、KMV II 型(ハンドルタイプ)

ホーチキ株式会社 KMV 型、KMV II 型(ハンドルタイプ)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の主配管に設置される。	② ハンドルを回す 閉止弁に設置されているハンドルを時計方向に回しきる。	③ 閉止状態を確認する

イ 開放する場合(退室時)

① レバーを取付ける 閉止弁に設置されているハンドルを反時計方向に回しきる。	② 開放状態を確認する

105 株式会社コーアツ YSL型、YFL型

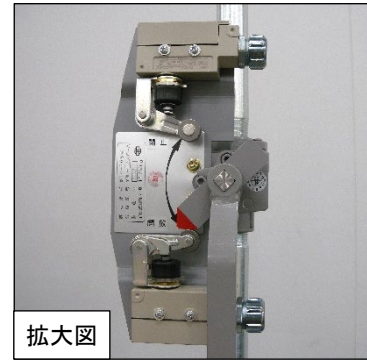
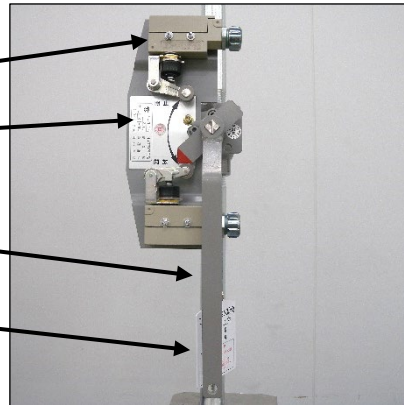
(1) 外観

リミットスイッチ

名板

レバー

取扱説明名板



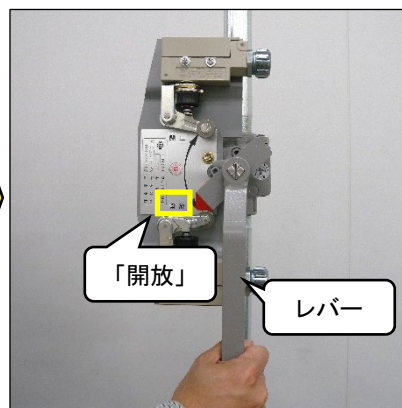
(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



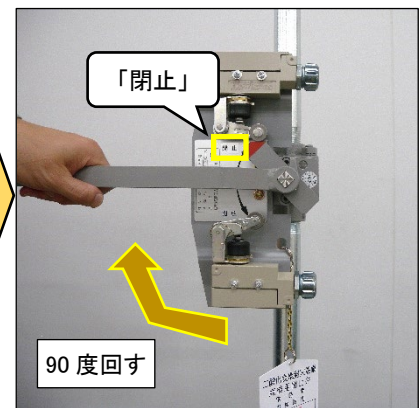
① 設置位置の確認

ポンベ庫に設置されている閉止弁を確認します。



② レバーをつかむ

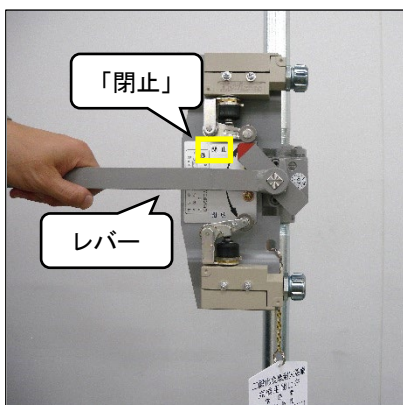
状態表示「開放」を確認し、レバーをつかみます。



③ レバーを回す

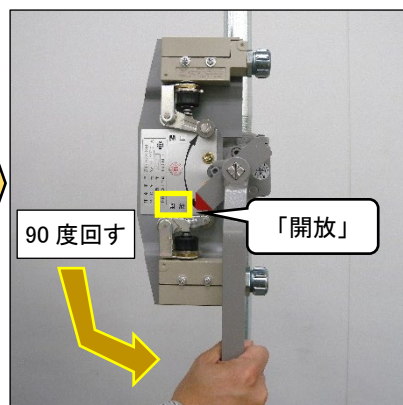
レバーを90度回して、状態表示を「閉止」にします。

イ 開放する場合(退室時)



① レバーをつかむ

状態表示「閉止」を確認し、レバーをつかみます。



② レバーを回す

レバーを90度回して、状態表示を「開放」にします。

↓閉止する場合(入室時)



動画を
確認!

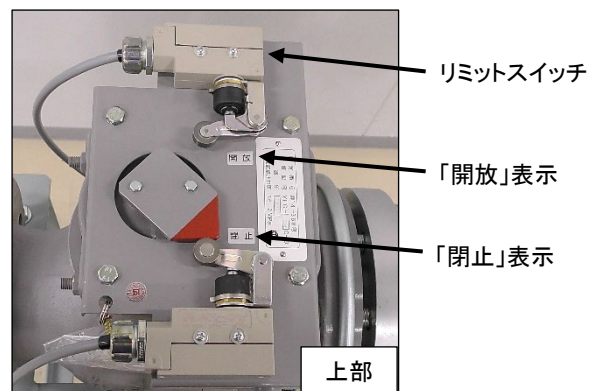
↓開放する場合(退室時)



106 株式会社コーアツ YFG型

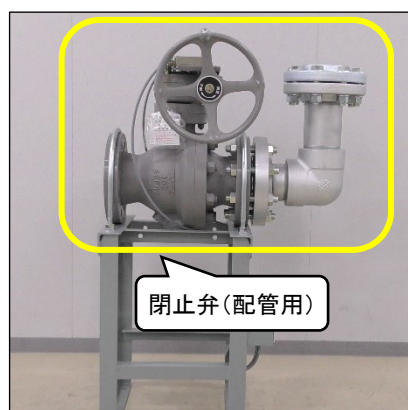
(1) 外観

リミットスイッチ
(上部)
ハンドル
取扱説明名板
ハンドルノブ
弁箱



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



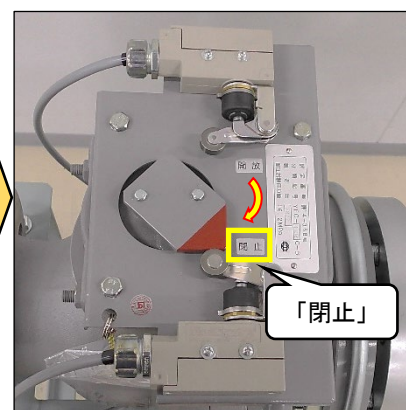
① 設置位置の確認

ポンペ庫に設置されている閉止弁を確認します。



② ハンドルをつかむ

状態表示「開放」を確認し、ハンドルノブをつかみます。



③ ハンドルを回す

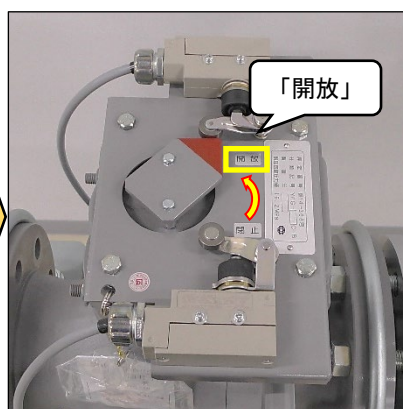
ハンドルを止まるまで回して、状態表示を「閉止」にします。

イ 開放する場合(退室時)



① ハンドルをつかむ

状態表示「閉止」を確認し、ハンドルノブをつかみます。



② ハンドルを回す

ハンドルを止まるまで回して、状態表示を「開放」にします。

↓閉止する場合(入室時)



動画を
確認！

↓開放する場合(退室時)



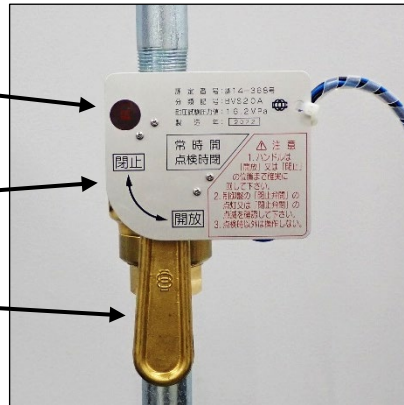
107 株式会社コーアツ BVS20A型

(1) 外観

マイクロスイッチ
(名板裏側)

名板

レバー



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認
ポンベ庫に設置されている閉止弁を確認します。

② レバーをつかむ
状態表示「開放」を確認し、レバーをつかみます。

③ レバーを回す
レバーを90度回して、状態表示を「閉止」にします。

イ 開放する場合(退室時)

① レバーをつかむ
状態表示「閉止」を確認し、レバーをつかみます。

② レバーを回す
レバーを90度回して、状態表示を「開放」にします。

↓閉止する場合(入室時)



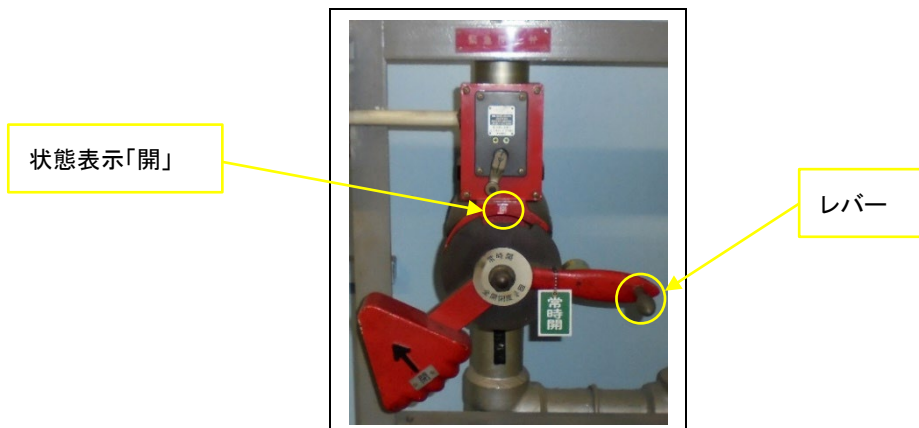
動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)



108 東京計器株式会社(株式会社トキメック) QSV-〇〇型 他

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

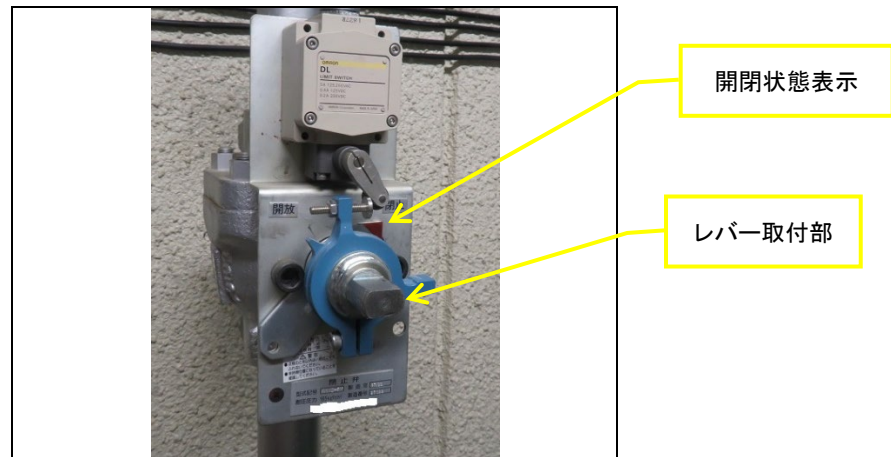
① 設置位置の確認 主配管に設置されている。	② レバーを回す 状態表示「開」を確認し、レバーを時計回りに約 3/4 回転させ、「閉」にする。	③ 状態の確認 状態表示が「閉」になっていることを確認する。

イ 開放する場合(退室時)

① レバーを回す 防護区内に人がいないことを確認し、レバーを反時計回りに約 3/4 回転させ、「開」にする。	② 状態の確認 状態表示が「開」になっていることを確認する。

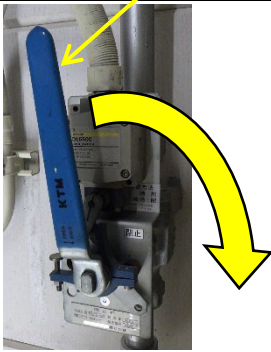
109 東京計器株式会社(株式会社トキメック) QSV-BOO型

(1) 外観

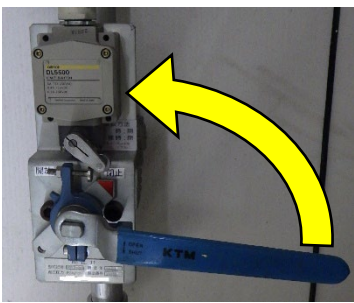


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

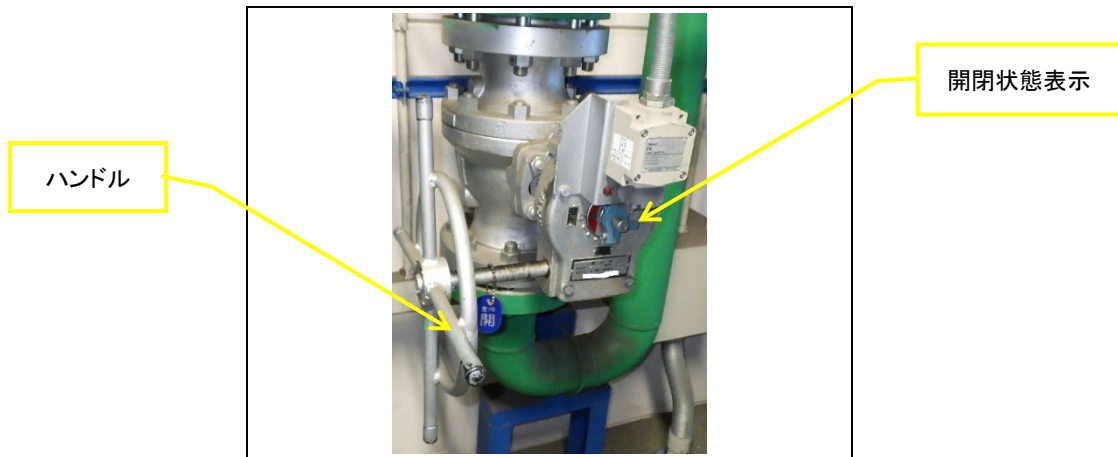
		
① 設置位置の確認 消火設備の主配管に設置されている。	② レバーを取り付け、時計回りに約 90° レバーを回す。	③ 開閉状態表示の赤い矢印が閉止位置にあることを確認してレバーを取り外す。

イ 開放する場合(退室時)

	
① 防護区画に人が居ないことを確認して、レバーを取り付け、反時計回りに約 90° レバーを回す。	② 開閉状態表示の赤い矢印が開放位置にあることを確認する。

110 東京計器株式会社(株式会社トキメック) QSV-BG〇〇型(ハンドル)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

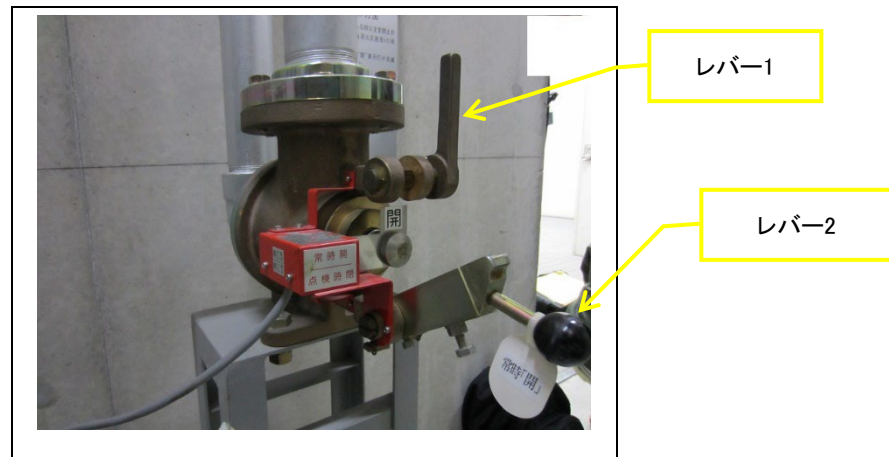
① <u>設置位置の確認</u> 消火設備の主配管に設置されている。	② <u>ハンドルを時計回りに回しきる。</u>	③ <u>開閉状態表示の矢印が閉止位置にあることを確認する。</u>

イ 開放する場合(退室時)

① <u>防護区画に人が居ないことを確認して、ハンドルを反時計回りに回しきる。</u>	② <u>開閉状態表示の矢印が開放位置にあることを確認する。</u>

111 東京計器株式会社(株式会社トキメック) QSV-NOO型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

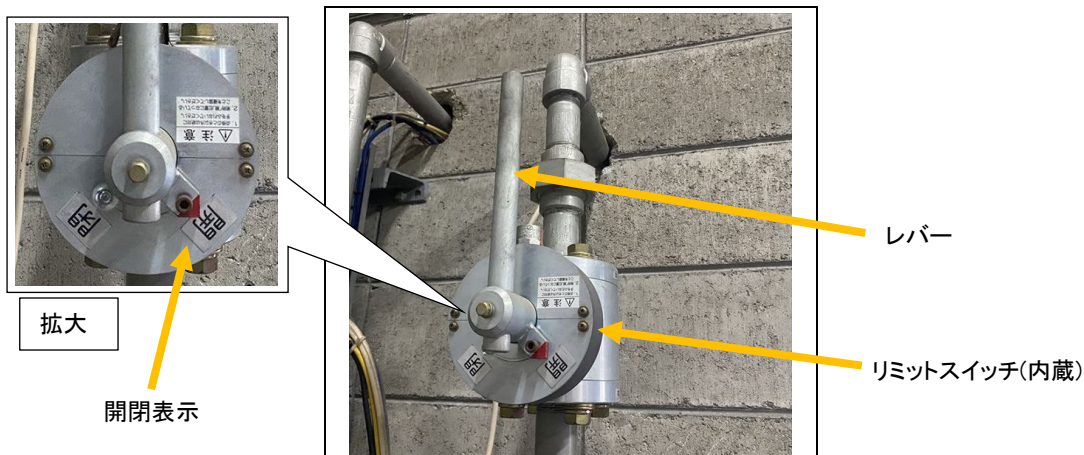
① 設置位置の確認 消火設備の主配管に設置されている。	② レバー2を手でつかみ、奥側へ押し込んだ状態でレバー1を手前に引いてロックする。	③ レバー2がロックされ正面から閉表示が確認できる。

イ 開放する場合(退室時)

① 防護区画に人が居ないことを確認して、レバー1を手でつかみ、奥へ倒す。	② レバー2が手前に倒れ正面から開表示が確認できる。

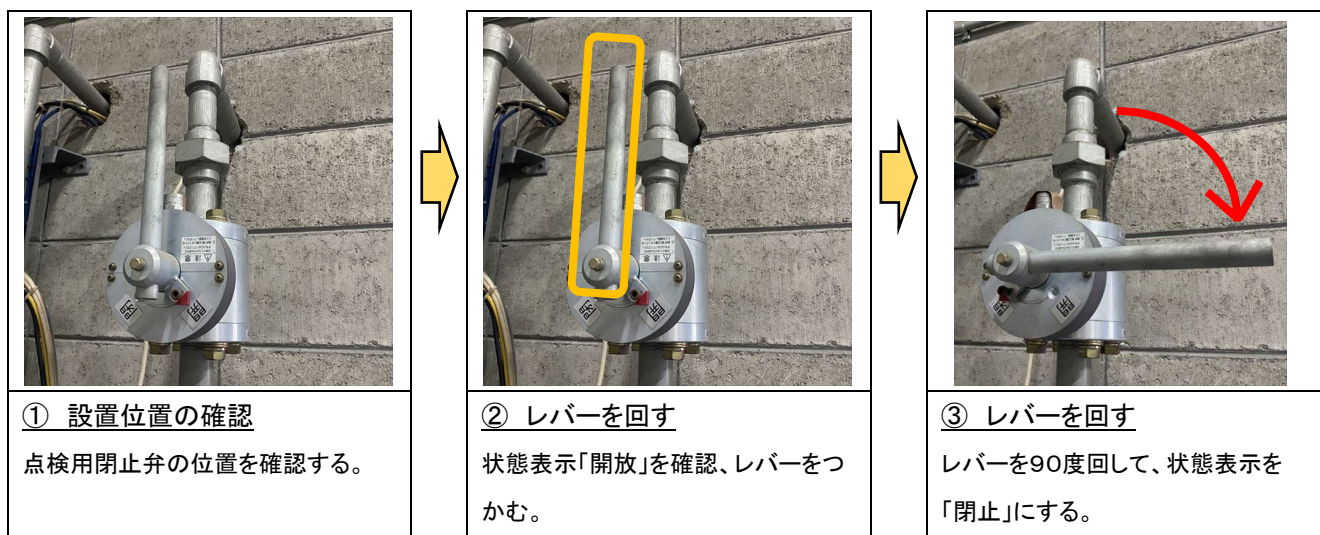
112 ニッタン株式会社 NF 型

(1) 外観

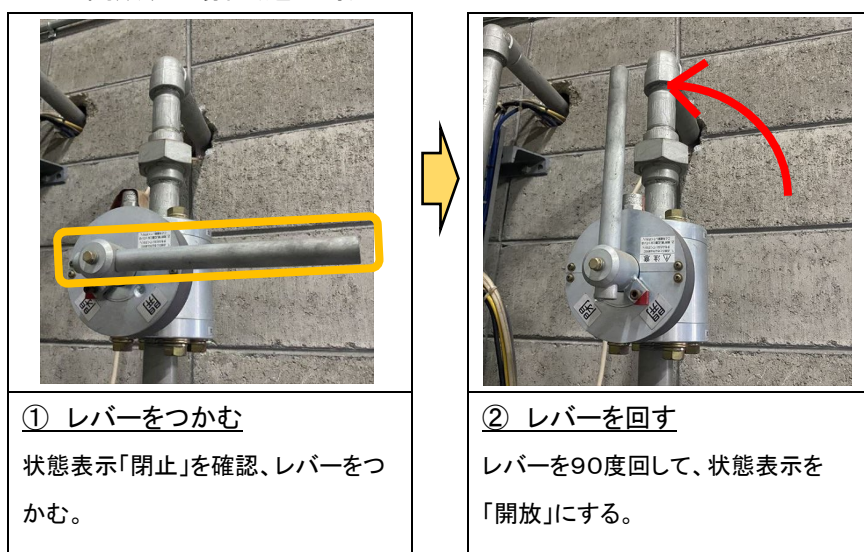


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

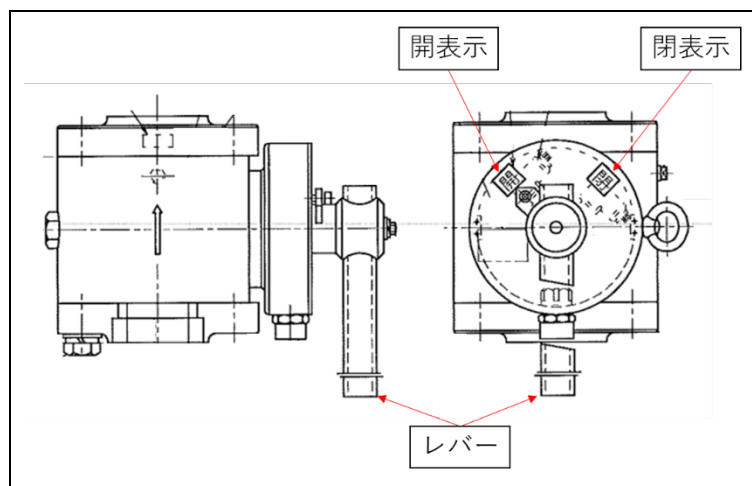


イ 開放する場合(退室時)



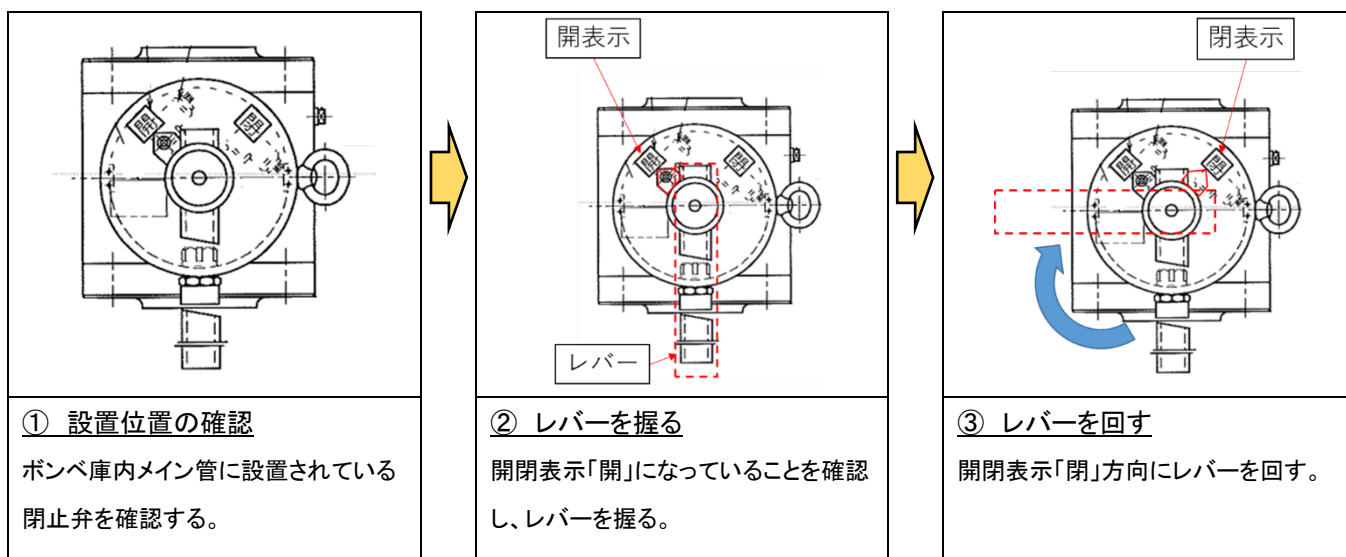
113 日本ドライケミカル株式会社 HB-GF 型(25A~100A)

(1) 外観

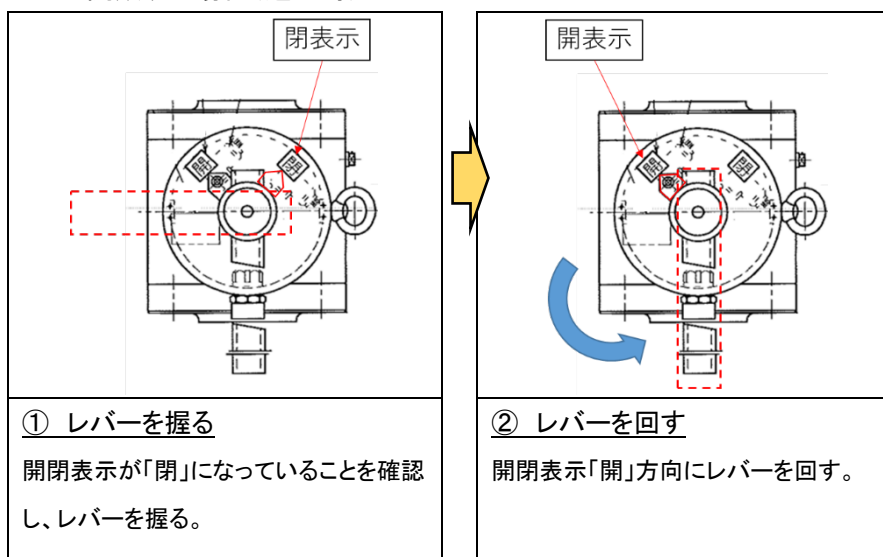


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

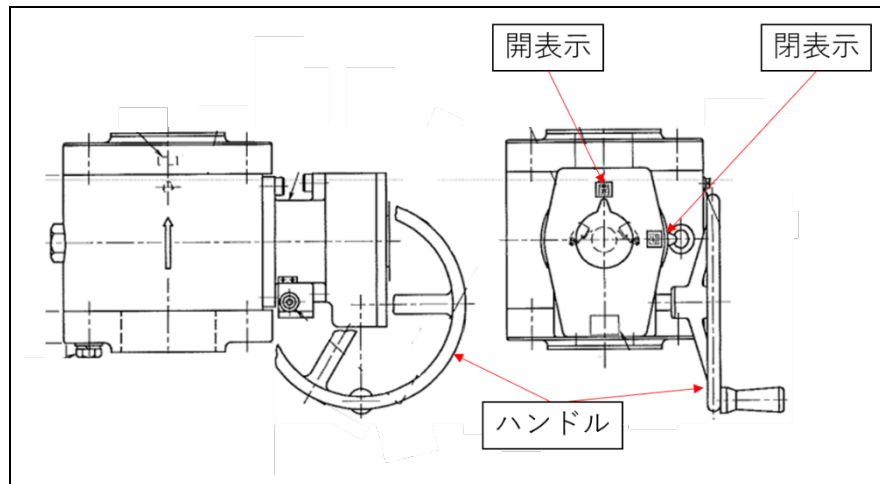


イ 開放する場合(退室時)



114 日本ドライケミカル株式会社 HB-GF 型(125A～150A)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

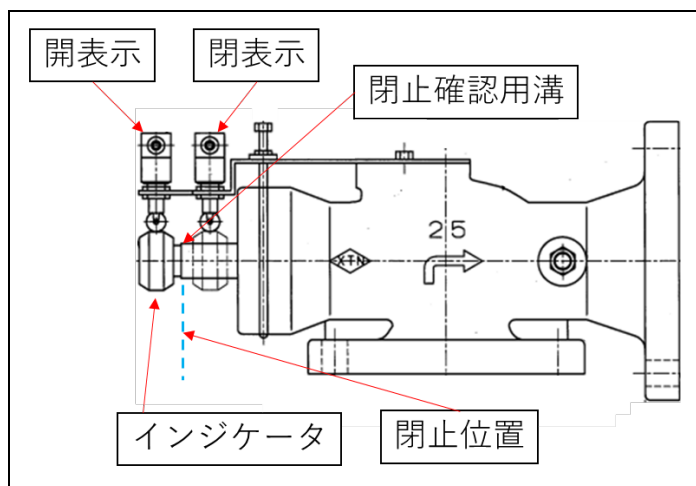
① 設置位置の確認 ポンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認する。	② ハンドルを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、ハンドルを握る。	③ ハンドルを回す 開閉表示「閉」方向にハンドルを回す。

イ 開放する場合(退室時)

① ハンドルを握る 開閉表示が「閉」になっていることを確認し、ハンドルを握る。	② ハンドルを回す 開閉表示「開」方向にハンドルを回す。

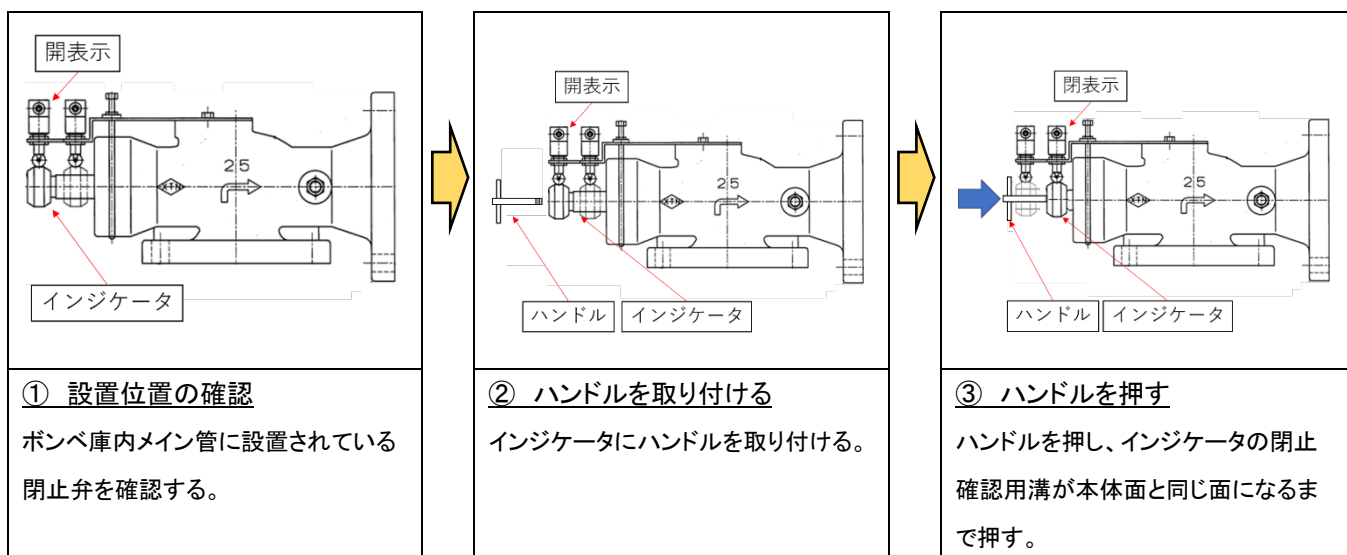
115 日本ドライケミカル株式会社 HB-DF 型(25A~80A)

(1) 外観

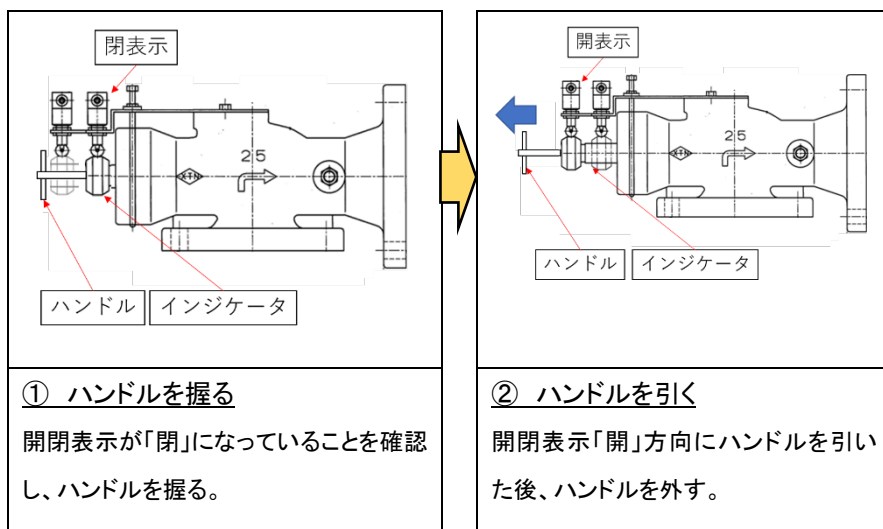


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

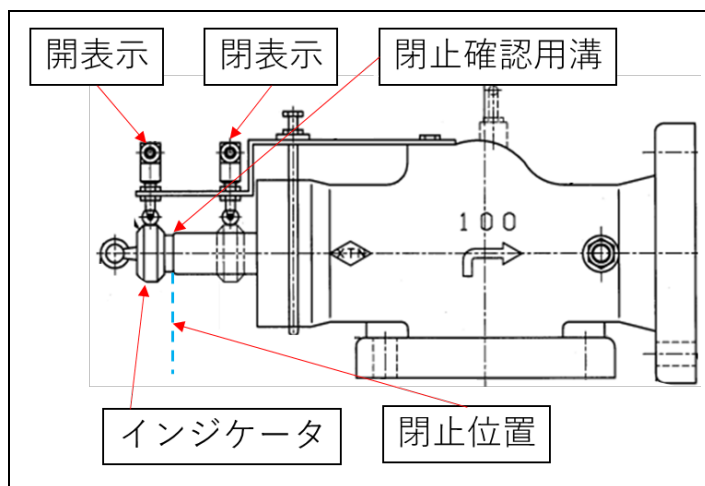


イ 開放する場合(退室時)



116 日本ドライケミカル株式会社 HB-DF 型(100A~150A)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

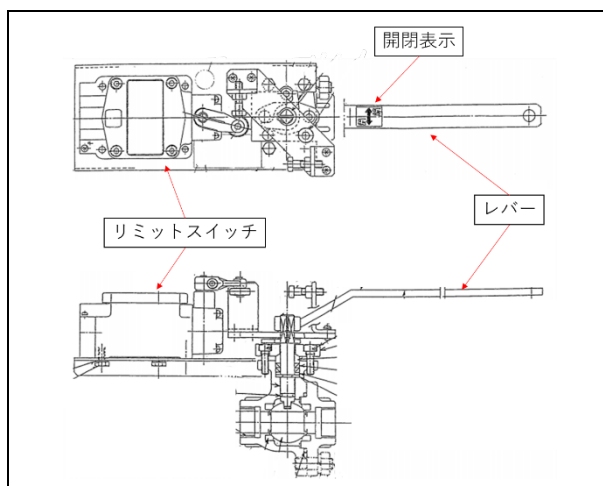
① 設置位置の確認 ポンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認する。	② 点検用バーを取り付ける インジケータに点検用バーを取り付ける。	③ 点検用バーを押す ・バーを押す。 ・確実に閉止するため、インジケータの閉止確認用溝が本体面と同じ面になるよう写真のようにテコで押す。

イ 開放する場合(退室時)

① 点検用バーを取り付ける 開閉表示が「閉」になっていることを確認し、バーを握る。	② バーを引く 開閉表示「開」方向にハンドルを引いた後、バーを外す。

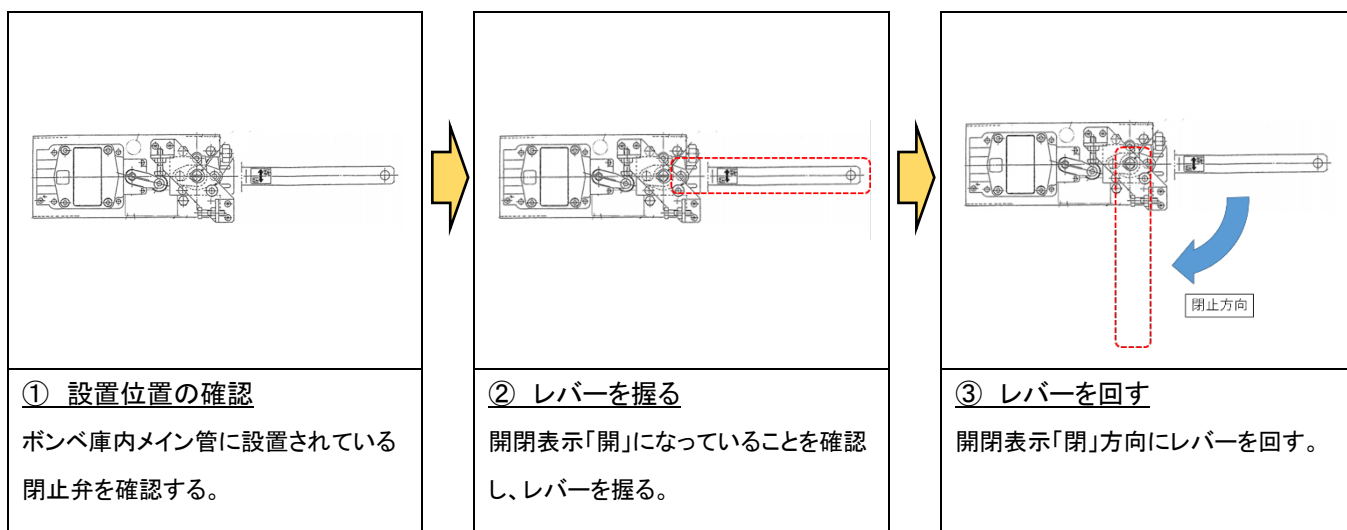
117 日本ドライケミカル株式会社 HB-LM 型

(1) 外観

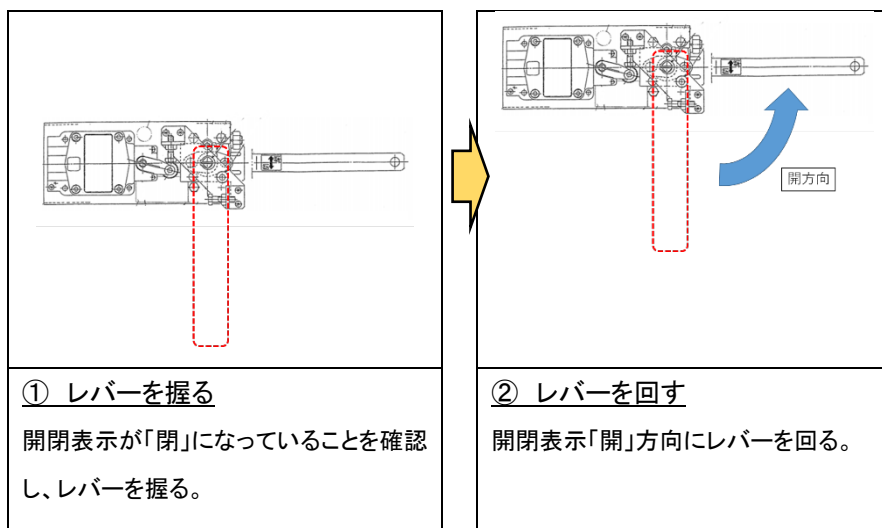


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

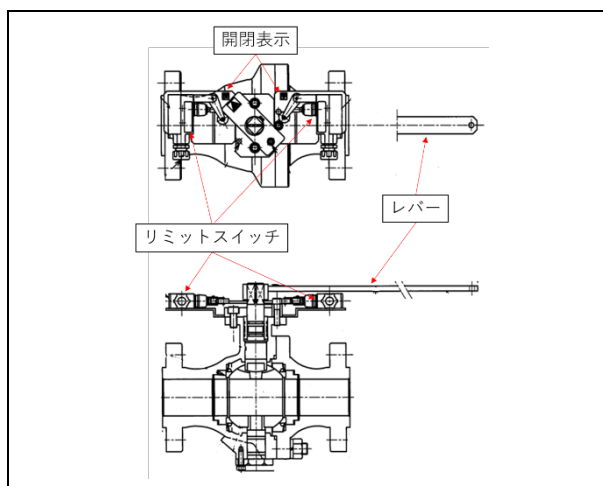


イ 開放する場合(退室時)



118 日本ドライケミカル株式会社 HB-NF 型(65A~80A)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

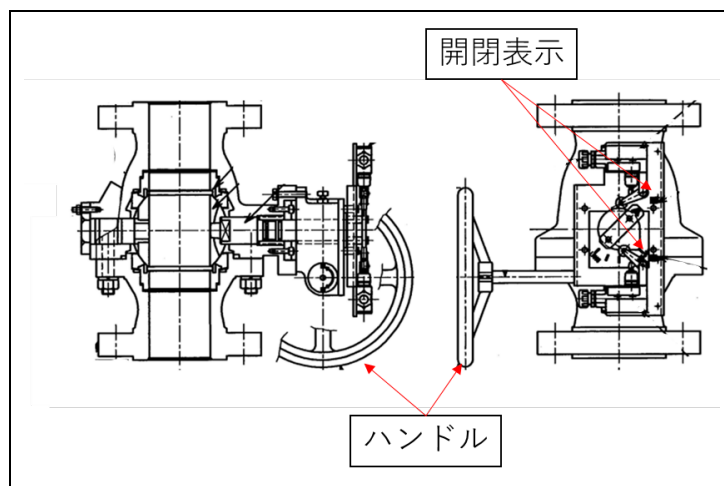
① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認する。	② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、レバーを握る。	③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回す。

イ 開放する場合(退室時)

① レバーを握る 開閉表示が「閉」になっていることを確認し、レバーを握る。	② レバーを回す 開閉表示「開」方向にレバーを回す。

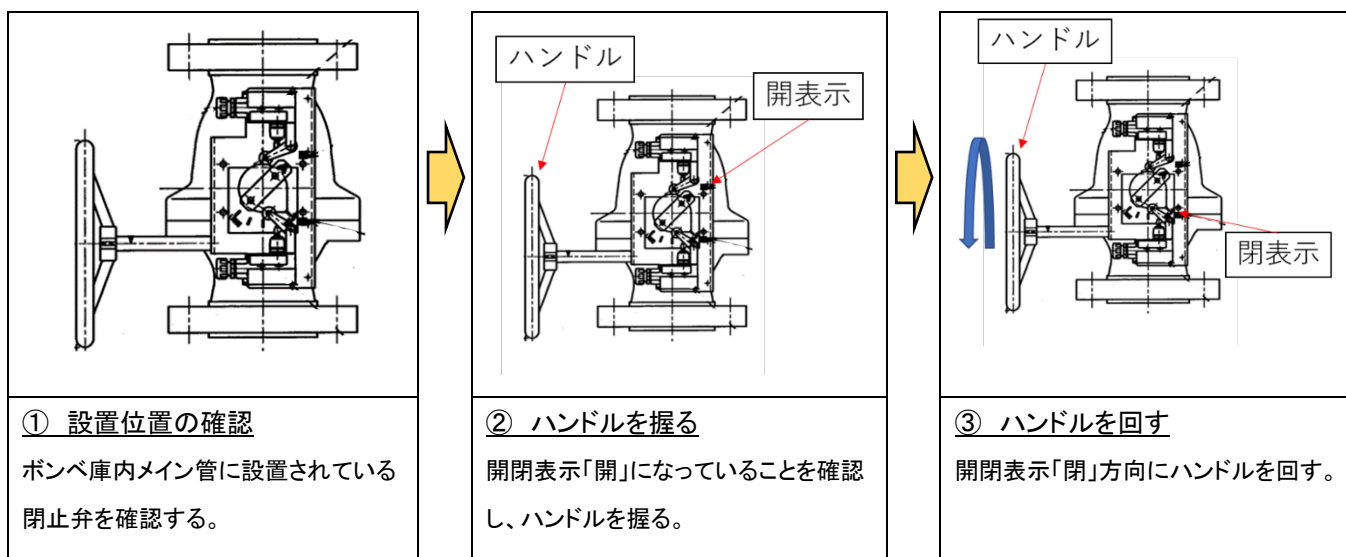
119 日本ドライケミカル株式会社 HB-NF 型(100A~150A)

(1) 外観

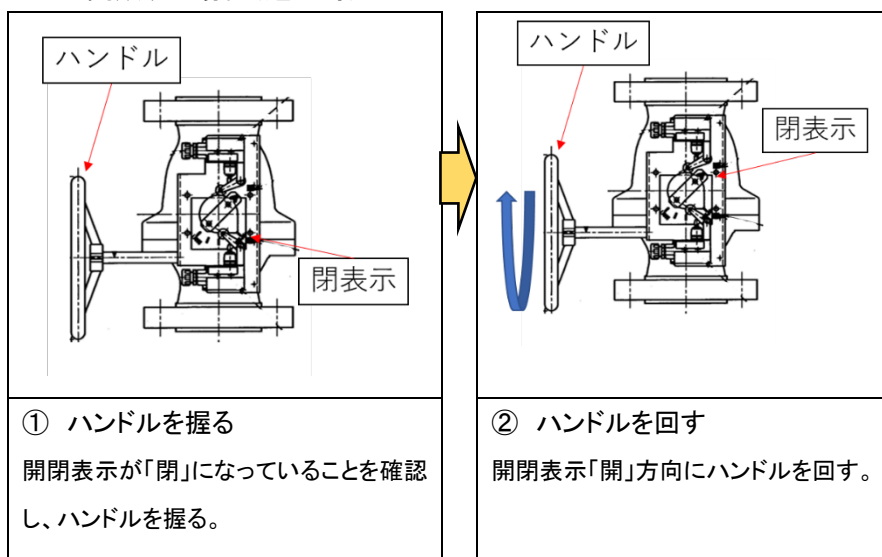


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

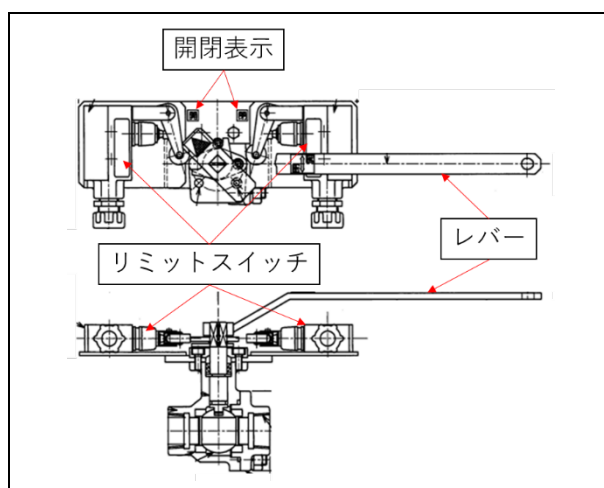


イ 開放する場合(退室時)



120 日本ドライケミカル株式会社 HB-N 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合（入室時）

① 設置位置の確認 ボンベ庫内メイン管に設置されている閉止弁を確認する。	② レバーを握る 開閉表示「開」になっていることを確認し、レバーを握る。	③ レバーを回す 開閉表示「閉」方向にレバーを回す。

イ 開放する場合（退室時）

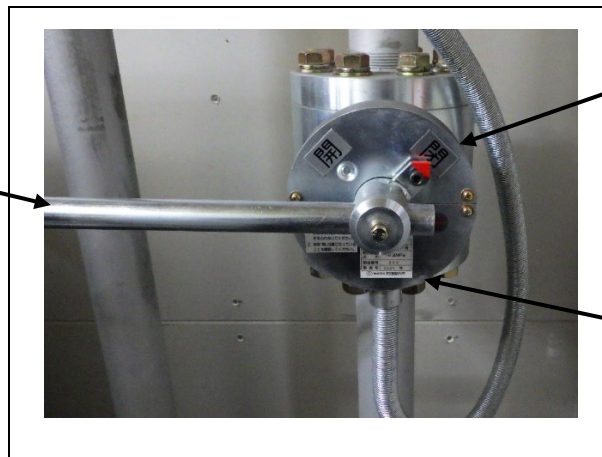
① レバーを握る 開閉表示が「閉」になっていることを確認し、レバーを握る。	② レバーを回す 開閉表示「開」方向にレバーを回す。

121 株式会社初田製作所 HMV-〇〇Y 型

(1) 外観

操作ハンドル

閉止弁を操作する際、
使用するハンドル



開閉表示

閉止弁の開閉状態を示したもの。

銘板

機器の仕様について記載され
た銘板

(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



① 閉止弁を確認する

二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の主
配管に設置されている閉止弁を確認
する。



② 閉止弁を閉める

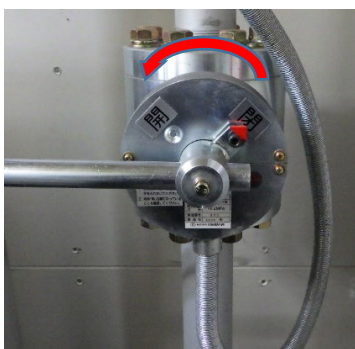
ハンドルを握り、時計回りに回し閉止
弁を閉める。



③ 閉止弁信号確認

制御盤にて閉止弁閉のランプが点灯
していることを確認する。

イ 開放する場合(退室時)



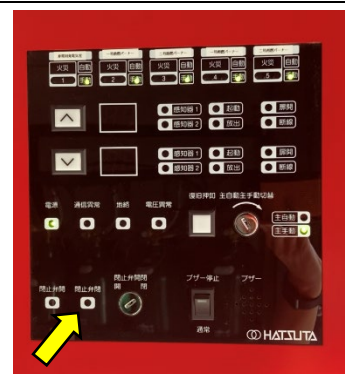
① 閉止弁を確認する

二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の
主配管に設置されている閉止弁を確認
する。



② 閉止弁を開ける

ハンドルを握り、半時計回りに回し閉
止弁を開ける。

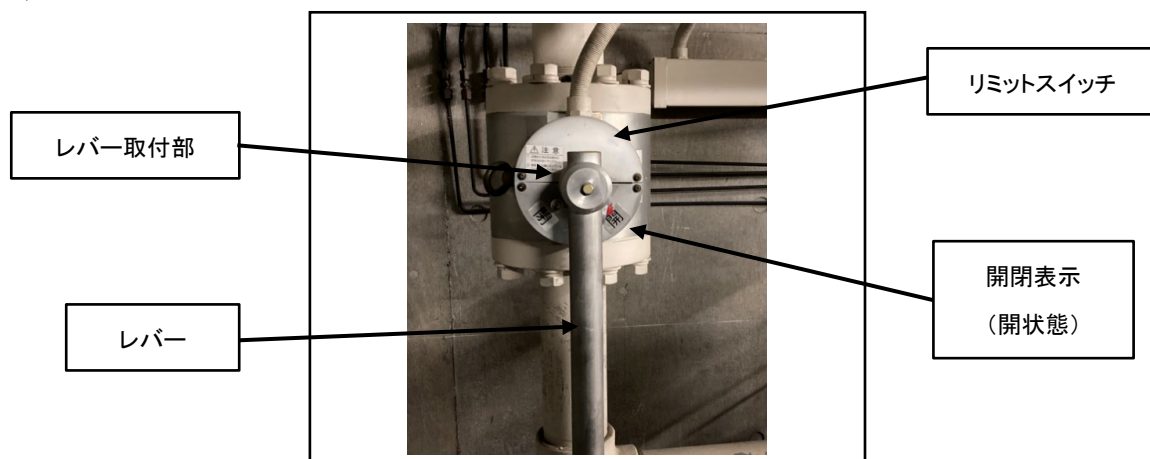


③ 閉止弁信号確認

制御盤にて閉止弁閉のランプが消灯
していることを確認する。

122 ホーチキ株式会社 GCV-AH 型(レバータイプ 20A～100A)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 二酸化炭素消火設備ボンベ庫内の主配管に設置される。	② レバーの取付け 閉止弁にレバーを取付けて時計方向に回す。	③ 閉止状態を確認 レバー矢印が閉表示を指していることを目視確認する。

イ 開放する場合(退室時)

① レバー取付け 閉止弁にレバーを取付けて反時計方向に回す。	② 開放状態を確認 レバー矢印が開表示を指していることを目視確認する。

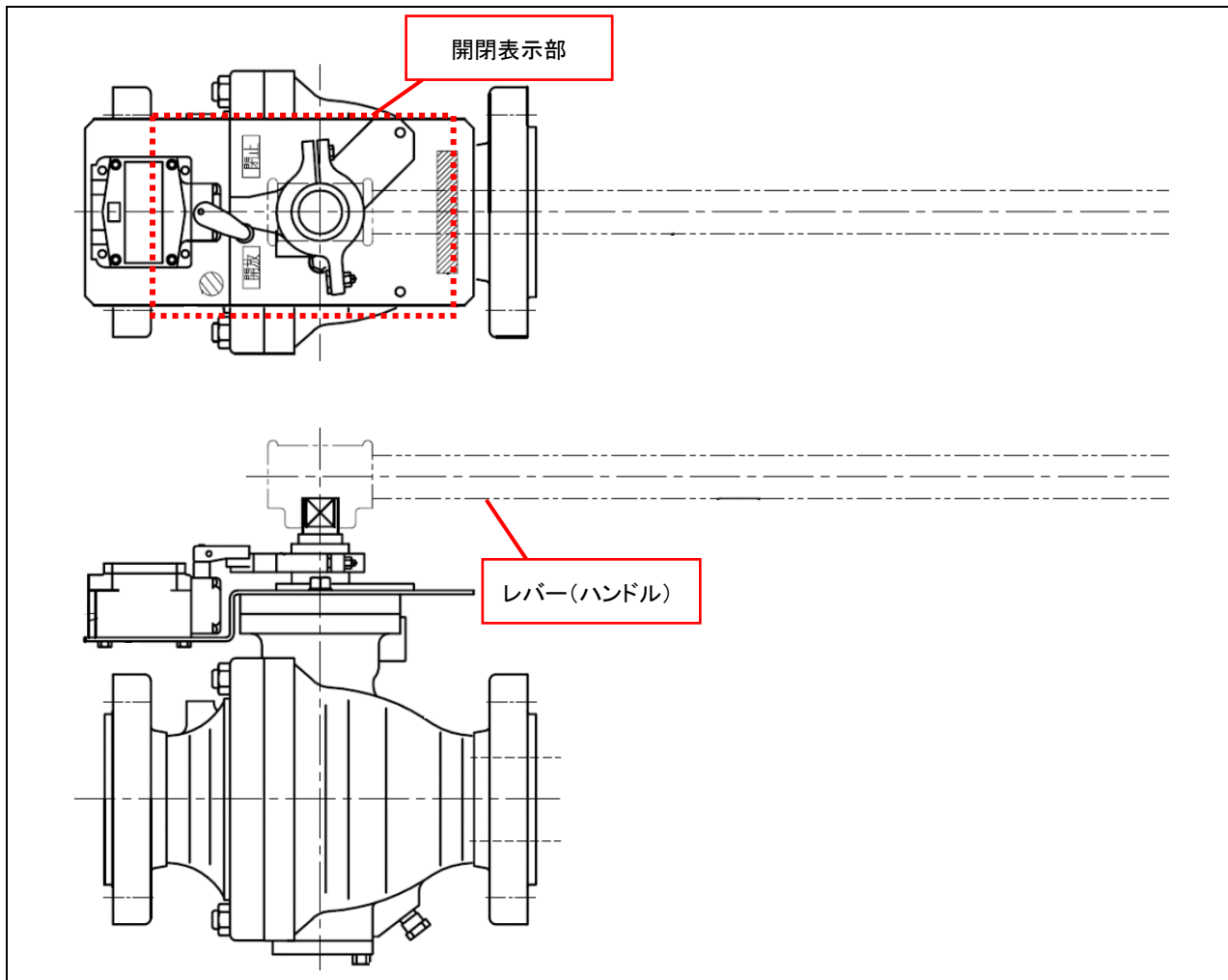
↓閉止する場合(入室時)

動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)

123 ヤマトプロテック株式会社 YCMV 型(80A 以下)、 YCMV- N 型

(1) 外観



(2) 作業方法

ア 閉止弁を閉止する場合(入室時)

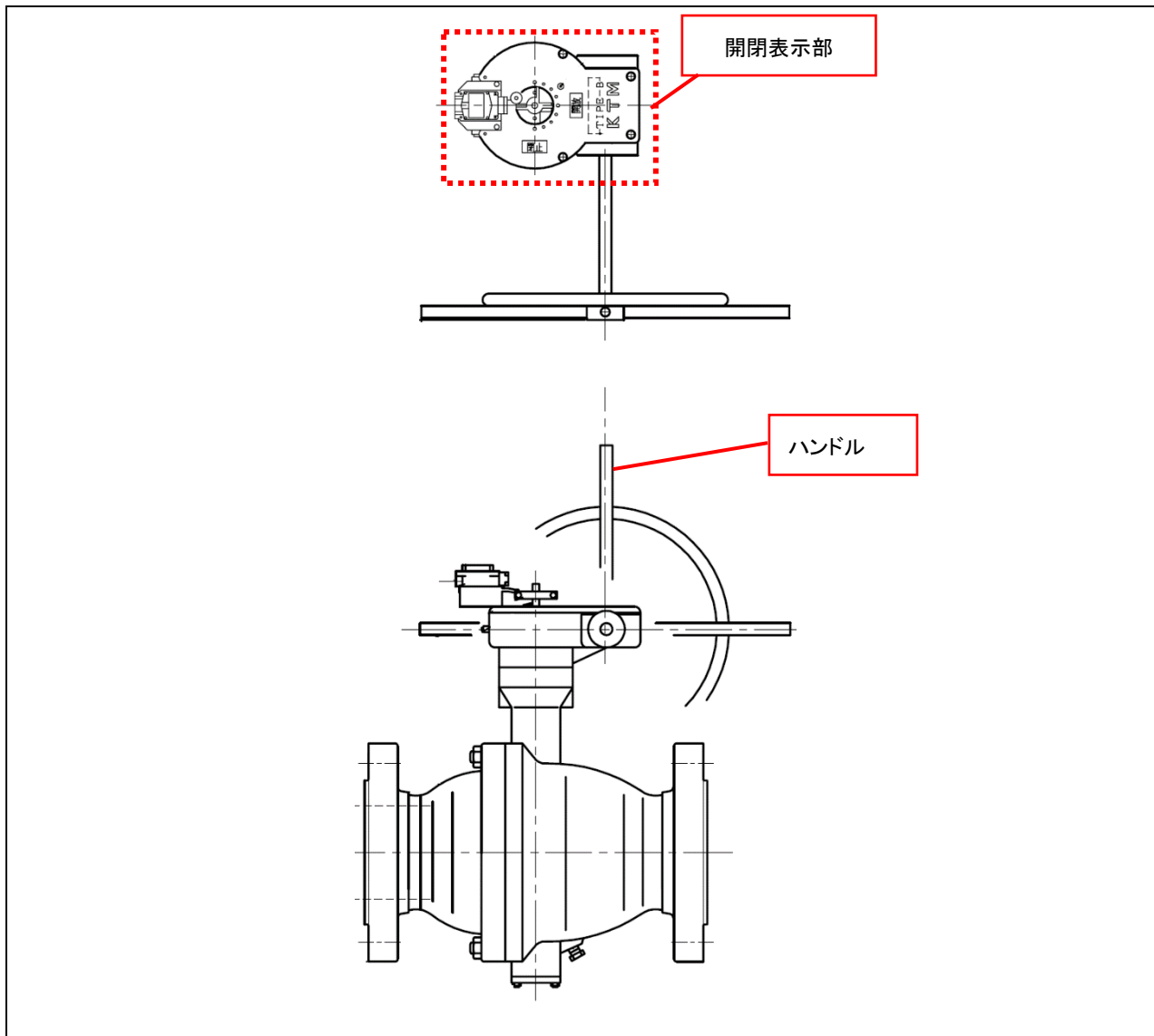
- 1) 設置位置の確認 : 点検用閉止弁の位置を確認する。
- 2) 閉止作業 : 閉止弁にレバー(ハンドル)を取り付ける。レバーを約 90 度時計回りに回し、閉状態にする。
- 3) 状態確認 : 閉状態である事を確認する。閉止弁からレバー(ハンドル)を取り外す。

イ 閉止弁を開放する場合(退室時)

- 1) 閉止作業 : 閉止弁にレバー(ハンドル)を取り付ける。
レバーを約 90 度反時計回りに回し、開状態にする。
- 2) 状態確認 : 開状態である事を確認する。閉止弁からレバー(ハンドル)を取り外す。

124 ヤマトプロテック株式会社 YCMV 型(100A 以上)

(1) 外観



(2) 作業方法

ア 閉止弁を閉止する場合(入室時)

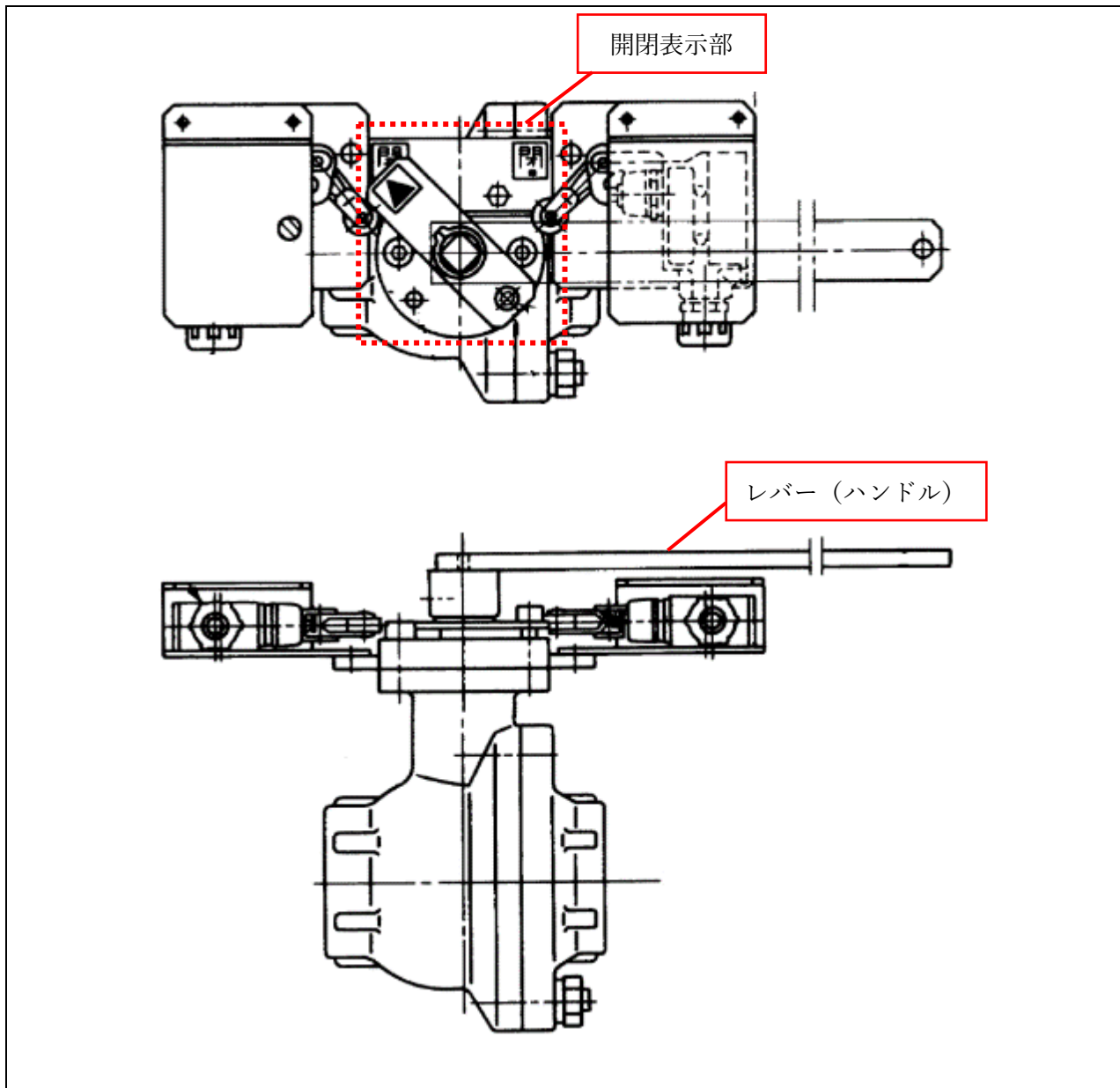
- 1) 設置位置の確認 : 点検用閉止弁の位置を確認する。
- 2) 閉止作業 : 閉止弁にハンドルを時計回りに回し、閉状態にする。
- 3) 状態確認 : 閉状態である事を確認する。

イ 閉止弁を開放する場合(退室時)

- 1) 閉止作業 : ハンドルを反時計回りに回し、開状態にする。
- 2) 状態確認 : 開状態である事を確認する。

125 ヤマトプロテック株式会社 YMV 型(80A 以下)

(1) 外観



(2) 作業方法

ア 閉止弁を閉止する場合(入室時)

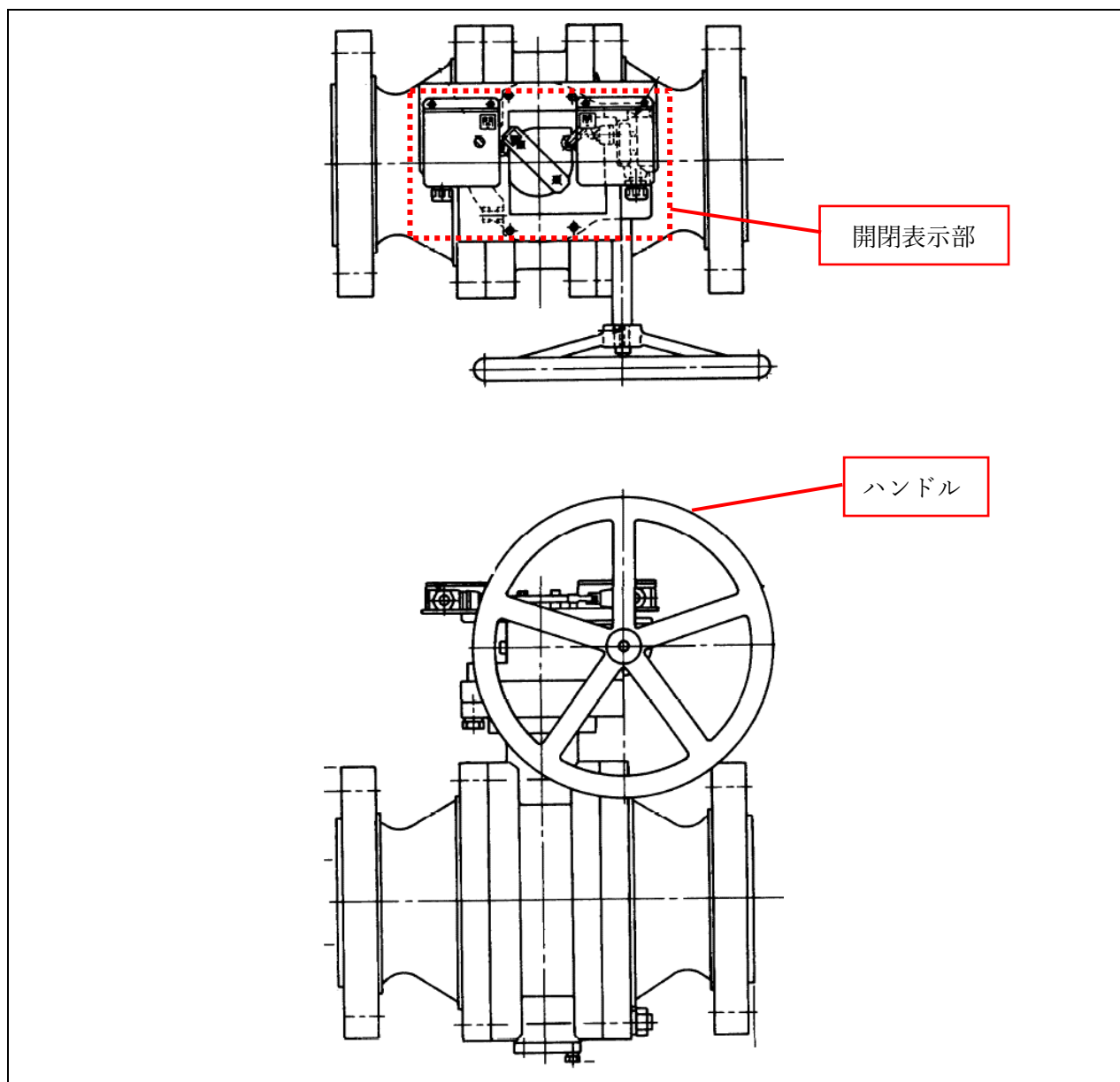
- 1) 設置位置の確認 : 点検用閉止弁の位置を確認する。
- 2) 閉止作業 : 閉止弁にレバー(ハンドル)を取り付ける。レバーを約 90 度時計回りに回し、閉状態にする。
- 3) 状態確認 : 閉状態である事を確認する。閉止弁からレバー(ハンドル)を取り外す。

イ 閉止弁を開放する場合(退室時)

- 1) 閉止作業 : 閉止弁にレバー(ハンドル)を取り付ける。
レバーを約 90 度反時計回りに回し、開状態にする。
- 2) 状態確認 : 開状態である事を確認する。閉止弁からレバー(ハンドル)を取り外す。

126 ヤマトプロテック株式会社 YMV-〇〇型(100A 以上)

(1) 外観



(2) 作業方法

ア 閉止弁を閉止する場合(入室時)

- 1) 設置位置の確認 : 点検用閉止弁の位置を確認する。
- 2) 閉止作業 : 閉止弁にハンドルを時計回りに回し、閉状態にする。
- 3) 状態確認 : 閉状態である事を確認する。

イ 閉止弁を開放する場合(退室時)

- 1) 閉止作業 : ハンドルを反時計回りに回し、開状態にする。
- 2) 状態確認 : 開状態である事を確認する。

2 操作管用閉止弁の操作手順

201 エア・ウォーター防災株式会社 KSV1型、KSV2 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 ・二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の起動管に設置される。 ・ノブを回し外箱(蓋)を開ける。	② ハンドルを回す ・ハンドルを反時計回りに 180 度回す。	③ 閉止状態を確認する

イ 開放する場合(退室時)

① ハンドルを回す ・ハンドルを時計回りに 180 度回す。	② 開放状態を確認する	③ 外箱(蓋)を閉める ・ノブを回し外箱(蓋)を閉める。

↓閉止する場合(入室時)

動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)



202 エア・ウォーター防災株式会社 KSV1型(新型)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 二酸化炭素消火設備ポンペ庫内の 起動管に設置 ノブを回し外箱(蓋)を開ける。	② ハンドルを回す ハンドルを反時計回りに 180 度回す。	③ 閉止状態を確認する

イ 開放する場合(退室時)

① ハンドルを回す ハンドルを時計回りに 180 度回す。	② 開放状態を確認する	③ 外箱(蓋)を締める ノブを回し外箱(蓋)を閉める。

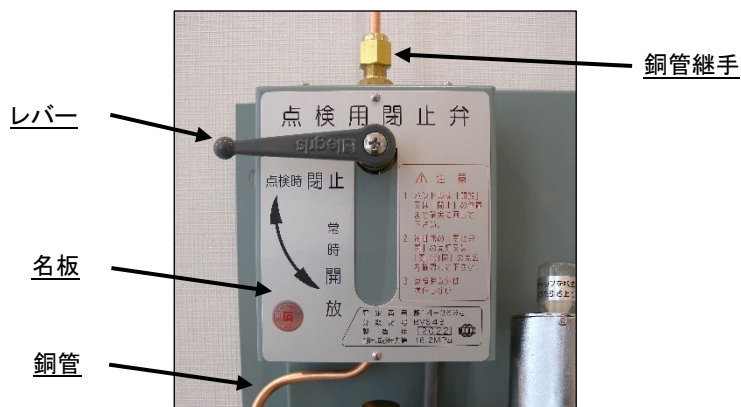
↓ 閉止する場合 (入室時)

↓ 開放する場合 (退室時)

動画を
確認!

203 株式会社コアツ BVS4型

(1) 外観



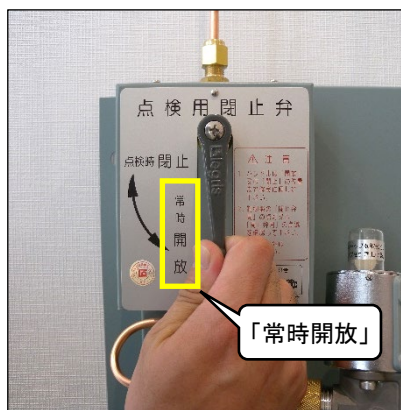
(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



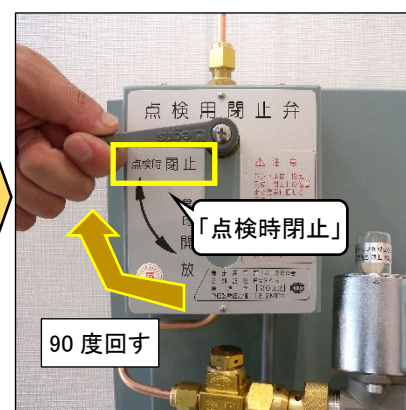
① 設置位置の確認

ボンベ庫に設置されている閉止弁を確認します。



② レバーをつかむ

状態表示「開放」を確認し、レバーをつかみます。



③ レバーを回す

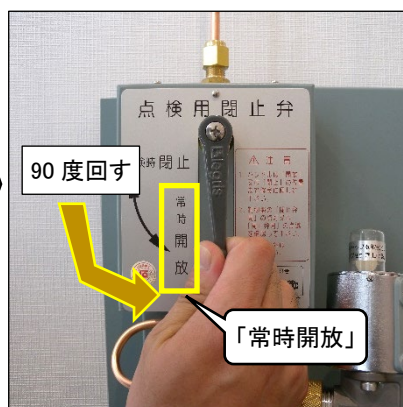
レバーを90度回して、状態表示を「閉止」にします。

イ 開放する場合(退室時)



① レバーをつかむ

状態表示「閉止」を確認し、レバーをつかみます。



② レバーを回す

レバーを90度回して、状態表示を「開放」にします。

↓閉止する場合(入室時)



動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)



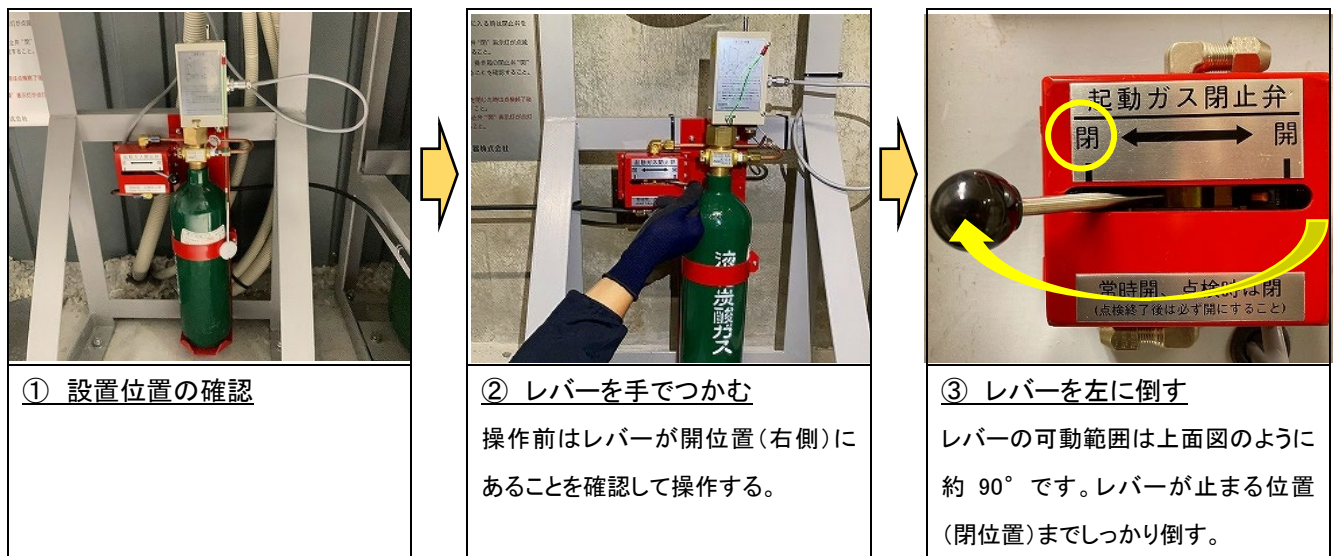
204 東京計器株式会社(株式会社トキメック) QSV-6 型、QSV-6A 型

(1) 外観

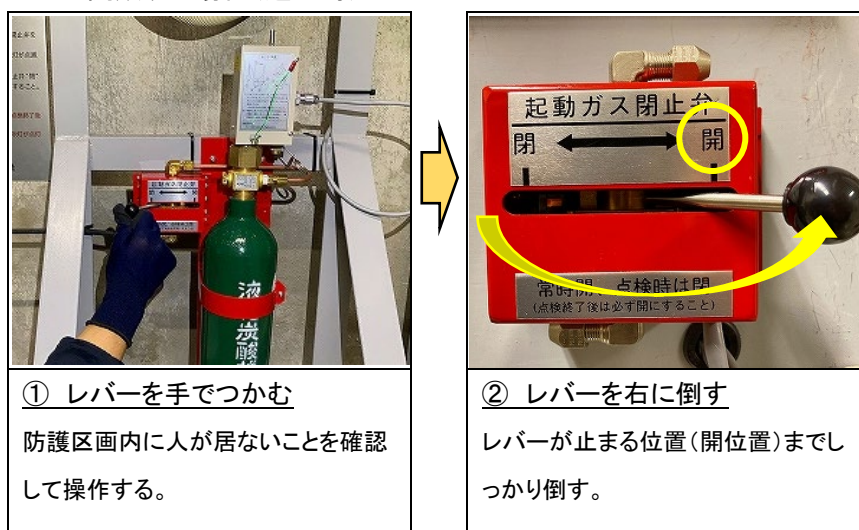


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

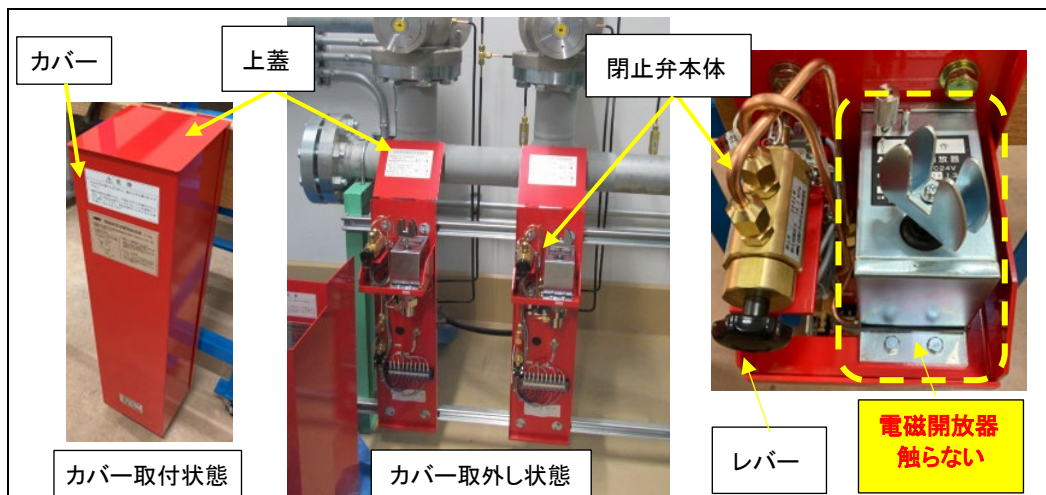


イ 開放する場合(退室時)



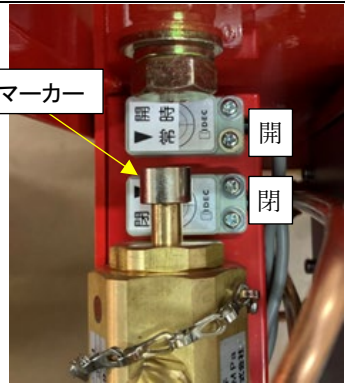
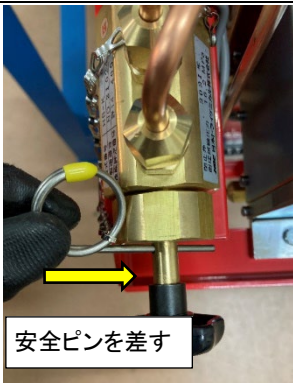
205 日本ドライケミカル株式会社 HB-K-01 型

(1) 外観

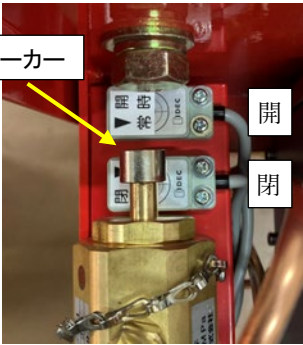
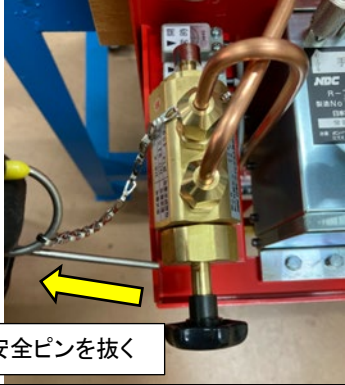
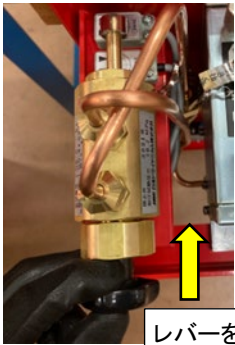
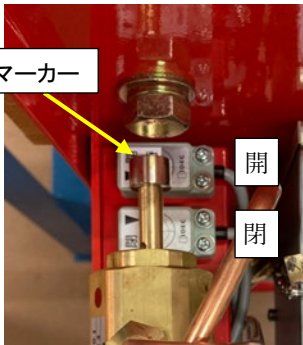
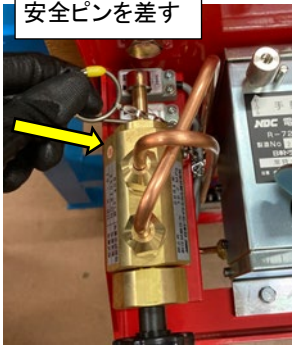


(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

 ① 設置位置の確認 ポンペ庫内選択弁付近の起動装置格納箱に付設されている閉止弁を確認する。	 ② カバーを外す 上蓋を上げ、前面に取り付けられているカバーを持ち上げながら外す。	 ③ 安全ピンを抜く 写真のように安全ピンが差さっていることを確認した後、安全ピンを抜く。
 ① レバーを引く レバーを引き、弁を閉止す。 となりの電磁開放器は絶対に触らないでください。起動し、消火剤が出ます。	 ② 閉止状態の確認 マーカが閉止位置になっていることを確認する。	 ③ 安全ピンを差す 誤ってレバーを押し込まないように、レバー側の穴に安全ピンを差す。

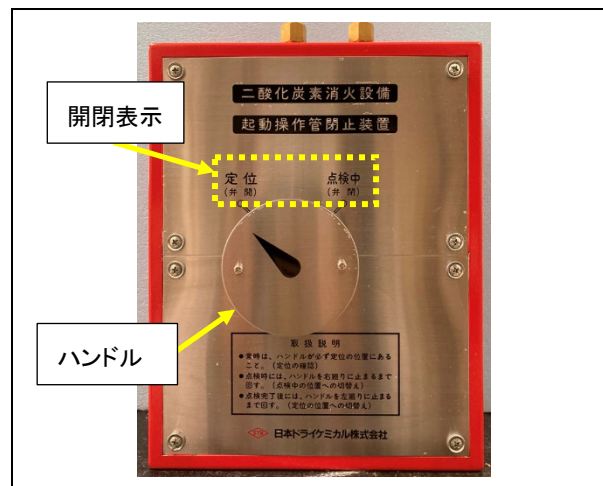
イ 開放する場合（退室時）

 ① 閉止状態の確認 マーカーが閉止位置になっていることを確認する。	 ② 安全ピンを抜く レバー側に差した安全ピンを抜く。	 ③ レバーを押す レバーを押し、弁を開放する。
 ④ 開放状態の確認 マーカーが開放位置になっていることを確認する。	 ⑤ 安全ピンを差す マーカー側の穴に安全ピンを差す。	 ⑥ カバーを取付ける カバーを取り付け、上蓋を閉じる。 ※閉止状態の場合、レバーがカバーに接触して取り付けられない。

↓閉止する場合（入室時）	↓開放する場合（退室時）
	
 動画を 確認！	

206 日本ドライケミカル株式会社 HB-KD-01 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 ボンベ庫内にある閉止弁を確認する。	② ハンドルを握る 開閉表示「定位(弁開)」になっていることを確認し、ハンドルを握る。	③ ハンドルを回す 開閉表示「点検中(弁閉)」方向にハンドルを回す。

イ 開放する場合(退室時)

① ハンドルを握る 開閉表示が「点検中(弁閉)」になっていることを確認し、ハンドルを握る。	② ハンドルを回す 開閉表示「定位(弁開)」方向にハンドルを回す。

↓閉止する場合(入室時)

動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)

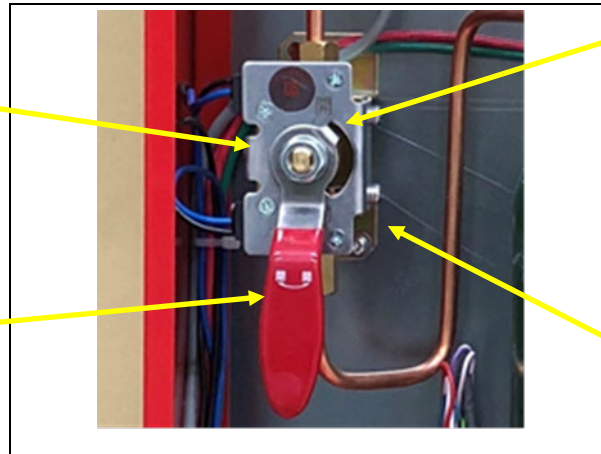


207 日本フェンオール株式会社 NFSV-01 型

(1) 外観

名称:リミットスイッチ
機能:閉止弁の開閉信号
を接点出力します。

名称:ハンドル
機能:閉止弁の開閉操作
を行います。



名称:開閉表示
機能:閉止弁の開閉位置
を示します。

名称:閉止弁本体
機能:ボール弁により起動用ガスの
流れを閉止します。

(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認 起動容器収納箱の中に格納されている。	② ハンドルをつかむ 閉止弁のハンドルをつかみ、時計回りに回す。	③ ハンドルを回す ・水平になるまで回し、「閉」位置であることを確認する。 ・制御盤で「閉」信号を確認する。

イ 開放する場合(退室時)

① ハンドルをつかむ ・閉止弁のハンドルをつかむ。 <u>注)開放する際は、制御盤が火災または起動の状態でないことを必ず確認してから操作する。</u>	② ハンドルを回す ・垂直になるまで回し、「開」位置であることを確認する。 ・制御盤で「開」信号を確認する。

↓閉止する場合(入室時)



動画を
確認!

↓開放する場合(退室時)



208 日本フェンオール株式会社 NFMB 型(遠隔操作タイプ)

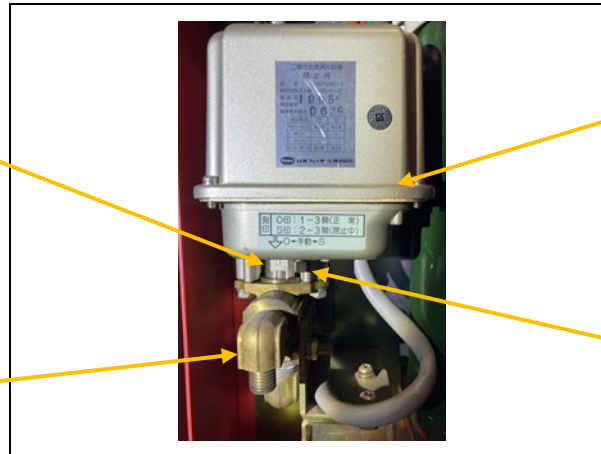
(1) 外観

名称:開閉表示部

機能:閉止弁の開閉状態を示します。

名称:閉止弁本体

機能:三方ボール弁により起動ガスの流れを閉止します。示します。



名称:アクチュエータ

機能:制御盤のスイッチからの遠隔操作により電動で閉止弁を開閉します。

名称:手動操作軸

機能:制御盤電源が OFF の状態のとき、手動により開閉操作を行う場合に使用します。

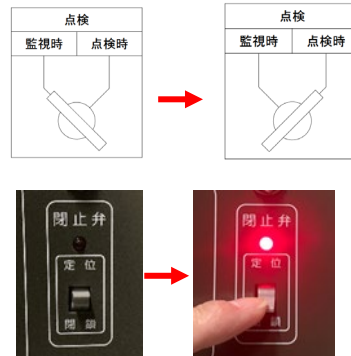
(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



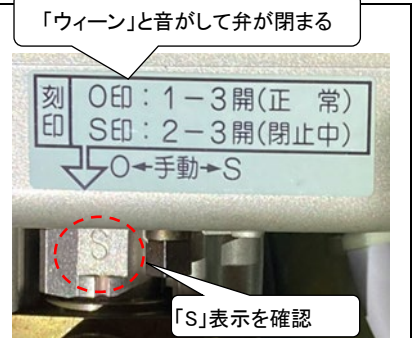
① 設置位置の確認

- ・起動容器収納箱の中に格納されています。



② 制御盤のスイッチ操作

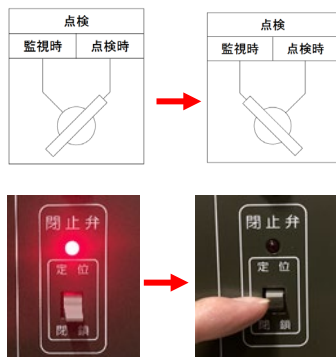
- ・「点検」または「閉止弁」と表示されたスイッチを、「点検時」または「閉鎖」に切り換えます。



③ 閉止弁が電動で閉まる

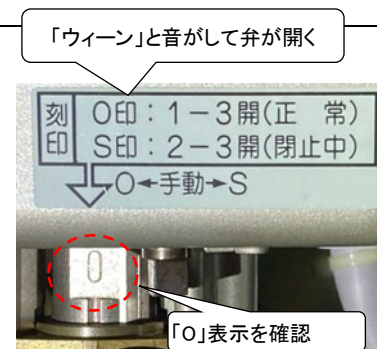
- ・動作音の終了後に、開閉表示部が「S」であることを確認します。
- ・制御盤で「閉」信号を確認します。

イ 開放する場合(退室時)



① 制御盤のスイッチ操作

- ・「点検」または「閉止弁」と表示されたスイッチを、「監視時」または「定位」に戻します。



② 閉止弁が電動で開く

- ・動作音の終了後に、開閉表示部が「O」であることを確認します。
- ・制御盤で「開」信号を確認します。

ウ.手動操作する場合(電源 OFF 時)



① 手動での開閉操作

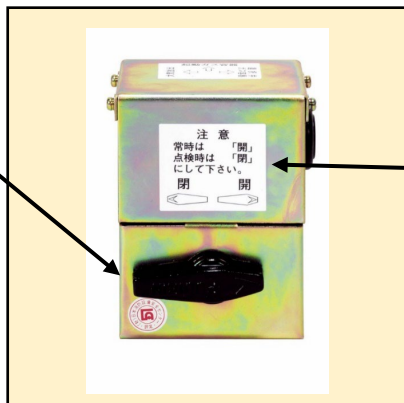
- ・制御盤電源が OFF の状態で遠隔操作はできません。
- ・スパナで操作軸を右に 90° 回すと「閉」、左に 90° 戻すと「開」になります。

209 株式会社初田製作所 H MV-6B 型

(1) 外観

操作レバー

つかんで回すことにより、
閉止弁の開閉を
行うことができます。

注意表示

操作レバーの向きにより、
開閉状態を確認できます。
(写真は「開」)

(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)

① 設置位置の確認

起動用ガスボンベと接続されている
閉止弁を確認する。【常時開】

② 操作レバーをつかむ

黒色の操作レバーをつかむ。

③ 操作レバーの操作

注意表示を確認し、操作レバーを回
し「閉」の向きへ回す。

イ 開放する場合(退室時)

② 操作レバーをつかむ

黒色の操作レバーをつかむ。

③ 操作レバーの操作

注意表示を確認し、操作レバーを回
し「開」の向きへ回す。

↓ 閉止する場合 (入室時)



動画を
確認！

↓ 開放する場合 (退室時)



210 モリタ宮田工業株式会社(旧:宮田工業株式会社) SGCV 型

(1) 外観例

表示

開閉方向等を
確認できる。

カバー

両脇のツマミ付ネジを緩める
ことで外すことができる。

レバー

弁を開閉操作するレバーです。
カバーを外した状態でのみ
閉止することができます。

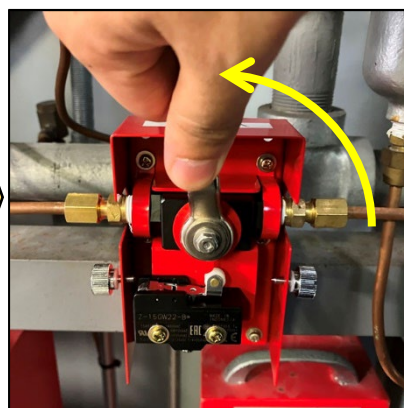
(2) 操作方法

ア 閉止する場合(入室時)



① 閉止弁位置の確認

起動用ガス容器か選択弁の近くに
同数ある。



② レバーを回して閉止

カバーを外し、レバーを反時計回
りに90度回す。



③ 閉止状態を確認

レバーの向きが「閉」であることを
確認する。

イ 開放する場合(退室時)



① レバーを回して開放

レバーを時計回りに90度回す。



② カバー取付

レバーの向きが「開」でのみ取り付
け可能。

↓ 閉止する場合(入室時)



動画を
確認!

↓ 開放する場合(退室時)



3 手動起動装置の操作手順

301 エア・ウォーター防災株式会社 P10R-JAM型、P9R-JAM 型

(1) 外観



自手動切替スイッチ

手動起動装置扉

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

切替キーを差し
右に回す



① 設置位置の確認

防護区画の主たる出入口に設置



② 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、右側(手動側)に回す



③ 手動灯点灯確認

手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、左側(自動側)に回す



② 自動灯点灯確認

自動灯が点灯していることを確認する。

P10R-JAM型

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!



↓自動起動に切り替える
場合(退室時)

P9R-JAM型

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!



↓自動起動に切り替える
場合(退室時)

ウ 手動で起動する場合



① 手動起動装置の扉を引く
扉に指をかけて手前に引く



② 起動押ボタンを押す
保護板を破り起動押ボタンを押す。



③ 起動灯が点灯する
起動灯が点灯したことを確認する。

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。火事です。消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

エ 緊急停止する場合



① 非常停止スイッチ
遅延時間内に非常停止押ボタンを押す。



② 起動灯消灯確認
起動灯が消灯したことを確認する。

P10R-JAM型

↓手動で起動する
場合



動画を
確認!

↓緊急停止する
場合



P9R-JAM型

↓手動で起動する
場合



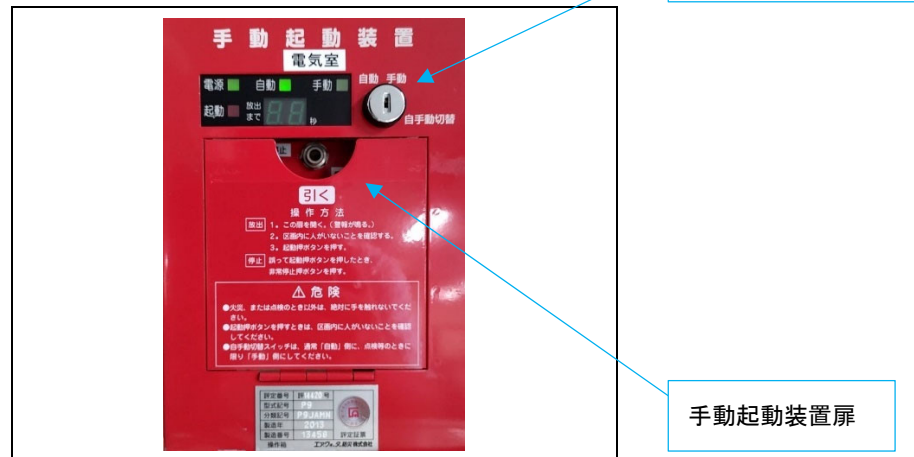
動画を
確認!

↓緊急停止する
場合



302 エア・ウォーター防災株式会社 P9JAM型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

切替キーを差し右に回す

① 設置位置の確認 防護区画の主たる出入口に設置	② 自手動切替スイッチ 切替スイッチにキーを差し込み、右側(手動側)に回す	③ 手動灯点灯確認 手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

切替キーを差し左に回す

① 自手動切替スイッチ 切替スイッチにキーを差し込み、左側(自動側)に回す	② 自動灯点灯確認 自動灯が点灯していることを確認する。

↓手動起動に切り替える場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

起動押ボタン

		
① 手動起動装置の扉を引く 扉に指をかけて手前に引く	② 起動押ボタンを押す 保護板を破り起動押ボタンを押す。	③ 起動灯が点灯する 起動灯が点灯したことを確認する。

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。火事です。消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

エ 緊急停止する場合

非常停止押ボタン

	
① 非常停止スイッチ 遅延時間内に非常停止押ボタンを押す。	② 起動灯消灯確認 起動灯が消灯したことを確認する。

↓ 手動で起動する場合

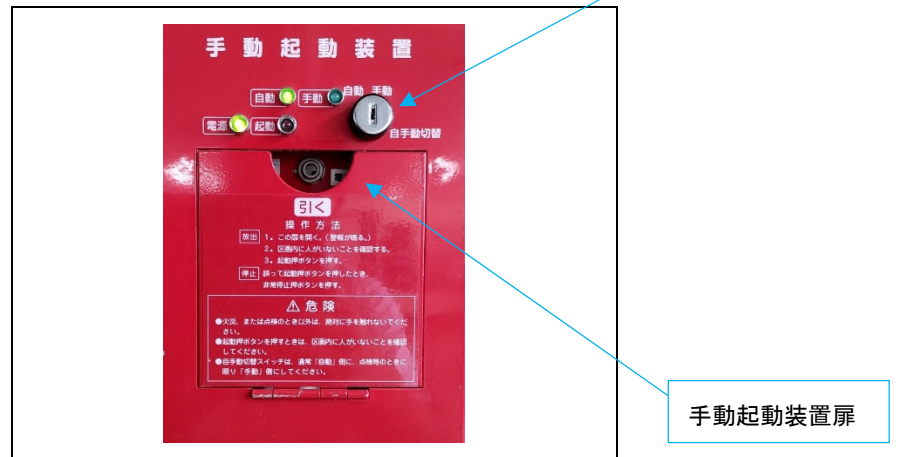

動画を
確認！

↓ 緊急停止する場合



303 エア・ウォーター防災株式会社 P8JAM型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認
防護区画の主たる出入口に設置



② 自手動切替スイッチ
切替スイッチにキーを差し込み、右側(手動側)に回す



③ 手動灯点灯確認
手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① 自手動切替スイッチ
切替スイッチにキーを差し込み、左側(自動側)に回す



② 自動灯点灯確認
自動灯が点灯していることを確認する。

↓手動起動に切り替える場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

起動押ボタン

		
① 手動起動装置の扉を引く 扉に指をかけて手前に引く	② 起動押ボタンを押す 保護板を破り起動押ボタンを押す。	③ 起動灯が点灯する 起動灯が点灯したことを確認する。

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。火事です。消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

エ 緊急停止する場合

非常停止押ボタン

	
① 非常停止スイッチ 遅延時間内に非常停止押ボタンを押す。	② 起動灯消灯確認 起動灯が消灯したことを確認する。

↓手動で起動する場合



動画を
確認!

↓緊急停止する場合



304 エア・ウォーター防災株式会社 P8 型、P7 型(手動起動装置に自手動切替なし)

(1) 外観



手動起動装置扉

(2) 操作方法

ア 自動起動又は手動起動に切り替える場合

本手動起動装置には、自動手動切替装置が設けられていないため、制御盤で起動方式を切り替える必要があります。制御盤の型式番号を確認し、当該制御盤の操作手順により、切替え操作を実施してください。

イ 手動で起動する場合





① 手動起動装置の扉を引く
扉に指をかけて手前に引く

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。火事です。消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

② 起動押ボタンを押す
保護板を破り起動押ボタンを押す。

③ 起動灯が点灯する
起動灯が点灯したことを確認する。

起動押ボタン

ウ 緊急停止する場合




① 非常停止スイッチ
遅延時間内に非常停止押ボタンを押す。

② 起動灯消灯確認
起動灯が消灯したことを確認する。

非常停止押ボタン

305 エア・ウォーター防災株式会社 P5型(手動起動装置に自手動切替なし)

(1) 外観



(2) 操作方法

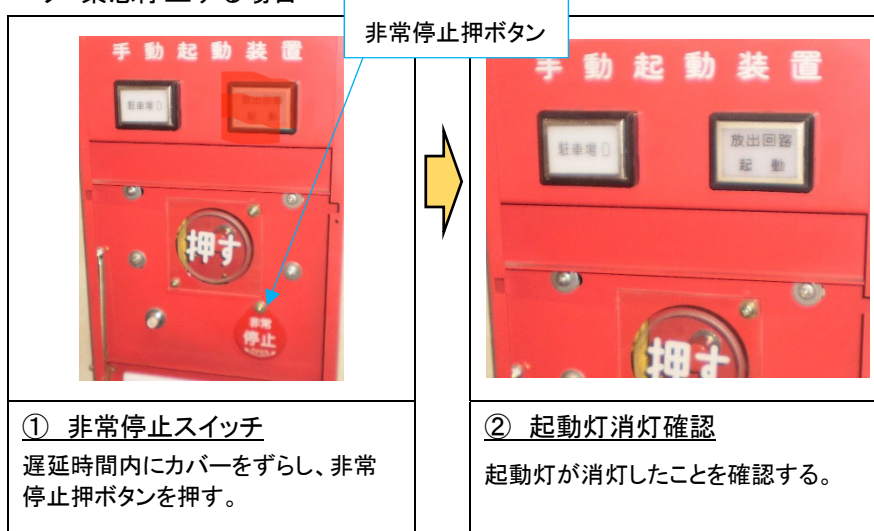
ア 自動起動又は手動起動に切り替える場合

本手動起動装置には、自動手動切替装置が設けられていないため、制御盤で起動方式を切り替える必要があります。制御盤の型式番号を確認し、当該制御盤の操作手順により、切替え操作を実施してください。

イ 手動で起動する場合



ウ 緊急停止する場合



306 エア・ウォーター防災株式会社 P4型、P2型、P1型 (手動起動装置に自手動切替なし、非常停止なし)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 自動起動又は手動起動に切り替える場合

本手動起動装置には、自動手動切替装置が設けられていないため、制御盤で起動方式を切り替える必要があります。制御盤の型式番号を確認し、当該制御盤の操作手順により、切替え操作を実施してください。

イ 手動で起動する場合

① 手動起動装置の扉を引く 扉に指をかけて押し下げて手前に引く。	② 扉開状態	③ 起動押ボタンを押す 保護板を破り起動押ボタンを押す。

サイレン又はベル又は音声鳴動

ウ 緊急停止する場合(原則手動起動装置に設置なし。安全対策で緊急停止ボタンを付加設置している案件も有り)

① 外観	② 保護カバーを外す。	③ 起動停止ボタンを押す。

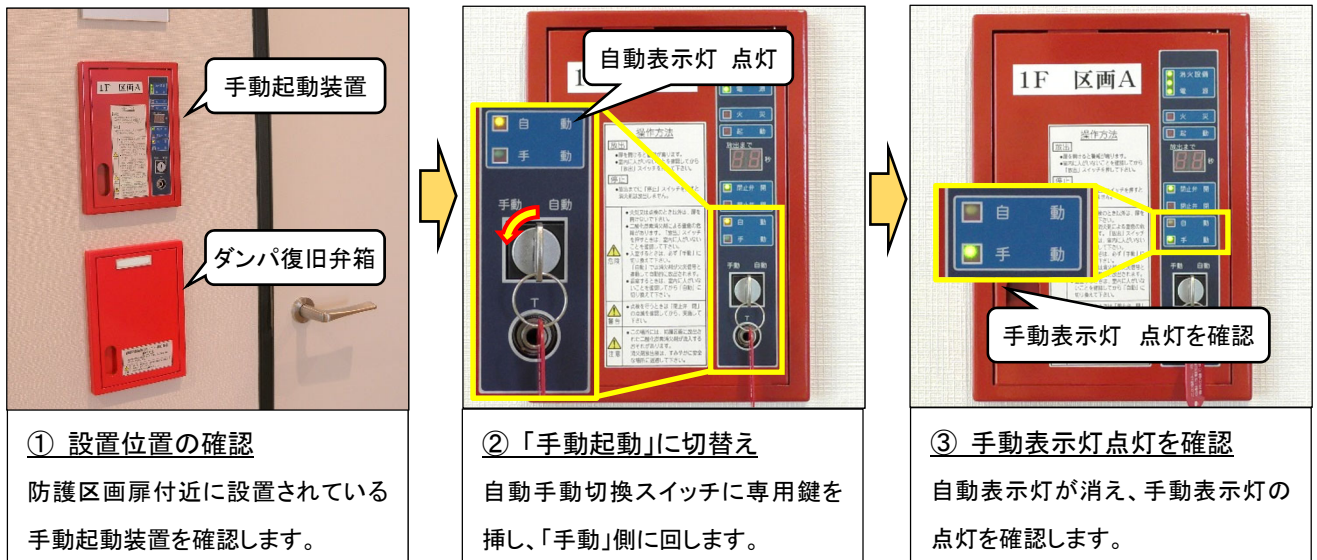
307 株式会社コーアツ CB型

(1) 外観

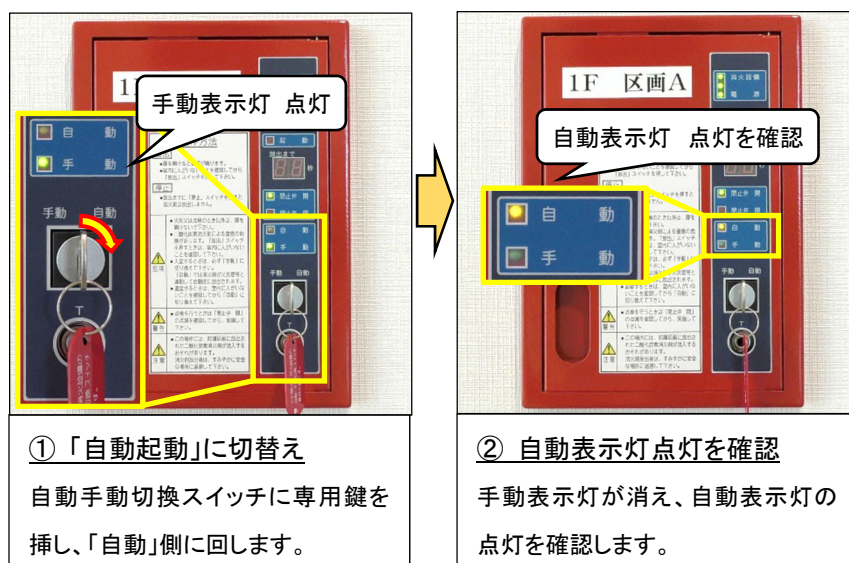


(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓手動起動に切り替える場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える場合(退室時)



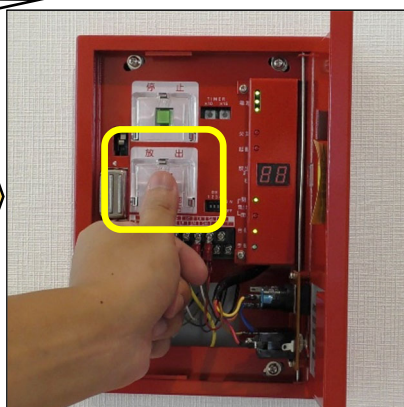
注意: 自動手動切換スイッチを専用鍵で操作する際には、必要以上に力を加えないで下さい。

ウ 手動で起動する場合

警報音が流れる
「火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。」



- ① 手動起動装置の扉を開ける
防護区内に人がいないことを確認した後、扉を開けます。



- ② 放出用スイッチを押す
「放出」と表示された赤色のスイッチを保護カバーの上から押します。

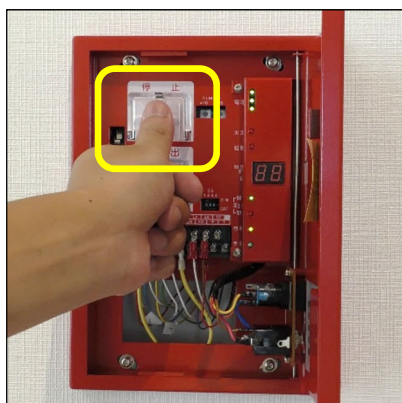


- ③ 遅延時間※1が表示される
放出用スイッチを押すと、扉面のカウントダウンタイマーに遅延時間が表示されます。

エ 緊急停止する場合



- ④ 放出表示灯が点滅する
遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅します。



- 停止用スイッチ※2を押す
遅延時間以内に、「停止」と表示された緑色のスイッチを保護カバーの上から押します。

注釈

※1 遅延時間

放出用スイッチを押してから消火剤が放出されるまで、一定の遅延時間を設けています(遅延時間は物件により異なります)。

※2 停止用スイッチ

遅延時間経過後に停止用スイッチを押した場合、途中で消火剤の放出を停止することはできません。

↓手動で起動する場合


動画を
確認！

↓緊急停止する場合



308 東京計器株式会社(株式会社トキメック) OP-SRS1 型、OPC-RS1 型 他

(1) 外観



自動—手動切換スイッチ
※本操作方法は鍵穴が上図の様に垂直の位置に停止する機種を対象とした説明。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

警報音が鳴動する！

押すと起動表示灯が点灯する



① 起動装置の扉を開ける

扉を開けると、音声警報が鳴動する。

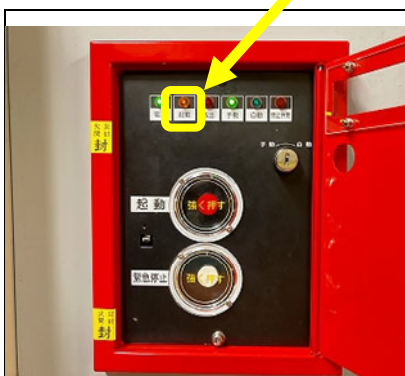
② 「起動」ボタンを押す

防護区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し破り「起動」ボタンを押す。

③ 消火剤放出

遅延時間経過後、消火剤が放出され、各出入り口に設置してある放出表示灯が点滅(点灯)する。

エ 緊急停止する場合



① 「緊急停止」ボタンを押す

保護板を押し破り「緊急停止」ボタンを押す。

② 起動表示灯の消灯を確認

起動表示灯の消灯を確認したら、起動装置の扉を閉める。

※ 放出開始後は「緊急停止」を押しても停止する事はできない。

※ 「起動」ボタンを押してから消火剤が放出されるまで、遅延時間を設けている。

(遅延時間は各現場により異なる。)

↓手動で起動する場合



動画を
確認！

↓緊急停止する場合



309 東京計器株式会社(株式会社トキメック)

OP-US-T 型、OP-US-B 型 他(製品に型名表示の無い機種もあります)

(1) 外観



自動-手動切換スイッチ



本操作方法は、鍵穴が上図の様に垂直方向から 45° 傾いた位置に停止する機種を対象としている。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認
区画の主要な出入口付近に設置されている。



② 切換スイッチの鍵穴に鍵を挿入し、自動から手動方向(反時計回り)に鍵を 90° 回す。



③ 手動表示灯の点灯を確認し、切換スイッチの鍵穴から鍵を抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① 切換スイッチの鍵穴に鍵を挿入し、手動から自動方向(時計回り)に鍵を 90° 回し鍵穴から鍵を抜く。



② 自動表示灯の点灯を確認し、切換スイッチの鍵穴から鍵を抜く。

ウ 手動で起動する場合

音声警報が鳴る！



① 起動装置の扉を開ける。
音声警報が鳴動する。

起動すると起動表示灯が点灯



② 保護板を押し破り「起動」スイッチを押す。



③ 消火剤放出
遅延時間経過後、消火剤が放出され、各出入り口に設置してある放出表示灯が点滅(点灯)する。

エ 緊急停止する場合



① 保護板を押し破り「緊急停止」スイッチを押す。
消火剤の放出開始後は「緊急停止」スイッチを押しても停止できない。



② 起動表示灯の消灯
・起動表示灯の消灯を確認する。
・起動装置の扉を閉めても音声警報が止まらない機種の場合は制御盤で復旧操作を行う必要がある。

310 東京計器株式会社(株式会社トキメック) CPS111 型 他

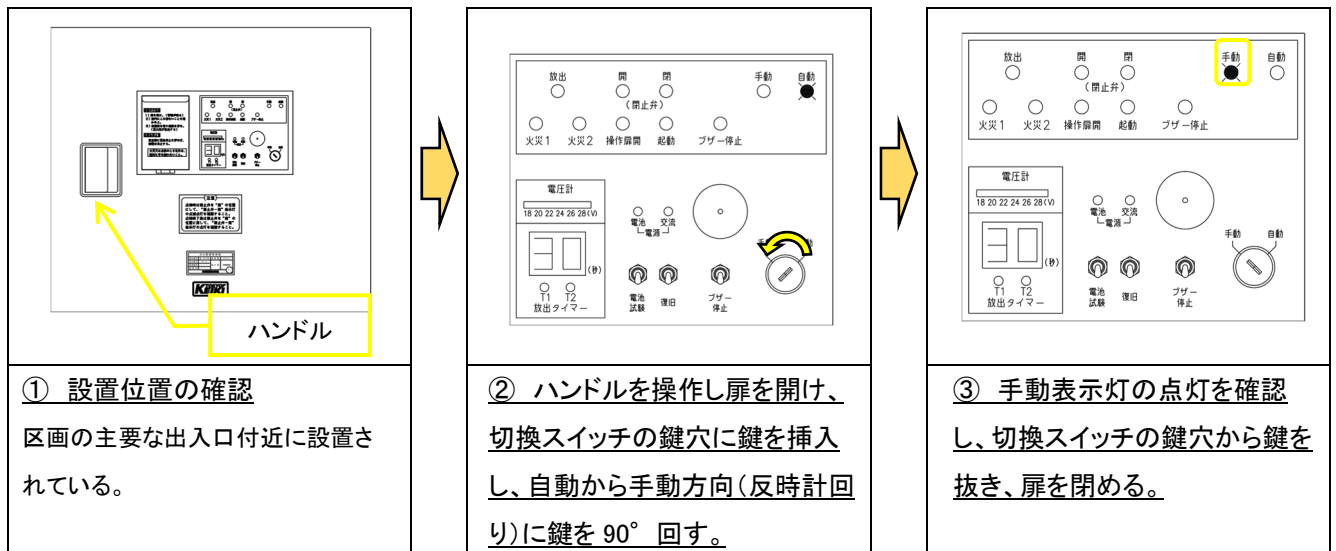
(1) 外観



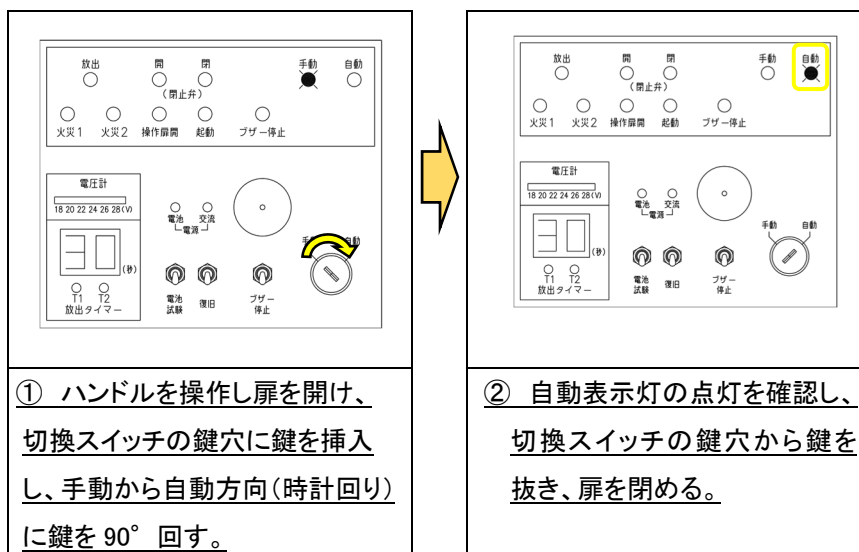
自動-手動切換スイッチ

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

警報音が鳴動する！

起動すると起動表示灯が点灯

操作扉

起動スイッチ

ガス消火剤充満
危険・立入禁止

① 操作扉を開ける

音声警報が鳴動する。

② 防護区画内に人がいないことを確認して保護板を押し破り「起動」スイッチを押す。

③ 消火剤放出

遅延時間経過後、消火剤が放出され、各出入り口に設置してある放出表示灯が点滅(点灯)する。

エ 緊急停止する場合

起動表示灯

緊急停止スイッチ

① 保護板を押し破り「緊急停止」スイッチを押す

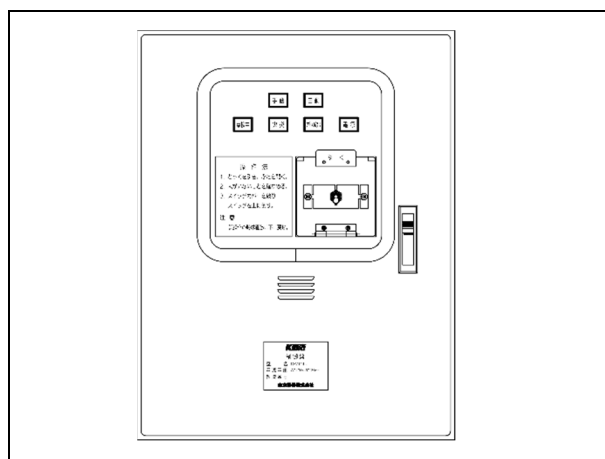
消火剤の放出開始後は「緊急停止」スイッチを押しても停止できない。

② 起動表示灯の消灯

起動表示灯の消灯を確認する。
操作扉を閉めるまで音声警報は止まらない。

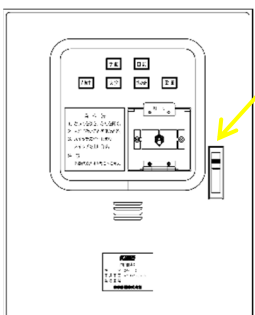
311 東京計器株式会社(株式会社トキメック) CPV111 型 他

(1) 外観

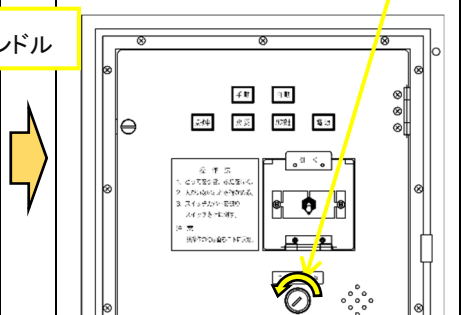


(2) 操作方法

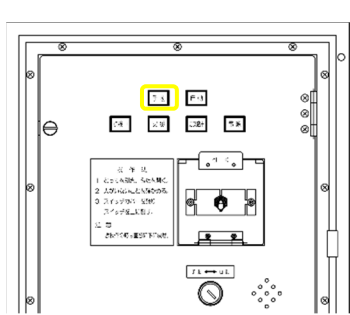
ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認
区画の主要な出入口付近に設置されている。



② ハンドルを操作し扉を開け、切換スイッチの鍵穴に鍵を挿入し、自動から手動方向(反時計回り)に鍵を 90° 回す。

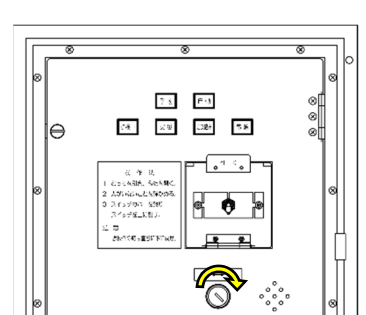


③ 手動表示灯の点灯を確認し、切換スイッチの鍵穴から鍵を抜き、扉を閉める。

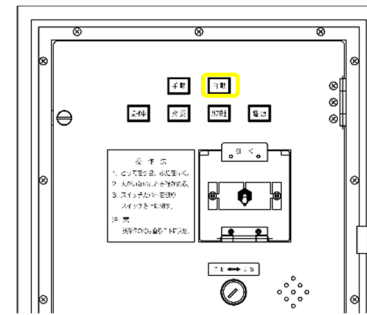
自動-手動切換スイッチ

ハンドル

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① ハンドルを操作し扉を開け、切換スイッチの鍵穴に鍵を挿入し、手動から自動方向(時計回り)に鍵を 90° 回す。



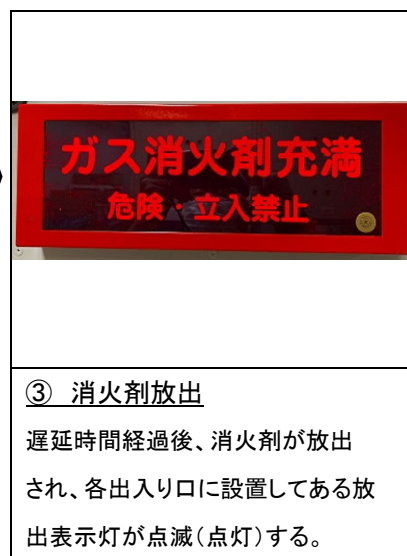
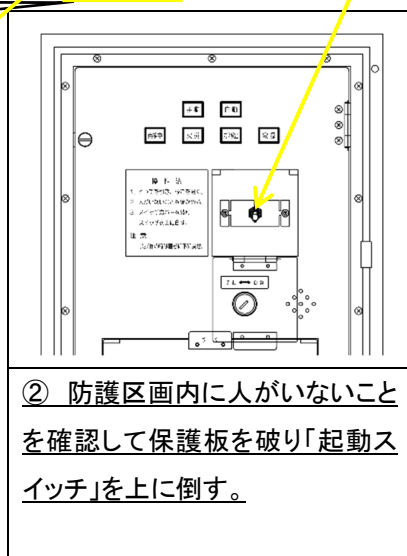
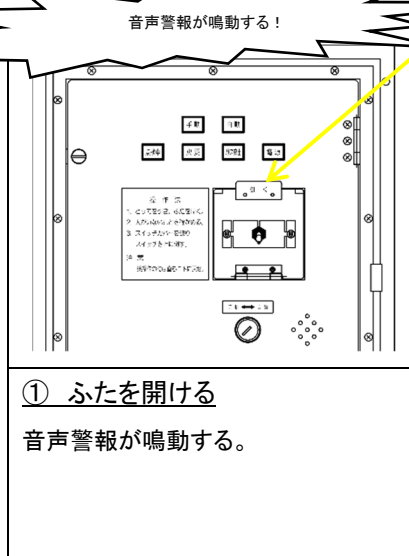
② 自動表示灯の点灯を確認し、切換スイッチの鍵穴から鍵を抜き、扉を閉める。

ウ 手動で起動する場合

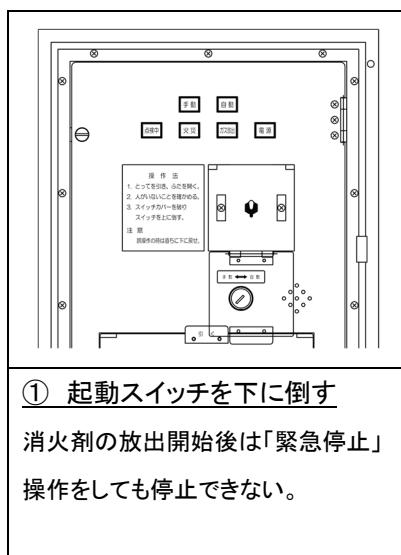
音声警報が鳴動する！

ふた

起動スイッチ



エ 緊急停止する場合



復旧スイッチ

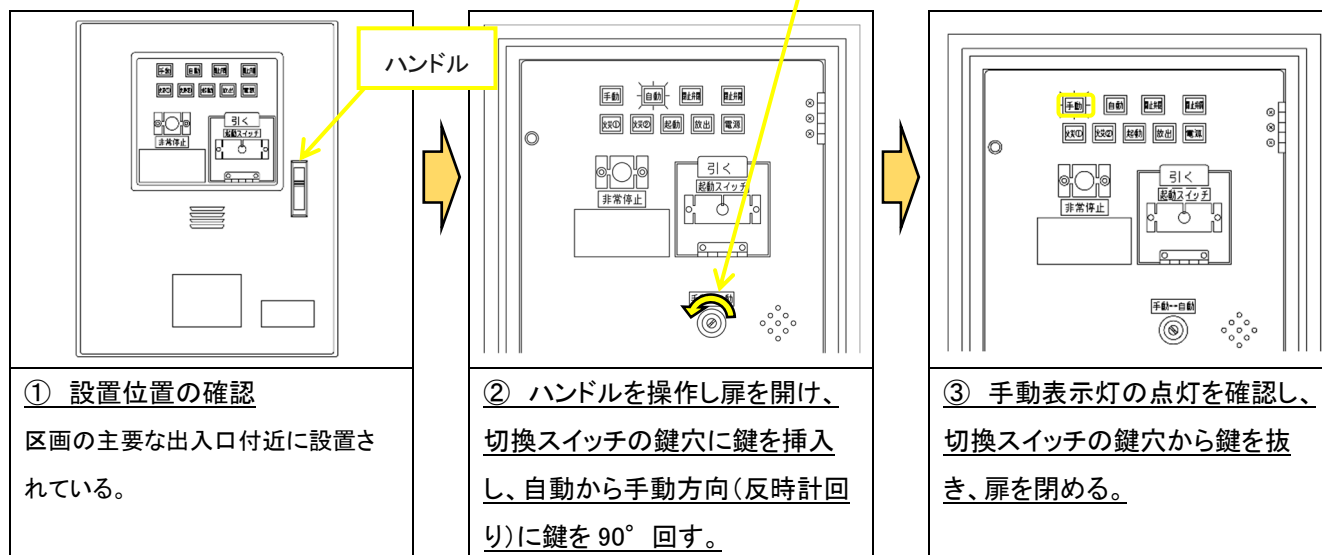
312 東京計器株式会社(株式会社トキメック) CPV112 型 他

(1) 外観

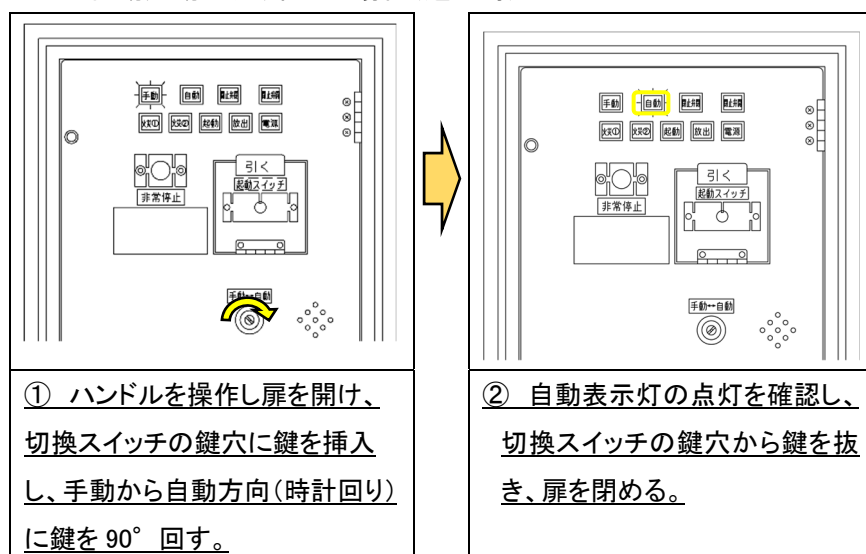


(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



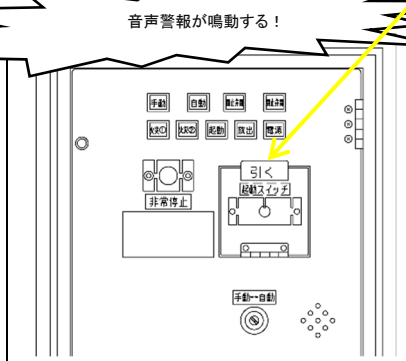
(3) 手動で起動する場合

音声警報が鳴動する！

ふた

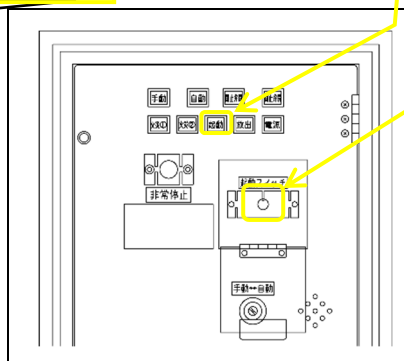
起動すると起動表示灯が点灯

起動スイッチ



① ふたを開ける

音声警報が鳴動する。



② 防護区画内に人がいないことを確認して保護板を破り「起動スイッチ」を押す。



③ 消火剤放出

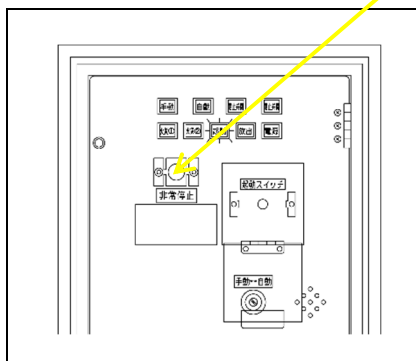
遅延時間経過後、消火剤が放出され、各出入り口に設置してある放出表示灯が点滅(点灯)する。

(4) 緊急停止する場合

非常停止スイッチ

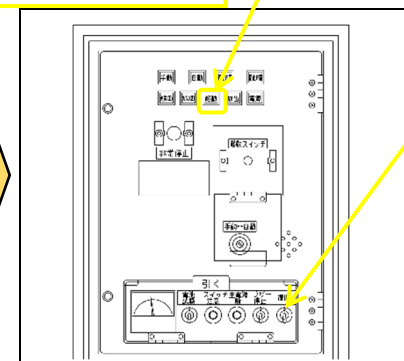
起動表示灯が消灯

復旧スイッチ



① 保護板を押し破り「非常停止」スイッチを押す

消火剤の放出開始後は「非常停止」スイッチを押しても停止できない。



② 起動表示灯の消灯

起動表示灯の消灯を確認する。

ふたを閉め、復旧スイッチを上にも倒して復旧するまで音声警報は止まらない。

313 東京計器株式会社(株式会社トキメック) TK-SA1SK 型、TK-SA2SK 型 他

(1) 外観



(2) 操作方法

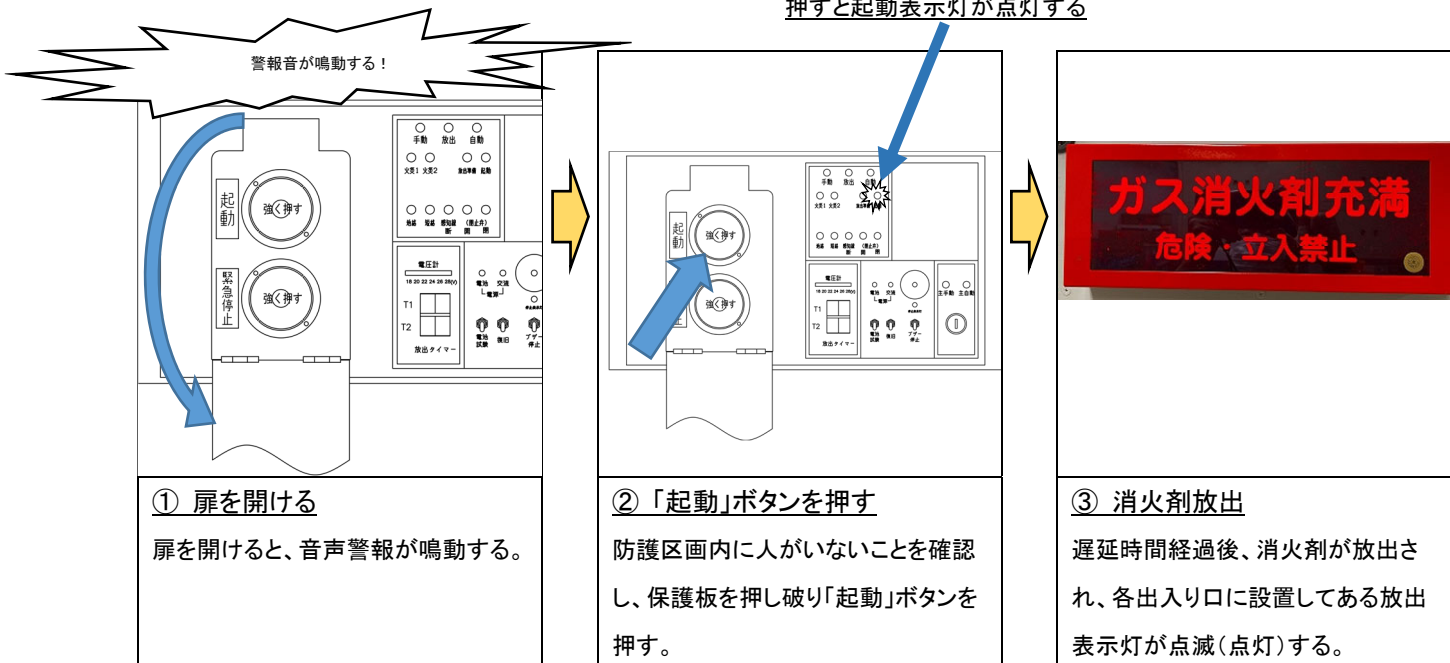
ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

① 設置位置の確認 主たる出入口付近に設置されている。	② 鍵を差し込む 切換スイッチに鍵を差し込み、主手動側に約 45 度回して手動に切り換える。	③ 手動表示灯の点灯を確認 自動表示灯の消灯と手動表示灯の点灯を確認したら、鍵位置を中心に戻し鍵を引き抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

① 鍵を差し込む 切換スイッチに鍵を差し込み、主自動側に約 45 度回して自動に切り換える。	② 自動表示灯の点灯を確認 手動表示灯の消灯と自動表示灯の点灯を確認したら、鍵位置を中心に戻し鍵を引き抜く。

ウ 手動で起動する場合

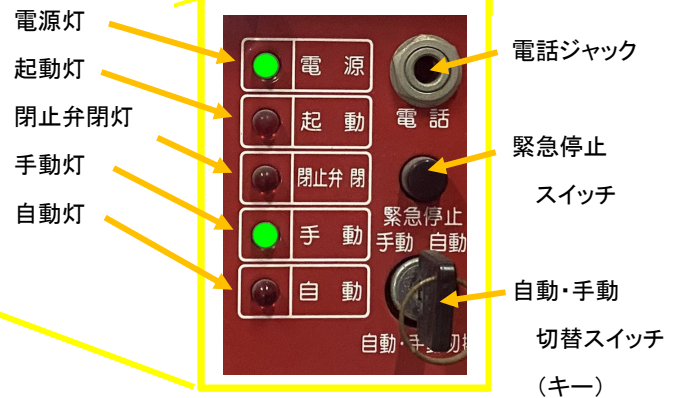


エ 緊急停止する場合



314 ニッタン株式会社 NRSA-2 型

(1) 外観



(2) 操作方法

※仕様により表示内容が異なることがある

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認

区画の出入口付近に設置されている。



② キースwitchにキーを挿す。

③ 左に操作すると「手動」に切り替わる。



④ 手動モードを確認

「手動」表示が点灯したことを確認し、キーを抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① キースwitchにキーを挿す。

② 右に操作すると「自動」に切り替わる。



③ 自動モードを確認

「自動」表示が点灯したことを確認する。

ウ 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。



① 操作扉を開ける。

操作扉を開ける。区画内に音声メッセージが流れる。

② 起動スイッチを押す

区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。
起動灯が点灯する。
速やかに避難すること。

③ 消火剤が放射される。

遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅する。

エ 緊急停止する場合



① 緊急停止スイッチ(黒)を押す

停止する場合は、遅延時間が完了する前に緊急停止スイッチを押す。

② 起動灯が消灯する

起動灯が消灯することを確認する。
操作扉を閉めると音声が停止する。

遅延時間とは

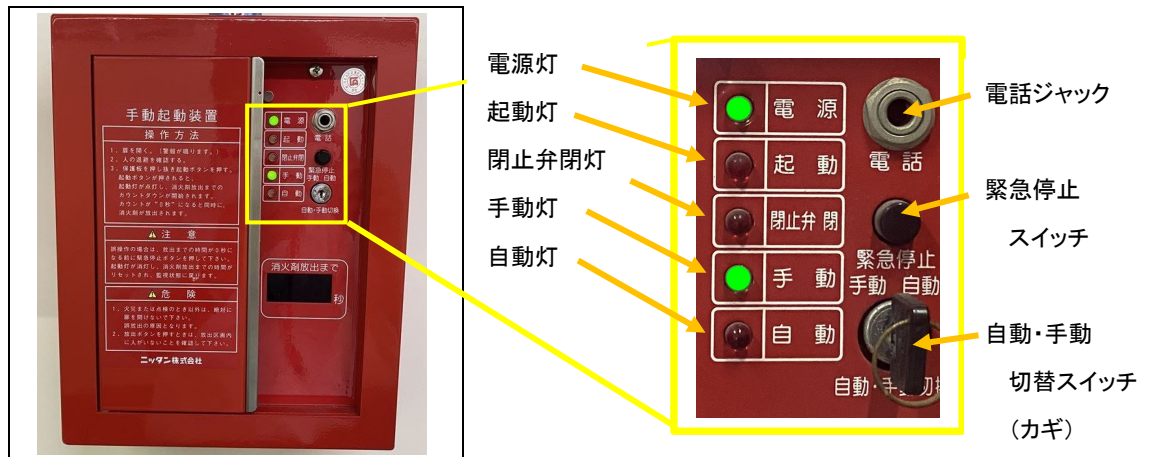
起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止スイッチは

遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

315 ニッタン株式会社 NRSA-3 型

(1) 外観



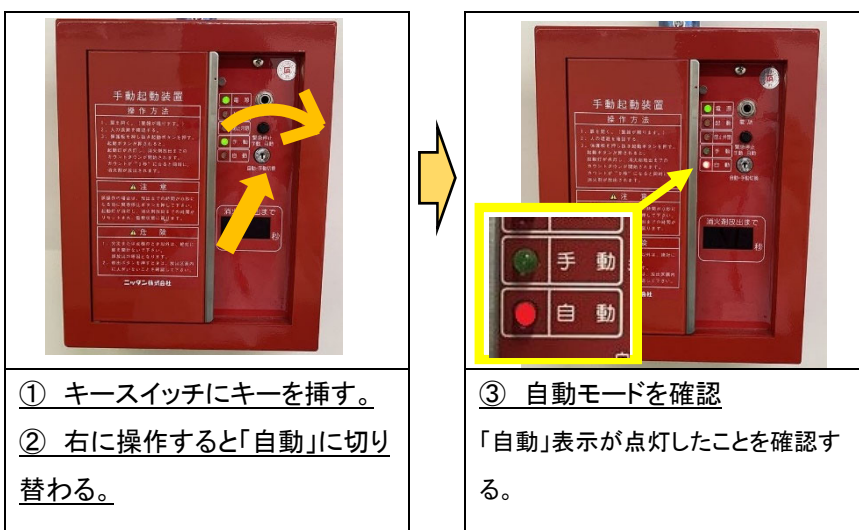
※仕様により表示内容が異なる
ことがある

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

		
① 操作扉を開ける 操作扉を開ける。区画内に音声メッセージが流れる。	② 起動スイッチを押す 区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。 起動灯が点灯する。 速やかに避難すること。	③ 消火剤が放射される 遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅する。

エ 緊急停止する場合

	
① 緊急停止スイッチ(黒)を押す 停止する場合は、遅延時間が完了する前に緊急停止スイッチを押す。	② 起動灯が消灯する 起動灯とカウントダウンが消灯することを確認する。操作扉を閉めると音声停止する。

遅延時間とは

起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止スイッチは

遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

↓手動で起動する場合


動画を
確認！

↓緊急停止する場合

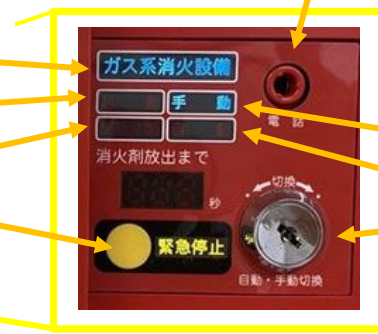


316 ニッタン株式会社 NRSA-4 型、NRSA-5 型

(1) 外観



電源灯
起動灯
閉止弁閉灯
緊急停止
スイッチ



電話ジャック

手動灯

自動灯

自動・手動

切替スイッチ
(カギ)

※仕様により表示内容が異なる
ことがある

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認

区画の出入口付近に設置されている。



② キースイッチにキーを挿す。

③ 操作すると「手動」に切り替わる。(操作方向は問わない)



④ 手動モードを確認

「手動」表示が点灯したことを確認し、キーを抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① キースイッチにキーを挿す。

② 操作すると「自動」に切り替わる。(操作方向は問わない)



③ 自動モードを確認

「自動」表示が点灯したことを確認する。

↓ 手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓ 自動起動に切り替える
場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。



① 操作扉を開ける。

操作扉を開ける。区画内に音声メッセージが流れる。

② 起動スイッチを押す

区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。
起動灯と起動スイッチが点灯する。
速やかに避難すること。

③ 消火剤が放射される

遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅する。

エ 緊急停止する場合



① 緊急停止スイッチ(黄丸)を押す

停止する場合は、遅延時間が完了する前に緊急停止スイッチを押す。

② 起動灯が消灯する

起動灯とカウントダウンが消灯することを確認する。操作扉を閉めると音声停止する。

遅延時間とは

起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止スイッチは

遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

↓手動で起動する場合



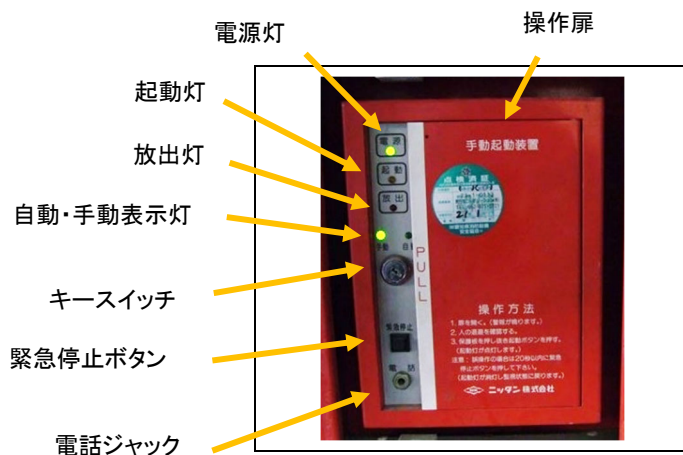
動画を
確認！

↓緊急停止する場合



317 ニッタン株式会社 NRS-1 型

(1) 外観



※仕様により表示内容が異なる
ことがある

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

① 設置位置の確認 区画の出入口付近に設置されている。	② キースイッチにキーを挿す。 ③ 左に操作すると「手動」に切り替わる。	④ 手動モードを確認 「手動」表示が点灯したことを確認し、キーを抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

① キースイッチにキーを挿す。 ② 右に操作すると「自動」に切り替わる。	③ 自動モードを確認 「自動」表示が点灯したことを確認する。

ウ 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。



① 操作扉を開ける。

操作扉を開ける。区内に音声メッセージが流れる。

② 起動スイッチを押す

区内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。起動灯が点灯する。
速やかに避難すること。

③ 消火剤が放射される。

遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅する。

(4) 緊急停止する場合



① 緊急停止スイッチを押す

停止する場合は、遅延時間が完了する前に緊急停止スイッチを押す。

② 起動灯が消灯する

起動灯が消灯することを確認する。
操作扉を閉めると音声は停止する。

遅延時間とは

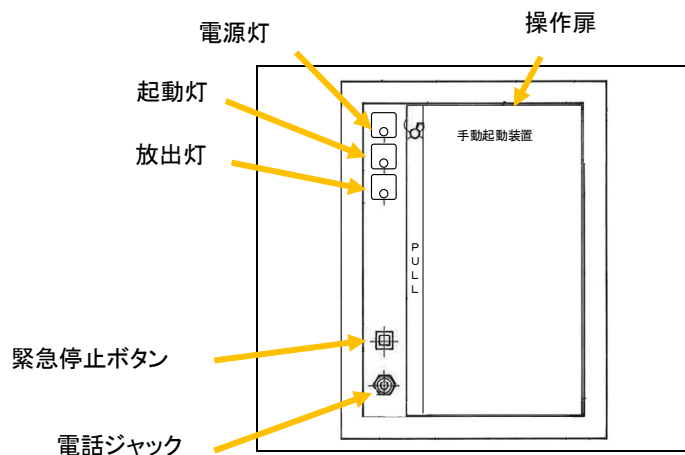
起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止の操作は

遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

318 ニッタン株式会社 NRS-1 型(手動専用型)

(1) 外観



本機は手動専用型です。
手動専用のシステムの場合、自動起動・手動起動の切替えはできません。

※仕様により表示内容が異なることがあります

(2) 操作方法

ア 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

- ① 操作扉を開ける**
操作扉を開ける。区画内に音声メッセージが流れる。
- ② 起動スイッチを押す**
区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。
起動灯が点灯する。
速やかに避難すること。
- ③ 消火剤が放射される**
遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅する。



イ 緊急停止する場合

- ① 緊急停止スイッチを押す**
停止する場合は、遅延時間が完了する前に緊急停止スイッチを押す。
- ② 起動灯が消灯する**
起動灯が消灯することを確認する。
操作扉を閉めると音声が停止する。

遅延時間とは

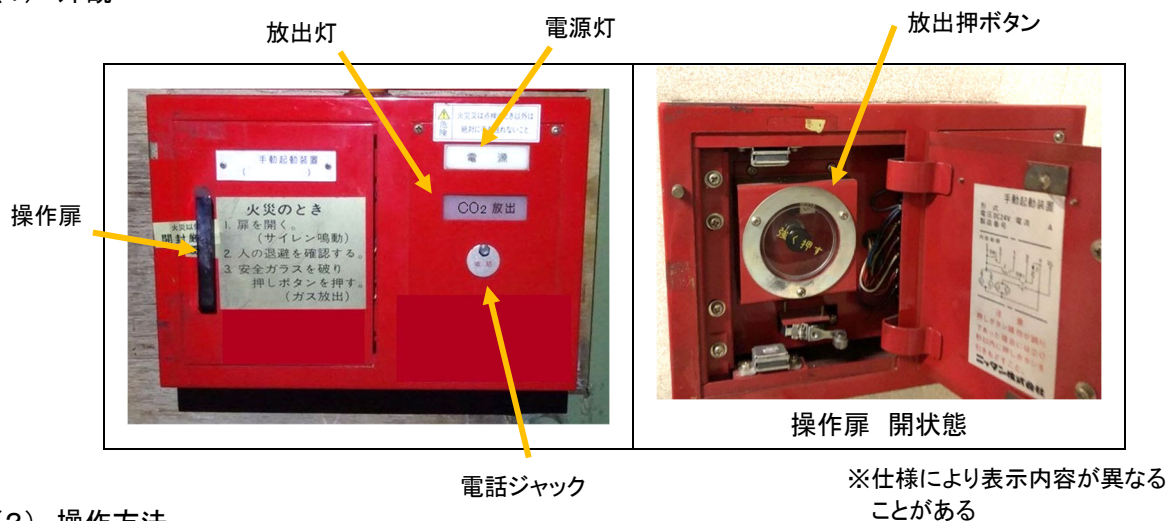
起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止の操作は

遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

319 ニッタン株式会社 CAR-M 型、CAU-M 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 自動起動又は手動起動に切り替える場合

本手動起動装置には、自動手動切替え装置が設けられていないため、制御盤で起動方式を切り替える必要があります。制御盤の型式番号を確認し、当該制御盤の操作手順により、切替え操作を実施してください。

イ 手動で起動する場合

火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。

① 操作扉を開ける
操作扉を開ける。区画内に音声メッセージ又は警報が流れる。

② 放出押ボタンを押す
区画内に人がいないことを確認し、保護板を押し抜くよう強く押す。放出押ボタンの上の起動灯が点灯する。速やかに避難すること。

二酸化炭素充满
危険・立入禁止

③ 消火剤が放射される。
遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出灯が点滅する。

ウ 緊急停止する場合

① 放出押ボタンを引く
停止する場合は、遅延時間が完了する前に放出押ボタンを引き戻す。

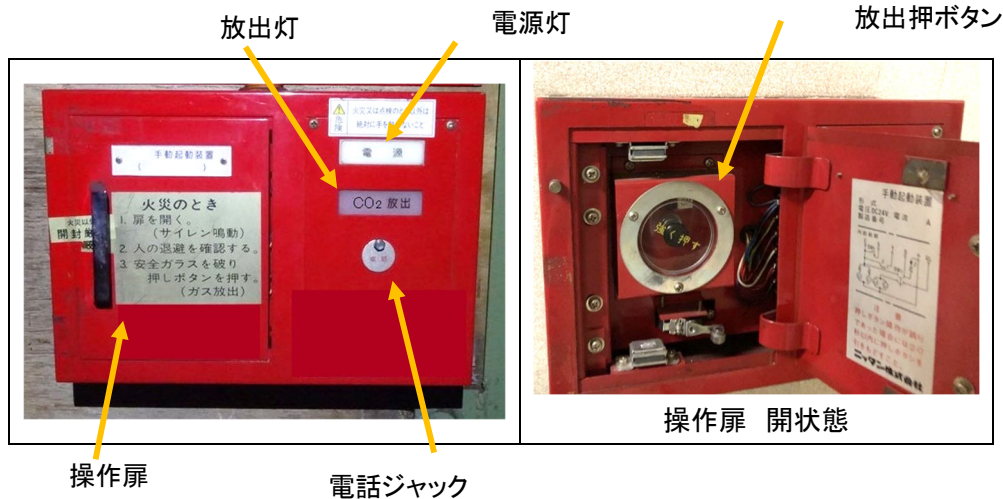
② 起動灯が消灯する
起動灯が消灯することを確認する。操作扉を閉めると音声が停止する。

遅延時間とは
起動スイッチ操作後、放出されるまでに遅延時間を設けている。遅延時間は二酸化炭素の場合20秒以上であるが、物件により異なる。

緊急停止の操作は
遅延時間経過後に操作しても、消火剤の放出を止めることはできない。

320 ニッタン株式会社 CAR-M 型、CAU-M 型(手動専用の場合)

(1) 外観



手動専用のシステムの
場合、自動起動・手動
起動の切替えはできま
せん。

(2) 操作方法

ア 手動で起動する場合

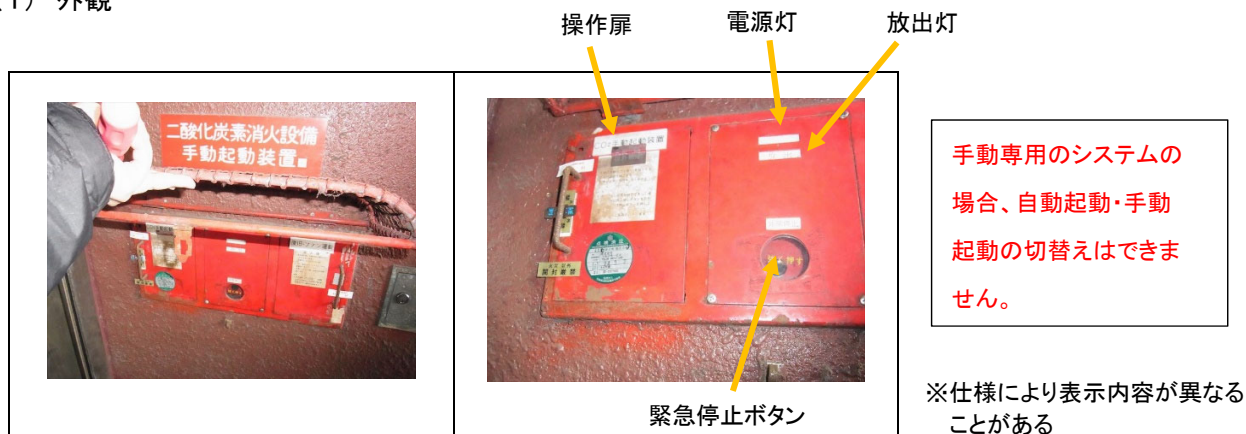
① 操作扉を開ける 操作扉を開ける。区画内に音声メッセ ージ又はサイレンが流れる。	② 放出押ボタンを押す 区画内に人がいないことを確認し、保 護板を押し抜くよう強く押す。放出押 ボタンの上の起動灯が点灯する。 速やかに避難すること。	③ 消火剤が放射される 遅延時間経過後、消火剤が放出さ れ、放出灯が点滅する。

イ 緊急停止する場合

		<u>遅延時間とは</u> 起動スイッチ操作後、放出されるまで に遅延時間を設けている。遅延時間 は二酸化炭素の場合20秒以上であ るが、物件により異なる。 <u>緊急停止の操作は</u> 遅延時間経過後に操作しても、消火 剤の放出を止めることは できない。
① 放出押ボタンを引く。 停止する場合は、遅延時間が完了す る前に放出押ボタンを引き戻す。	② 起動灯が消灯する 起動灯が消灯することを確認する。 操作扉を閉めると音声が停止する。	

321 ニッタン株式会社 型式不明(手動専用型)

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動で起動する場合

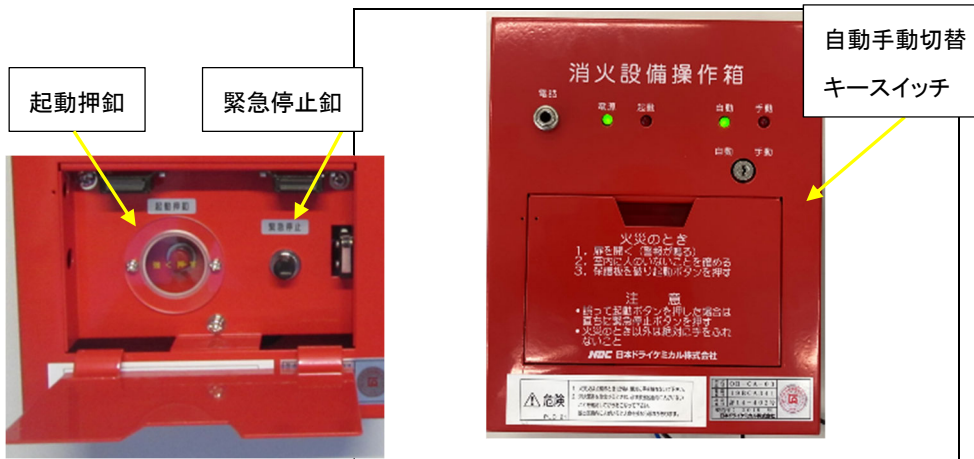


イ 緊急停止する場合



322 日本ドライケミカル株式会社 OB-CA 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

The control box is shown in its initial state with the automatic lamp lit.	A yellow arrow points to the '切替用キー' (Change Key) being inserted into the switch.	The switch is turned to the manual position, and the manual lamp is lit.
① 設置場所の確認 区画の入口付近に設置されていることを確認する。	② 切替用キーを挿す 自動ランプが点灯していることを確認し、切替用キーを挿す。	③ 手動に切り替える 切替用キーを手動側に回し、手動ランプが点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

The control box is shown in its initial state with the manual lamp lit.	A blue arrow indicates the '切替用キー' (Change Key) being turned to the automatic position.	The change key is shown being removed from the switch.
① 切替用キーを挿す 手動ランプが点灯していることを確認し、切替用キーを挿す。	② 自動に切り替える 切替用キーを回し、自動ランプが点灯していることを確認する。	③ 切替用キーを外す 切替が完了したら、切替用キーを外す。

ウ 手動で起動する場合



① 扉を開ける
起動装置の下部にある扉を開ける。



② 起動押釦を押す
起動押釦を押します。
保護プレートは強く押せば破れる。



③ 起動ランプが点滅
起動押し釦を押すと、起動ランプが点滅する。

エ 緊急停止する場合



① 緊急停止釦を押す
緊急停止釦を押す。
その後、起動ランプが消灯していることを確認する。

↓手動起動に切り替える場合（入室時）





動画を
確認！

↓自動起動に切り替える場合（退室時）



↓手動で起動する場合





動画を
確認！

↓緊急停止する場合



323 日本フェンオール株式会社 CMS-12 型

(1) 外観

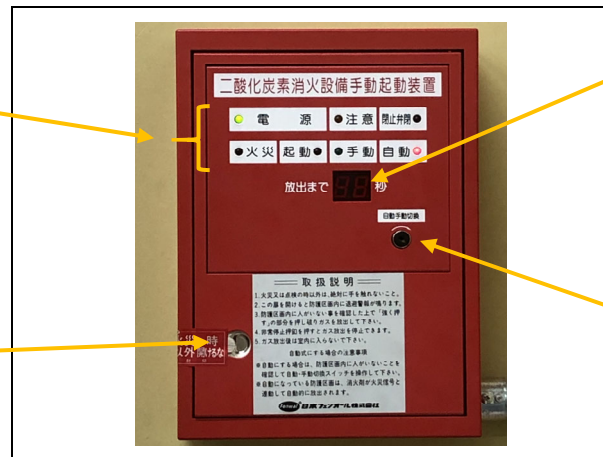
名称 : 表示灯

機能 : 状態を表示します。

通常表示 : 電源灯と自動灯または
手動灯のみ点灯してい
ます。

名称 : 扉開閉パチン錠

機能 : 扉の開閉操作を行います。

扉を開放すると退避音響が
鳴動します。

名称: カウントダウン表示

機能: 起動操作後、二酸化炭素放
出までの遅延時間(秒)を表
示します。

名称: 自手動切換 SW

機能: 切換キーを使用して起動方
式を切り換えます。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置の確認

・区画出入口の付近(駐車場は入出
庫扉の横)の壁に設置されていま
す。

② 切換キーを差し込む

・付属の切換キーを差し込みます。



③ 切換キーを回す

・時計回りに回し、自動灯から手動灯
へ切り換わるのを確認し、手を放し
てください。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① 切換キーを差し込む

・付属の切換キーを差し込みます。



② 切換キーを回す

・時計回りに回し、手動灯から自動
灯へ切り換わるのを確認し、手を
放してください。↓ 手動起動に切り替える
場合(入室時)動画を
確認!↓ 自動起動に切り替える
場合(退室時)

ウ 手動で起動する場合

火災灯点滅を確認

① 扉を開ける

- ・パチン錠をつまみ上げて手前に引き、扉を開きます。
- ・退避音響警報が流れます。
- ・火災灯が点滅し火災信号が移報されます。

注) 次の②起動ボタン操作を行う前に、区画内の人の退避を必ず確認してください。

起動灯点灯を確認

起動ボタン強く押す

② 起動ボタンを押す。

- ・有機ガラスの上から起動ボタンを強く押し込み、起動灯が点灯するまで押し続けてください。
- ・火災灯が点灯に変わり、起動灯が点灯し放出カウントダウンが開始します。

③ 放出表示灯の確認

- ・放出カウントダウンがゼロ秒になると、区画の扉閉鎖連動が無い場合は直ちに消火剤が放出され、放出表示灯が点灯または点滅します。
- ・扉閉鎖連動がある場合は、放出カウントダウンゼロで扉の閉鎖が開始し、扉の閉鎖後に消火剤が放出されます。

エ 緊急停止する場合

非常停止ボタン

① 非常停止ボタンを押す

- ・放出遅延時間中に起動を停止する場合は、非常停止ボタンを押してください。
- ・遅延時間が経過して、消火剤放出が開始してしまった後は放出を停止することはできません。

起動灯消灯を確認

② 起動停止を確認する

- ・非常停止ボタンが押されるとカウントダウンと起動灯が消灯し、起動が停止します。
- ・火災灯は点滅となり、退避音響警報は継続します。

↓手動で起動する場合

動画を
確認!

↓緊急停止する場合

324 日本フェンオール株式会社 CMS-22 型

(1) 外観

名称 : 表示灯

機能 : 状態を表示します。

通常表示: 電源灯と自動灯または
手動灯のみ点灯してい
ます。

名称: 扉開閉パチン錠

機能: 扉の開閉操作を行います。

扉を開放すると退避音響が鳴
動します。



名称: 自手動切換 SW

機能: 切換キーを使用して起動方
式を切り換えます。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

① 設置位置の確認 ・区画出入口の付近(駐車場は入出庫扉の横)の壁に設置されています。	② 切換キーを差し込む ・付属の切換キーを差し込みます。	③ 切換キーを回す ・時計回りに回し、自動灯から手動灯へ切り換わるのを確認し、手を放してください。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

① 切換キーを差し込む ・付属の切換キーを差し込みます。	② 切換キーを回す ・時計回りに回し、手動灯から自動灯へ切り換わるのを確認し、手を放してください。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合



① 扉を開ける

- ・パチン錠をつまみ上げて手前に引き、扉を開きます。
- ・退避音響警報が流れます。
- ・火災灯が点滅し火災信号が移報されます。

注) 次の⑦起動ボタン操作を行う前に、区画内の人の退避を必ず確認してください。



② 起動ボタンを押す。

- ・有機ガラスの上から起動ボタンを強く押し込み、起動灯が点灯するまで押し続けてください。
- ・火災灯が点灯に変わり、起動灯が点灯し放出遅延時間が開始します。



③ 放出表示灯の確認

- ・放出遅延時間が経過すると、区画の扉閉鎖連動が無い場合は直ちに消火剤が放出され、放出表示灯が点灯または点滅します。
- ・区画扉閉鎖連動がある場合は、放出遅延時間経過で扉の閉鎖が開始し、シャッター閉鎖後に消火剤が放出されます。

エ 緊急停止する場合



① 非常停止ボタンを押す

- ・放出遅延時間中に起動を停止する場合は、非常停止ボタンを押してください。
- ・遅延時間が経過して、消火剤放出が開始してしまった後からは放出を停止することはできません。



② 起動停止を確認する

- ・非常停止ボタンが押されると起動灯が消灯し、起動が停止します。
- ・火災灯は点滅となり、退避音響警報は継続します。

↓手動で起動する場合



動画を
確認!

↓緊急停止する場合



325 株式会社初田製作所 SPB-24 型

(1) 外観

起動扉

消火薬剤の放出、
及び非常停止に用いる
釦がある。



表示灯(左より)

電源表示灯(緑)

起動表示灯(赤)

手動表示灯(緑)

自動表示灯(緑)

閉止弁閉表示灯(赤)

切替キースイッチ

自動手動の切り替えを
鍵を差し回して行う。

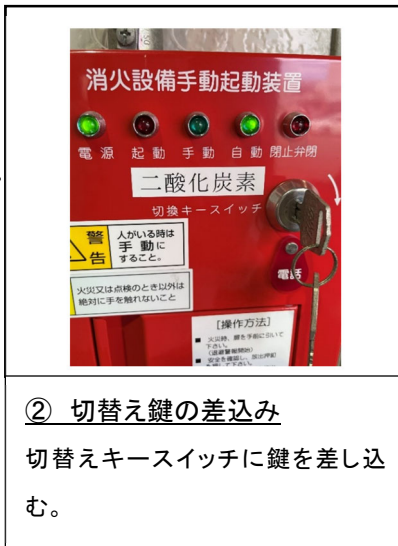
(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 設置位置を確認

防護区画の主たる出入口に
設置されていることを確認する。



② 切替え鍵の差込み

切替えキースイッチに鍵を差し込
む。



③ 手動への切替え作業

切替キースイッチを一度右に捻り、
中央へ戻す。自動ランプの消灯、及
び手動ランプの点灯を確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① 切替え鍵の差込

切替キースイッチに鍵を差し込む。



② 手動への切替え作業

切替キースイッチを一度右に捻り、
中央へ戻す。手動ランプの消灯及
び自動ランプの点灯を確認する。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

音声警報「火事です。火事です。」

消火剤を放出します。危険ですので避難してください。」



① 手動起動釦の確認

手動起動装置の起動扉を開き、放出押釦(左部赤色)と非常停止押釦(右部白色)を確認する。



② 放出押釦を押す

アクリル板を破り、放出押釦(左部赤色)を押す。



③ 消火剤放出表示の確認

防護区画の出入り口に設置されている放出表示灯が、点滅若しくは点灯していることを確認する。

エ 緊急停止する場合



① 非常停止押釦を押す

アクリル板を破り、非常停止押釦(右部白色)を押す。

① 遅延時間について

放出スイッチを押してから消火剤が放出されるまで、一定の遅延時間を設けている(遅延時間は物件により異なる)。

② 非常停止押釦について

上記遅延時間内でのみ、非常停止押釦を押すことで、消火剤の放出を停止することが可能。

↓手動で起動する場合



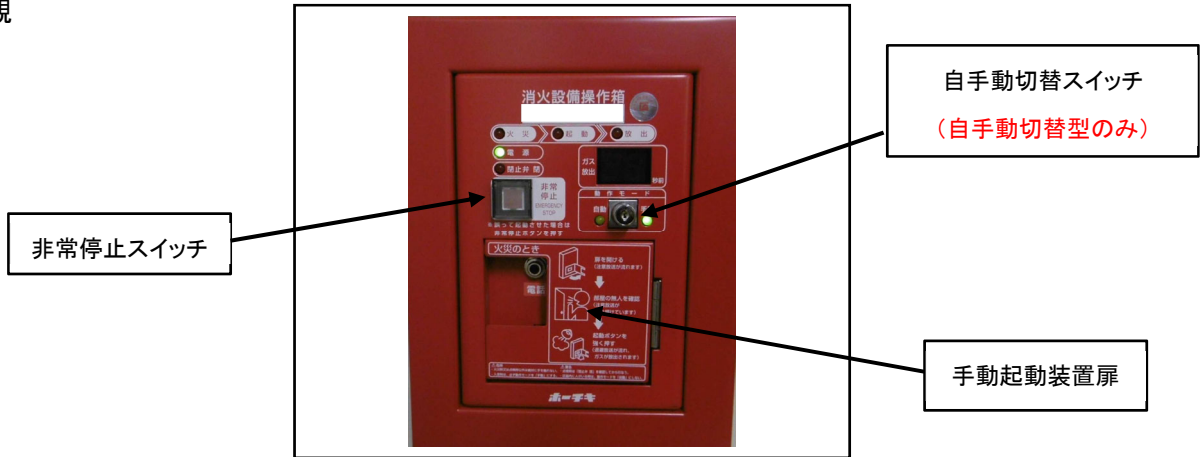
動画を
確認!

↓緊急停止する場合



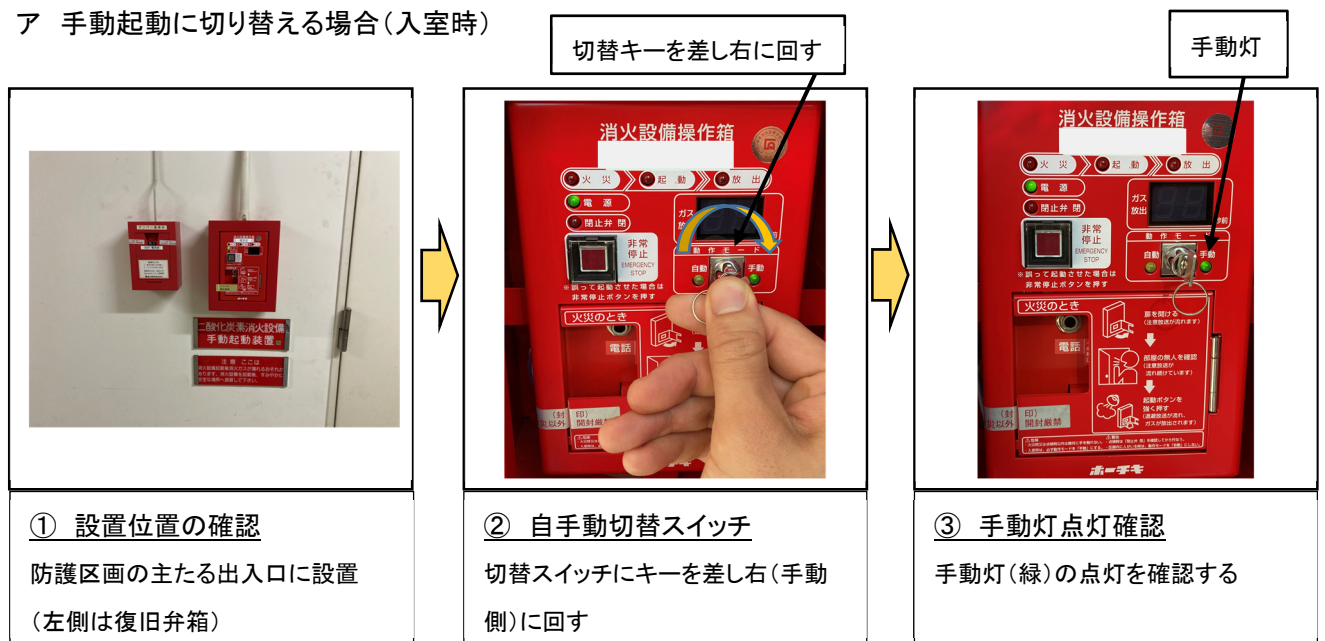
326 ホーチキ株式会社 GCK-E 型

(1) 外観

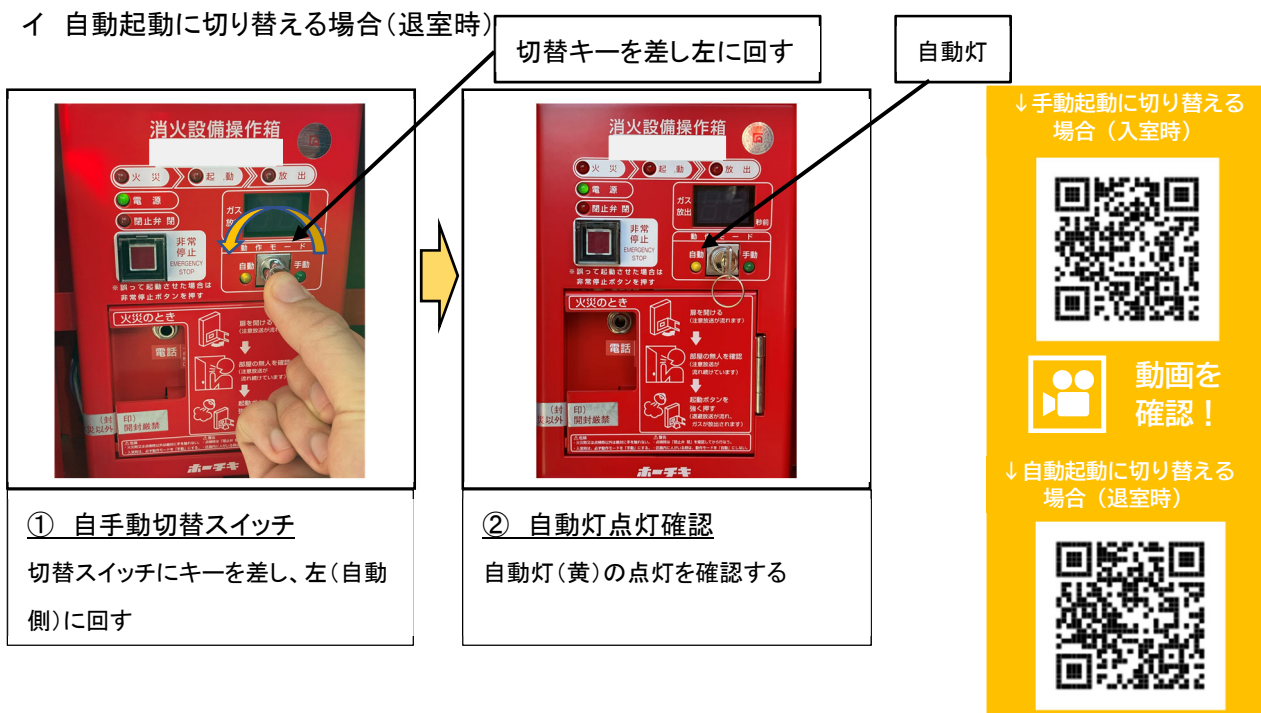


(2) 操作方法(手動型の場合は切替スイッチ・自動灯・手動灯はありません)

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

起動ボタン

カウントダウン

放出灯



① 手動起動装置の扉

- 扉を手前に引いて開ける。
- 防護区画内に音声警報が鳴動、火災灯(赤)点滅。



② 起動ボタン

- 防護区画内に人がいないことを確認して保護板を破り起動ボタンを押す。
- 起動灯(赤)の点灯を確認する。
- 放出までのカウントダウン開始(遅延時間を表示)。



③ 放出灯点灯確認

放出灯(赤)の点灯を確認する
出入口上部にある放出表示灯が点灯または点滅している時には防護区画内に立入らない。
出入口等からの消火剤漏洩に注意し安全な場所へ避難する。

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。火事です。
消火剤を放出します。

出入口付近に設置
する放出表示灯



※ 遅延時間は 20 秒以上となっています。(防護区画の閉鎖時間や避難時間等を考慮して区画毎に設定されています)

エ 緊急停止する場合

非常停止押ボタン



① 非常停止スイッチ

遅延時間内に非常停止押ボタンを押す



② 起動灯消灯確認

起動灯が消灯したことを確認する

↓ 手動で起動する場合



動画を
確認!

↓ 緊急停止する場合

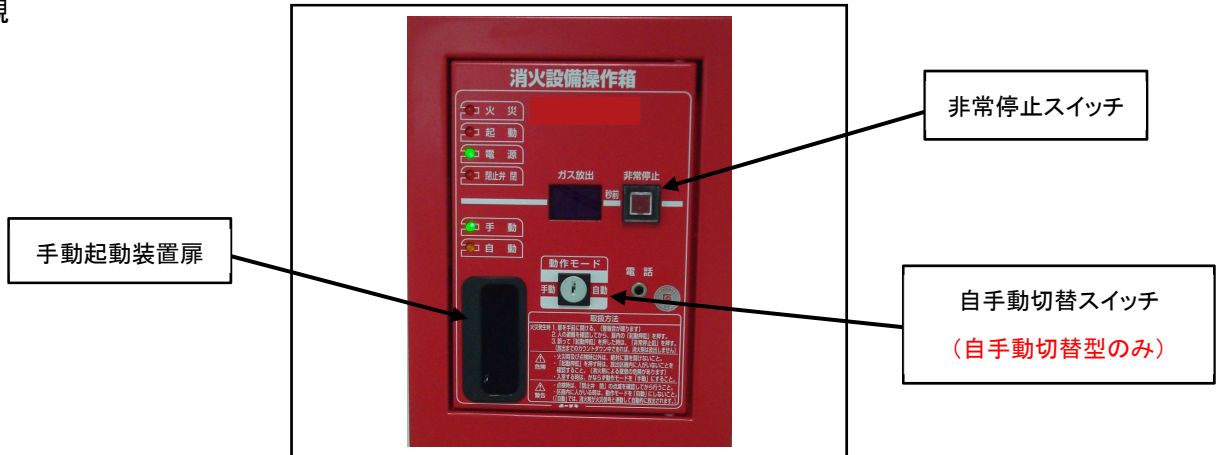


※ 工事等作業時に誤って起動となった場合、カウントダウン終了前までに操作すると起動停止します。

※ 消火剤が放出開始してから非常停止操作することは出来ません。

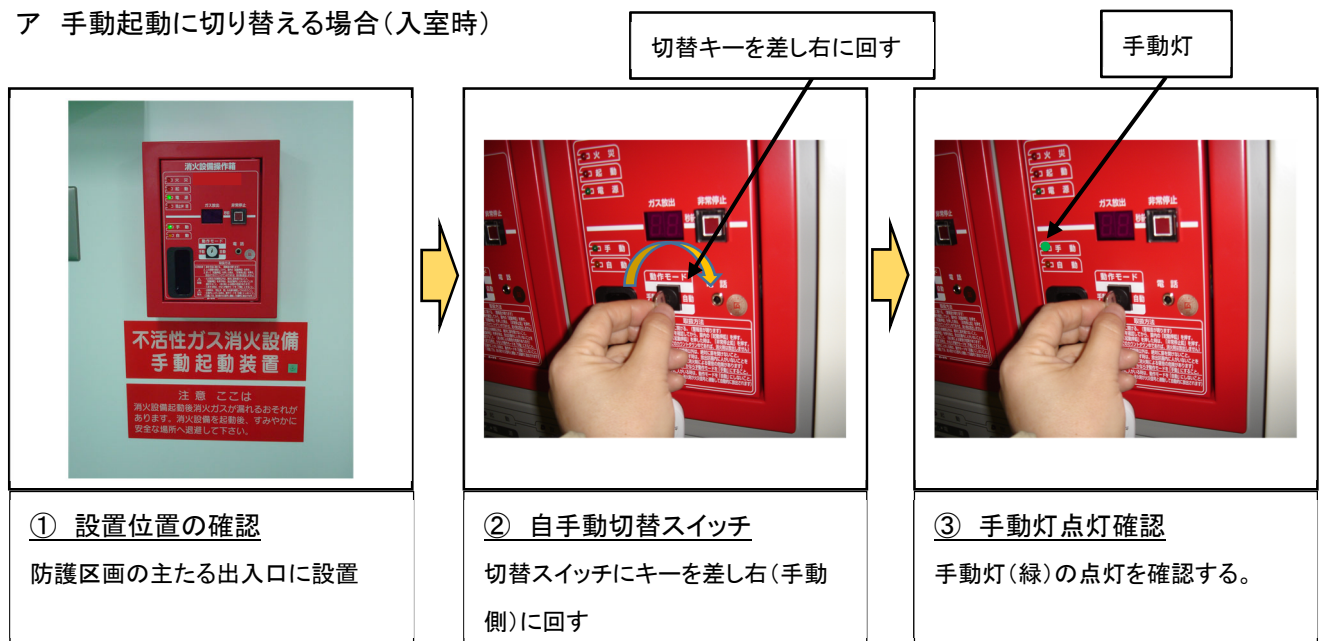
327 ホーチキ株式会社 GCK-C 型

(1) 外観

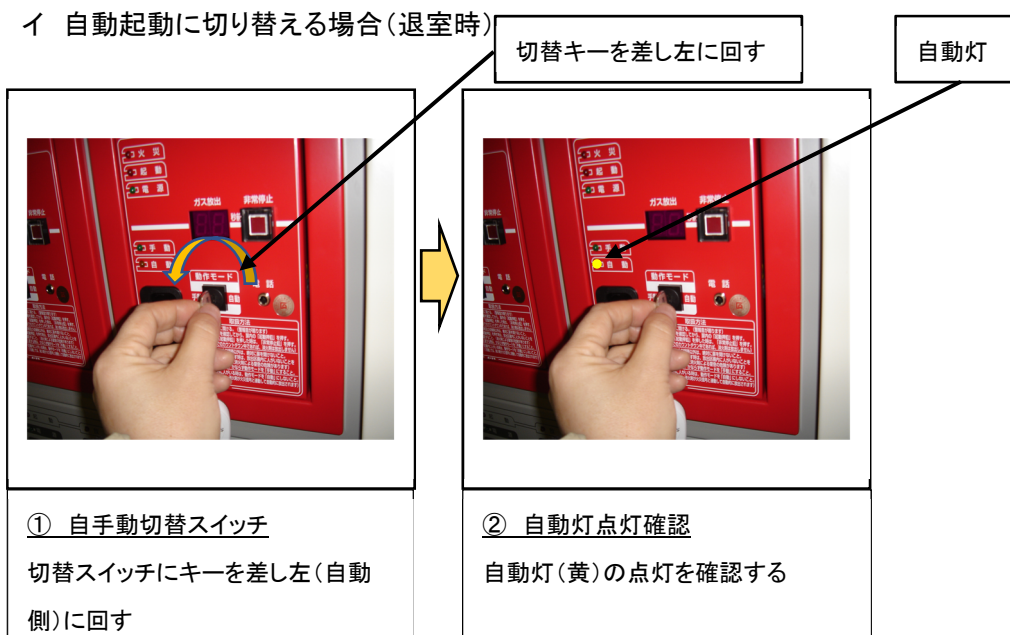


(2) 操作方法(手動型の場合は切替スイッチ・自動灯・手動灯はありません)

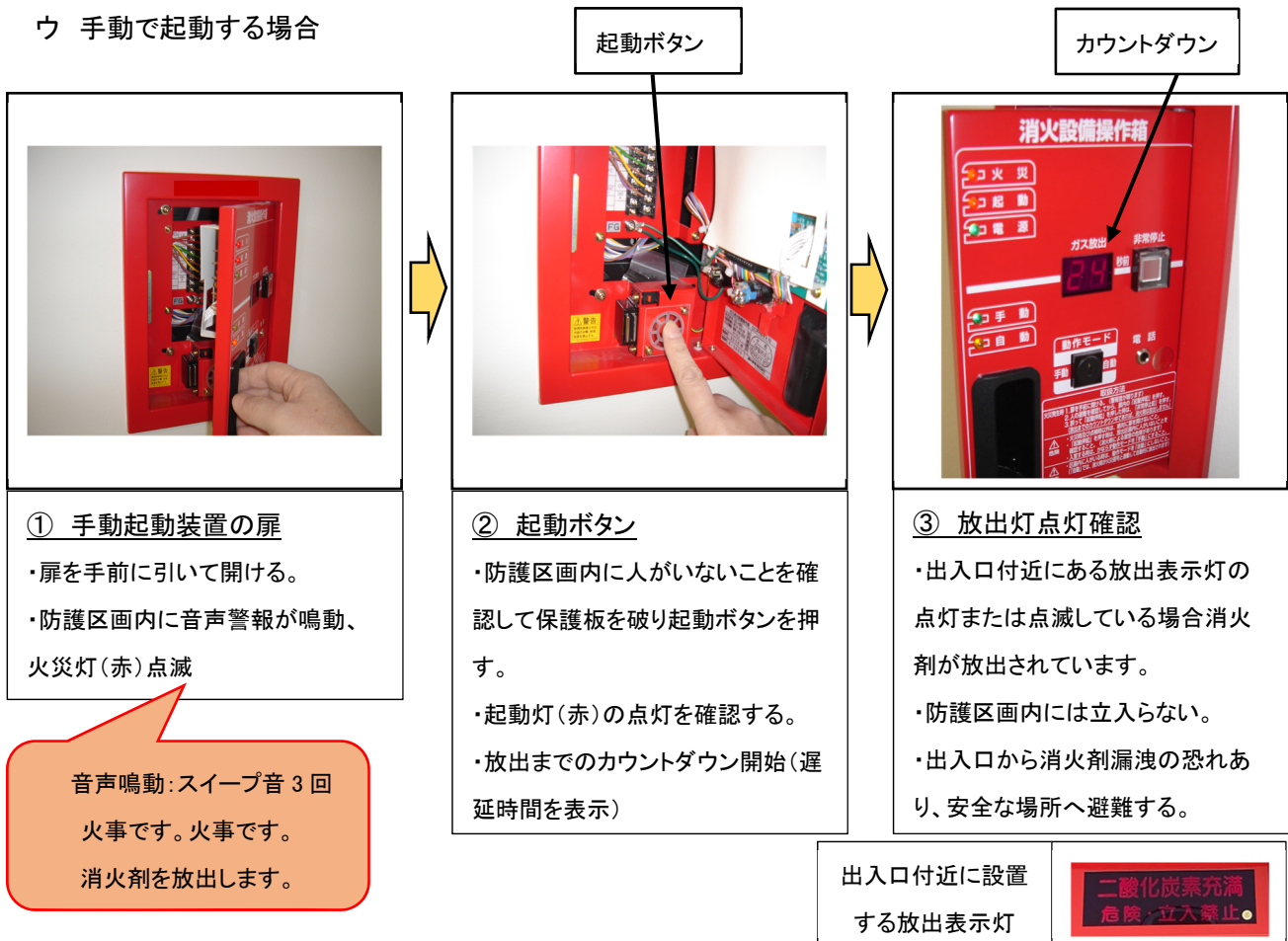
ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合



※ 遅延時間は 20 秒以上となっています。(防護区画の閉鎖時間や避難時間等を考慮して区画毎に設定されています)

エ 緊急停止する場合

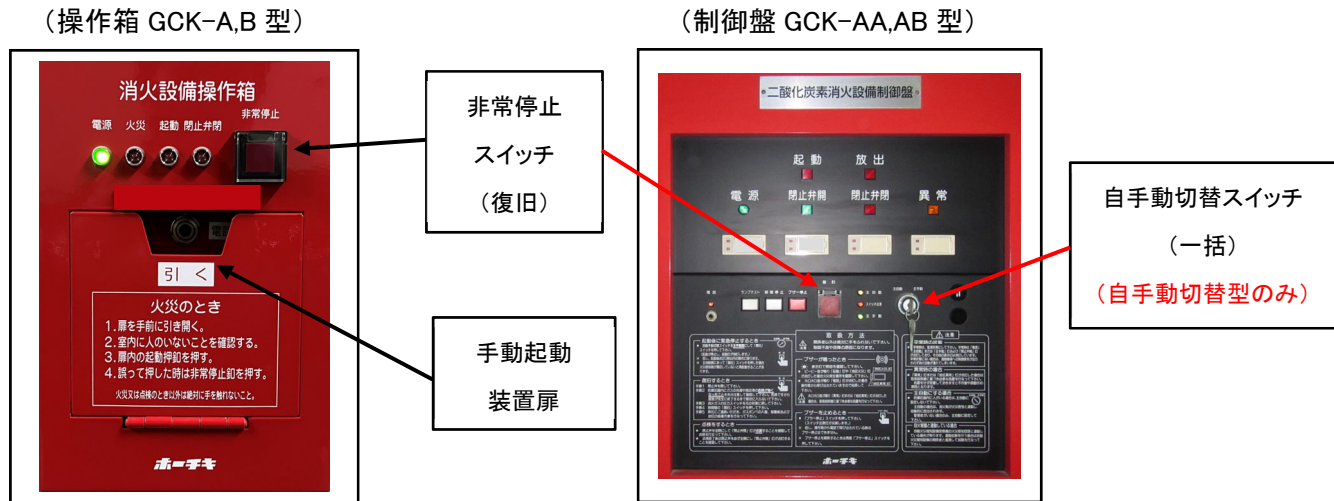


※ 工事等作業時に誤って起動となった場合、カウントダウン終了前までに操作すると起動停止します。

※ 消火剤が放出開始してから非常停止操作することは出来ません。

328 ホーチキ株式会社 GCK-A,B 型

(1) 外観



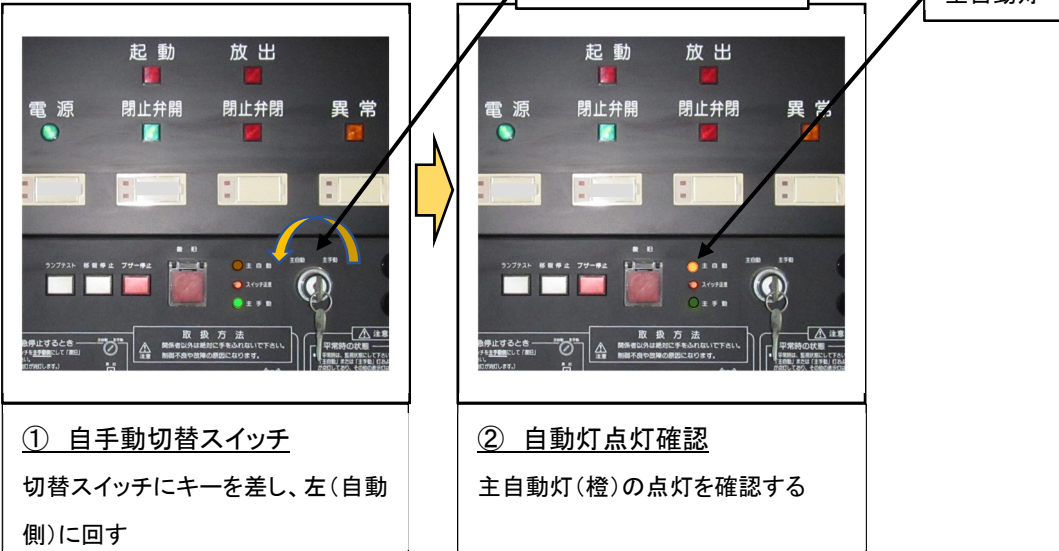
(2) 操作方法

制御盤から一括切替え(操作箱には自手動切替スイッチ及び状態表示はありません)

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合



① 手動起動装置の扉

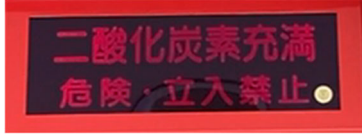
- ・扉を手前に引いて開ける。
- ・防護区画内に音声警報が鳴動、火災灯(赤)点灯



② 起動ボタン

- ・防護区画内に人がいないことを確認して保護板を破り起動ボタンを押す。
- ・起動灯(赤)の点灯を確認する。

設定遅延時間後に放出
(カウントダウン表示無)



③ 放出灯点灯確認

- ・出入口付近にある放出表示灯の点灯または点滅している場合消火剤が放出されています。
- ・防護区画内には立入らない。
- ・出入口から消火剤漏洩の恐れあり、安全な場所へ避難する。

音声鳴動: スイープ音 3 回
火事です。
消火剤を放出します。

※ 遅延時間は 20 秒以上となっています。(消火剤放出までのカウントダウン表示はありません)

エ 緊急停止する場合



① 非常停止スイッチ

放出前(遅延時間内)に非常停止操作



② 起動灯消灯確認

起動灯が消灯したことを確認する

↓ 手動で起動する場合



動画を
確認!

↓ 緊急停止する場合



※ 工事等作業時に誤って起動となった場合、消火剤放出までに操作すると起動停止します。

※ 遅延時間は 20 秒以上となっています。(消火剤放出までのカウントダウン表示はありません)

※ 消火剤が放出開始してから非常停止操作することは出来ません。

329 モリタ宮田工業株式会社(旧:宮田工業株式会社) MA-02 型

(1) 外観例

起動確認灯

起動時に点灯します。

扉レバー

引くと扉が開き警報が流れます。
「手動起動」または「緊急停止」
の操作時のみ引く。



自・手動切替キースイッチ

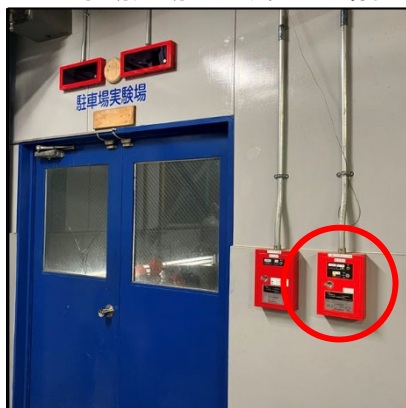
制御モードの「自動」「手動」を
切り替えるスイッチ。
操作にはキーが必要。

自・手動表示灯

現在の制御モードを表示する。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 起動装置位置の確認

設備が設置された室への入口付近
に設置される。



② スイッチで手動に切替え

管理用のキーを挿し込み回すと切り
替わる。



③ 手動モードを確認

「手動」の表示灯が点灯したことを
確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① スイッチで自動に切替え

管理用のキーを挿し込み回すと切り
替わる。



② 自動モードを確認

「自動」の表示灯が点灯したことを
確認する。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



ウ 手動で起動する場合

① 扉を開く
レバーを引くと扉が開き警報音が流れる。

② 起動押釦で起動
赤いボタンで起動する。
封板は強く押すと破れる。

③ 起動を確認
起動確認灯の点灯を確認し、退避すること。

エ 緊急停止する場合

① 非常停止押釦で停止
黒いボタンで停止すると、
起動確認灯が消灯する。

※ 起動後の遅延時間内のみ放出を停止可能。

※ 遅延時間は最短 20 秒で、放出後の停止はできないため退避する。

330 ヤマトプロテック株式会社 TY4 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

① キーの差し込み ・自・手動切替スイッチにキーを差し込む。	② 切替え作業 ・キーを手動側に捻り、手動状態に切り替える。 ・手動状態を示すランプが点灯する。	③ キーの取外し ・キーを取り外す。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

① キーの差し込み ・自・手動切替スイッチにキーを差し込む。	② 切替え作業 ・キーを自動側に捻り、自動状態に切り替える。 ・自動状態を示すランプが点灯する。	③ キーの取外し ・キーを取り外す。

ウ 手動で起動する場合

扉開時、音声警報が流れる。
スリープ音×3回
⇒火事です。火事です。
消火剤を放出します。

起動ボタン(手動起動用)
※通常は透明な保護板によって
ボタン全面が保護されています。

起動ボタンを押すと、起動ランプが点灯。
遅延時間経過後、消火剤が放出。

エ 緊急停止する場合

注 1) 下記の緊急停止作業は、遅延時間内で停止するためのものです(遅延時間は物件により異なる)。

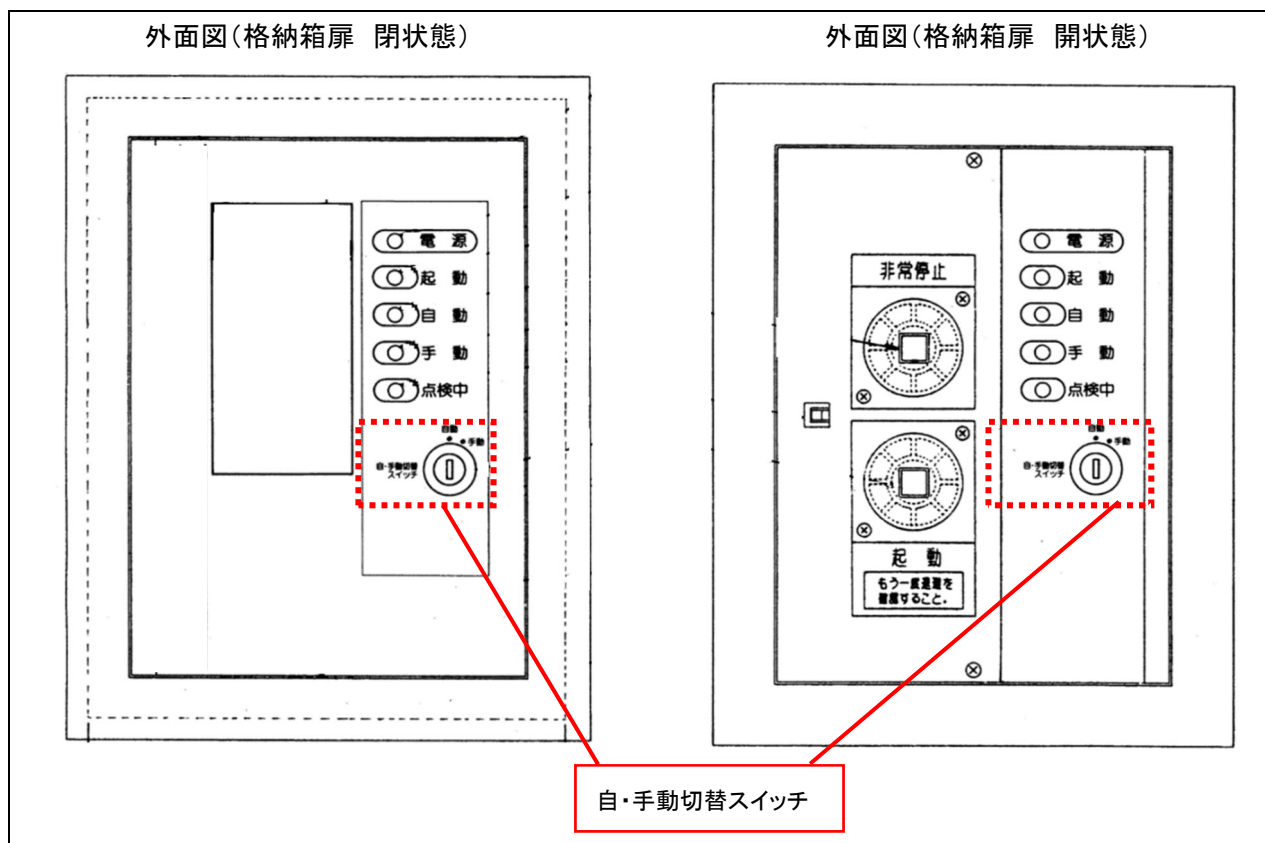
注 2) 遅延時間経過後は、緊急停止によって、消火剤放射を途中で停止することはできない。

① 非常停止ボタンを押す

② 停止確認
起動灯が消灯する。

331 ヤマトプロテック株式会社 TY2 型、TY3 型

(1) 外観



(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

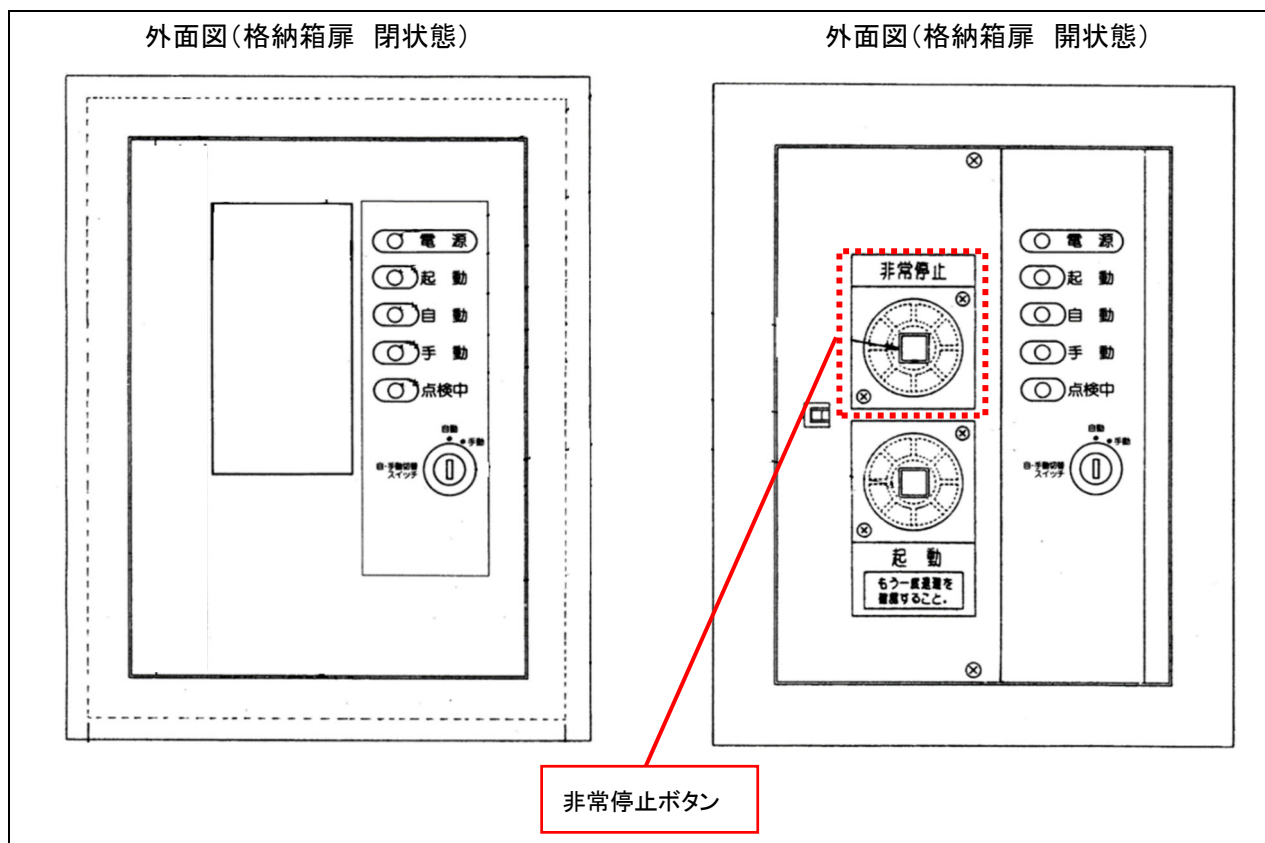
- 1) キーの差し込み : 「自・手動切替スイッチ」にキーを差し込む。
- 2) 切替え作業 : キーを手動側に捻り、手動状態に切り替える。手動状態を示すランプが点灯する。
- 3) キーの取り外し: キーを取り外す。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

- 1) キーの差し込み : 「自・手動切替スイッチ」にキーを差し込む。
- 2) 切替え作業 : キーを自動側に捻り、自動状態に切り替える。自動状態を示すランプが点灯する。
- 3) キーの取り外し: キーを取り外す。

(3) 緊急停止装置

ア 外観



イ 操作方法

注 1) 下記の緊急停止作業は、遅延時間内で停止するためのものです(遅延時間は物件により異なる)。

注 2) 遅延時間経過後は、緊急停止によって、消火剤放射を途中で停止することはできません。

1) 非常停止ボタン操作 : 「非常停止ボタン」を押す。

2) 停止確認 : 起動灯が消灯する。

4 制御盤の操作手順

401 エア・ウォーター防災株式会社 CA 型、CBA 型

○ 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合（入室時）

切替キーを差し右に回す



① 設置位置の確認

ポンベ庫に制御盤が設置
制御盤での切替え



② 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し
込み、右側（手動側）に回す



③ 主手動灯点灯確認

主手動灯が点灯していることを確認
する。

イ 自動起動に切り替える場合（退室時）

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、左側
（自動側）に回す。



② 主自動灯点灯確認

主自動灯が点灯していることを確認
する。

↓手動起動に切り替える
場合（入室時）



動画を
確認！

↓自動起動に切り替える
場合（退室時）



402 エア・ウォーター防災株式会社 CSA 型、CSBA 型

○ 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

切替キーを差し右に回す



① 設置位置の確認

ポンベ庫に制御盤が設置
制御盤での切替え



② 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し込み、右側(手動側)に回す。



③ 主手動灯点灯確認

主手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、左側(自動側)に回す。



② 主自動灯点灯確認

主自動灯が点灯していることを確認する。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



403 エア・ウォーター防災株式会社 CPA 型、CPBA 型

○ 操作方法

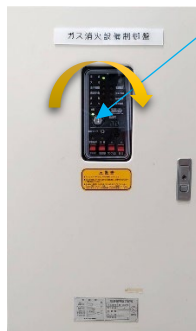
ア 手動起動に切り替える場合（入室時）

切替キーを差し右に回す



① 設置位置の確認

ポンベ庫に制御盤が設置
制御盤での切替え



② 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し込み、右側（手動側）に回す。



③ 主手動灯点灯確認

主手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合（退室時）

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、左側（自動側）に回す。



② 主自動灯点灯確認

主自動灯が点灯していることを確認する。

↓手動起動に切り替える
場合（入室時）



動画を
確認！

↓自動起動に切り替える
場合（退室時）



404 エア・ウォーター防災株式会社 RKPSA 型

○ 操作方法

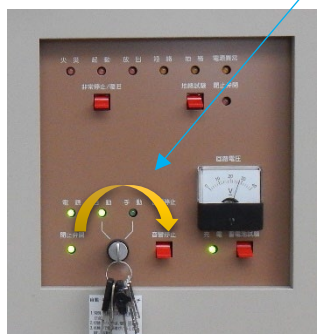
ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

切替キーを差し右に回す



① 設置位置の確認

ポンペ庫に制御盤が設置
制御盤での切替え



② 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し
込み、右側(手動側)に回す。

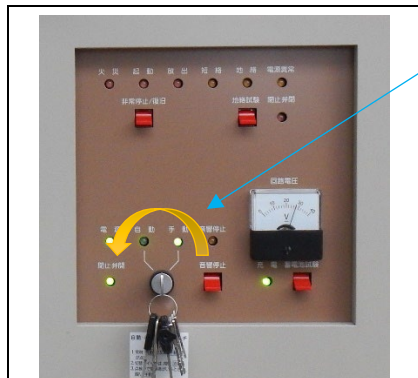


③ 主手動灯点灯確認

主手動灯が点灯していることを確認
する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

切替スイッチにキーを差し込み、左側
(自動側)に回す。



② 主自動灯点灯確認

主自動灯が点灯していることを確認す
る。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



405 エア・ウォーター防災株式会社 KTAMSB 型 他

○ 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

切替キーを差し右に回す



① 設置位置の確認

ポンベ庫に制御盤が設置
制御盤での切替え



② 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し込み、右側(手動側)に回す。

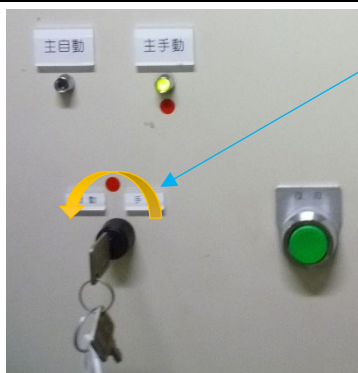


③ 主手動灯点灯確認

主手動灯が点灯していることを確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

切替キーを差し左に回す



① 自手動切替スイッチ

制御盤の切替スイッチにキーを差し込み、左側(自動側)に回す

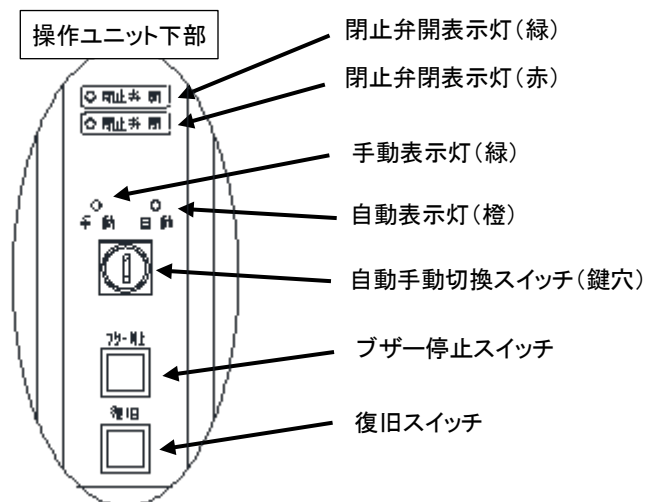
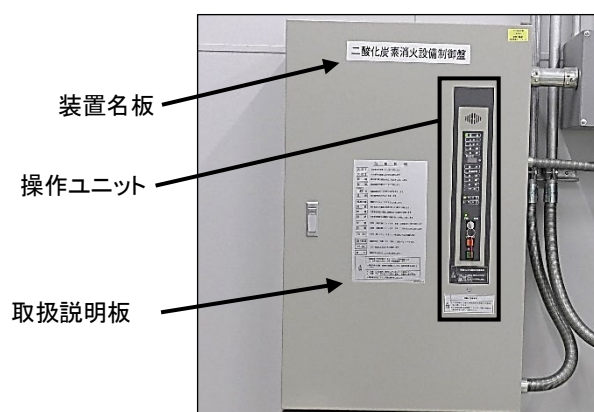


② 主自動灯点灯確認

主自動灯が点灯していることを確認する。

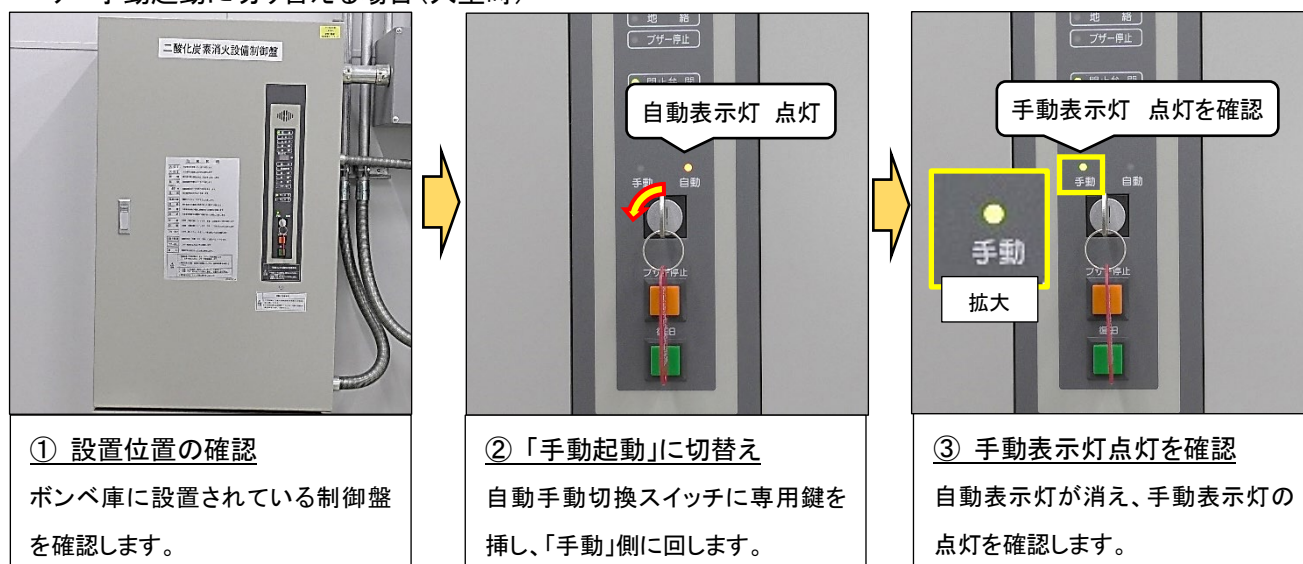
406 株式会社コアツ TC型

(1) 外観

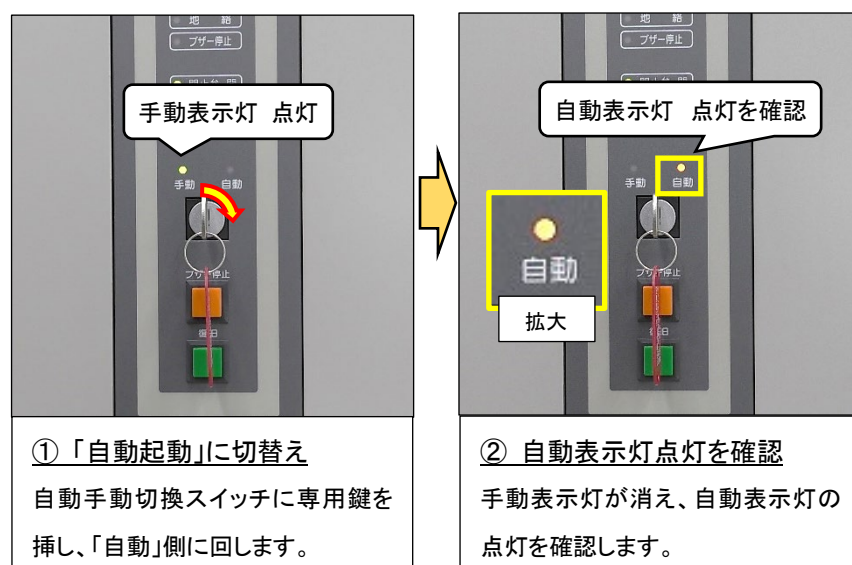


(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓手動起動に切り替える場合(入室時)

動画を
確認！

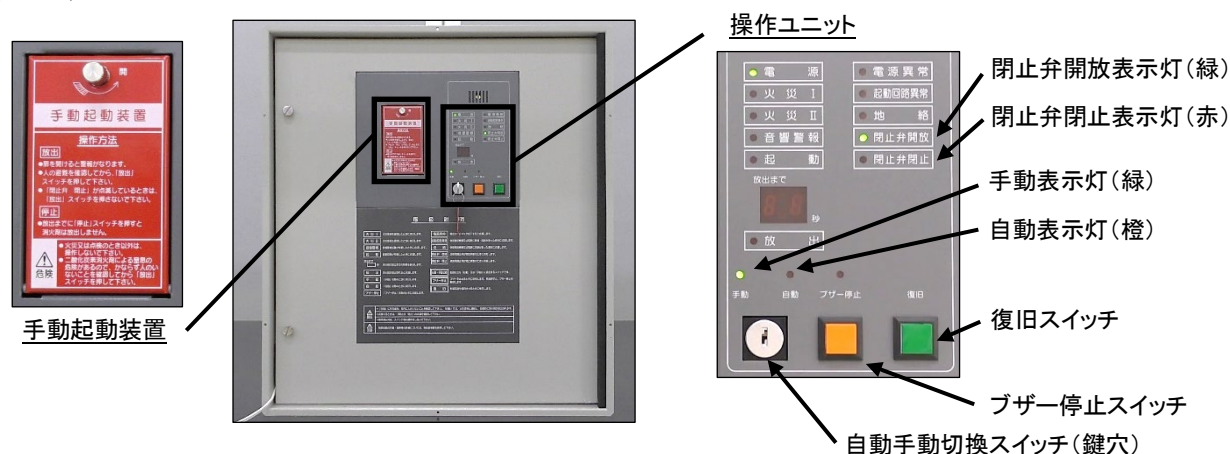
↓自動起動に切り替える場合(退室時)



注意：自動手動切換スイッチを専用鍵で操作する際には、必要以上に力を加えないで下さい。

407 株式会社コーアツ TC110V-GS型、TC110V-GM型

(1) 外観

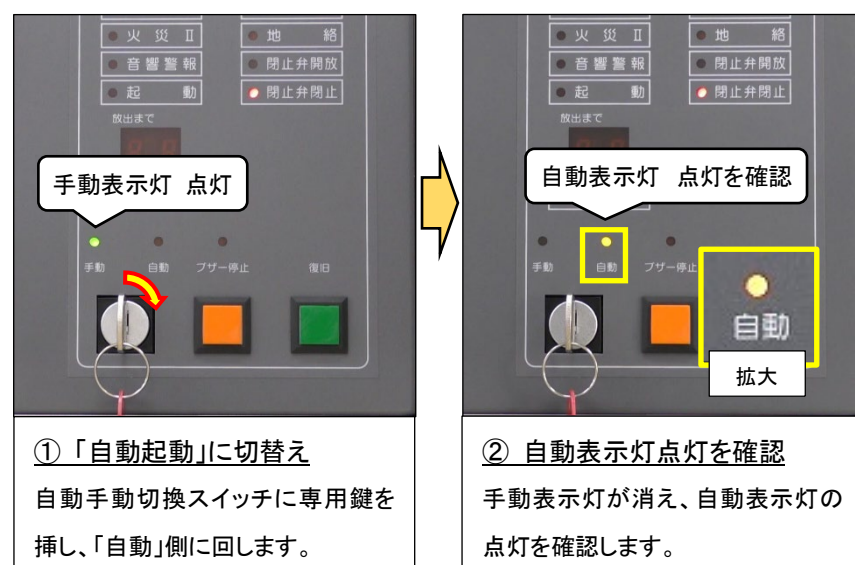


(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓手動起動に切り替える場合(入室時)

動画を
確認!

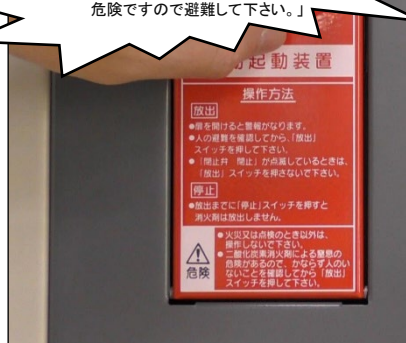
↓自動起動に切り替える場合(退室時)



注意: 自動手動切換スイッチを専用鍵で操作する際には、必要以上に力を加えないで下さい。

ウ 手動で起動する場合

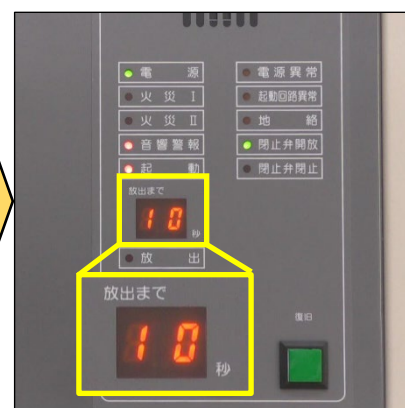
警報音が流れる
「火事です！火事です！
消火剤を放出します。
危険ですので避難して下さい。」



- ① 手動起動装置の扉を開ける
防護区内に人がいないことを確認した後、扉を開けます。



- ② 放出用スイッチを押す
「放出」と表示された赤色のスイッチを保護カバーの上から押します。



- ③ 遅延時間※1が表示される
放出用スイッチを押すと、扉面のカウントダウンタイマーに遅延時間が表示されます。

エ 緊急停止する場合



- ④ 放出表示灯が点滅する
遅延時間経過後、消火剤が放出され、放出表示灯が点滅します。



- 停止用スイッチ※2を押す
遅延時間以内に、「停止」と表示された緑色のスイッチを保護カバーの上から押します。

注釈

※1 遅延時間

放出用スイッチを押してから消火剤が放出されるまで、一定の遅延時間を設けています(遅延時間は物件により異なります)。

※2 停止用スイッチ

遅延時間経過後に停止用スイッチを押した場合、途中で消火剤の放出を停止することはできません。

↓手動で起動する場合



動画を
確認！

↓緊急停止する場合



408 東京計器株式会社(株式会社トキメック) RP111、RPV111 他

(1) 外観

切換スイッチ



※本操作方法是操作箱に切換スイッチがなく制御盤にて切換えを行う場合の説明

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

① 設置位置の確認 ポンベ室内に設置されている制御盤にて、切換えを行う。	② 鍵を差し込む 制御盤の切換スイッチに鍵を差し込み、手動側に約 90 度回して手動に切り換える。	③ 手動表示灯の点灯を確認 自動表示灯の消灯と手動表示灯の点灯を確認したら、鍵を引き抜く。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)

① 鍵を差し込む 制御盤の切換スイッチに鍵を差し込み、自動側に約 90 度回して自動に切り換える。	② 自動ランプ点灯を確認 手動表示灯の消灯と自動表示灯の点灯を確認したら、鍵を引き抜く。

409 ニッタン株式会社 5C 型

(1) 外観

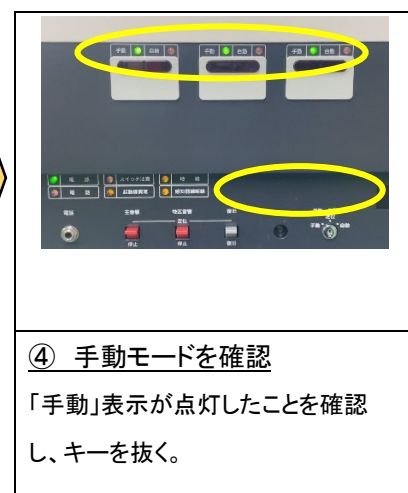
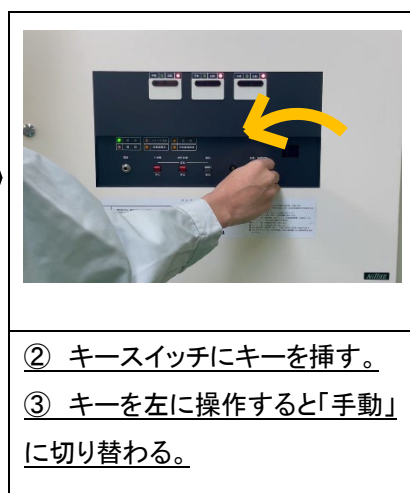


制御盤にキースイッチがあれば、制御盤でも自動、手動の切替ができる。

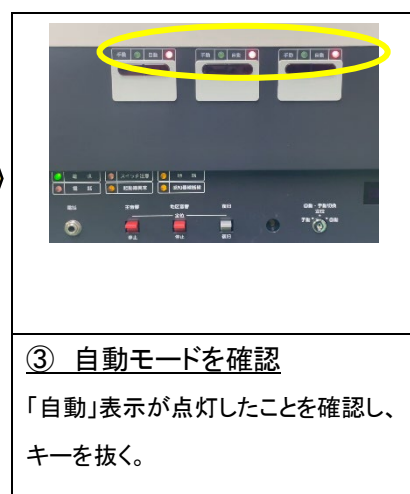
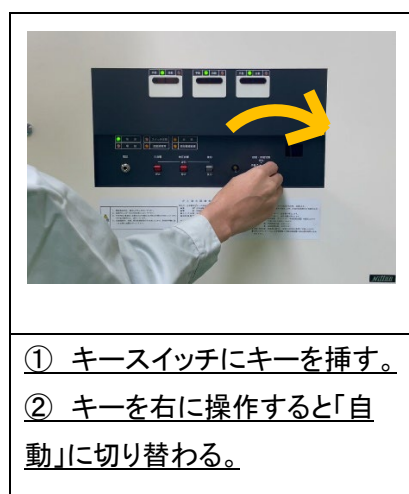
自動、手動の表示灯は、仕様によって異なり、左図の丸印のいずれかの箇所にある。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓手動起動に切り替える場合(入室時)



動画を
確認!

↓自動起動に切り替える場合(退室時)



410 日本フェンオール株式会社 CCPA 型 1 回線用

(1) 外観



名称: 自手動表示灯

機能: 起動方式が自動または手動のいずれであるかを表示します。

名称: 自手動切換 SW

機能: 切換キーを使用して起動方式を切り換えます。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



↓ 手動起動に切り替える場合(入室時)

動画を
確認!

↓ 自動起動に切り替える場合(退室時)

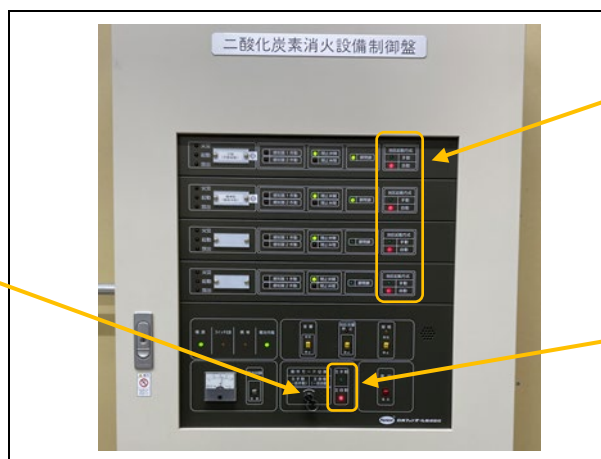


411 日本フェンオール株式会社 CCPA 型 多回線用

(1) 外観(4 回線用の例)

名称:自手動切換 SW

機能:切換キーを使用して起動方式を切り換えます。



名称:地区自手動表示灯

機能:各回線(各地区)の起動方式が自動または手動のいずれであるかを表示します。

名称:主自手動表示灯

機能:制御盤の自手動切換 SW で切換操作した起動方式を表示されます。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)

自手動表示灯を確認

① 設置位置の確認

- ・ポンベ室に設置されています。
- ・地区毎の起動方式を地区自手動表示灯で確認します。

動作モード切換

主手動 (一括手動) | 主自動 (一括自動)

主手動 | 主自動

② 切換キーを差し込む

- ・付属の切換キーを差し込みます。

主手動灯点灯を確認

動作モード切換

主手動 (一括手動) | 主自動 (一括自動)

主手動 | 主自動

③ 切換キーを回す

- ・時計回りに回し、表示灯が主自動から主手動へ切り換わるのを確認し、手を放してください。
- ・全回線の起動方式が、一括で手動に切り換わります。

地区手動灯点灯を確認

④ 起動方式の確認

- ・全回線で地区手動灯が点灯していることを確認します。

イ 自動起動に切り替える場合（退室時）

		
① 切換キーを差し込む ・付属の切換キーを差し込みます。	② 切換キーを回す ・時計回りに回し、表示灯が主手動から主自動へ切り換わるのを確認し、手を放してください。 ・全回線の起動方式が、一括で自動に切り換わります。	③ 切換キーを回す ・全回線で地区自動灯が点灯していることを確認します。

↓手動起動に切り替える 場合（入室時）	↓自動起動に切り替える 場合（退室時）
	動画を 確認！
	

412 モリタ宮田工業株式会社(旧:宮田工業株式会社) UCP-A 型

(1) 外観例

自・手動表示灯
区画ごとの現在の
制御モードを表示。



自・手動切替キースイッチ
制御モードの「自動」「手動」を
一斉に切り替えるスイッチ。
操作にはキーが必要。

(2) 操作方法

ア 手動起動に切り替える場合(入室時)



① 制御盤位置の確認
ポンベ室に設置される。



② スイッチで手動に切替え
管理用のキーを挿し込み回すと切り
替わる。



③ 手動モードを確認
「手動」の表示灯が点灯したことを
確認する。

イ 自動起動に切り替える場合(退室時)



① スイッチで自動に切替え
管理用のキーを挿し込み回すと切り
替わる。



② 自動モードを確認
「自動」の表示灯が点灯したことを
確認する。

↓手動起動に切り替える
場合(入室時)



動画を
確認!

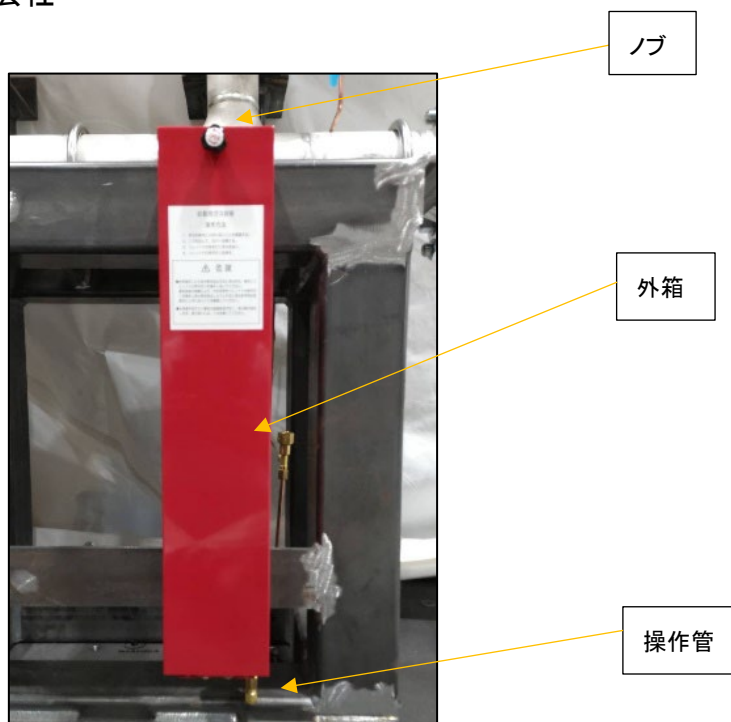
↓自動起動に切り替える
場合(退室時)



5 操作管の取外し手順

501 エア・ウォーター防災株式会社

(1) 外観



(2) 二酸化炭素消火設備の構成及び操作管ルートの把握

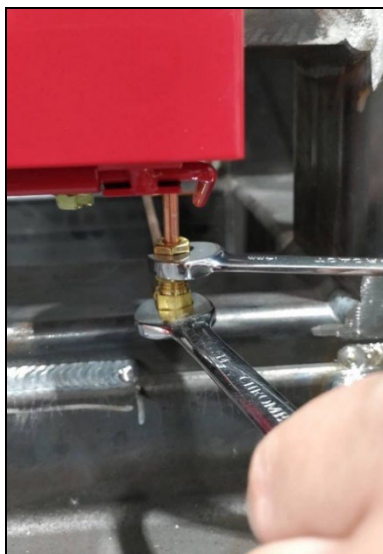
二酸化炭素消火設備の系統図、貯蔵容器室平面図等を参照し、ボンベ室の位置、操作管のルート及び操作管の取外し箇所を正確に把握すること。

(3) 操作管の取外し方法



① 取外し箇所の確認

起動用ガス容器の下部にある操作管の取外し箇所を確認する。



② 操作管の取外し

スパナ等を使用し、操作管を取り外す。



③ 操作管の確認

操作管が取り外されていることを確認する。取り外した操作管をずらしておく。



動画を
確認！

↓操作管の取外し



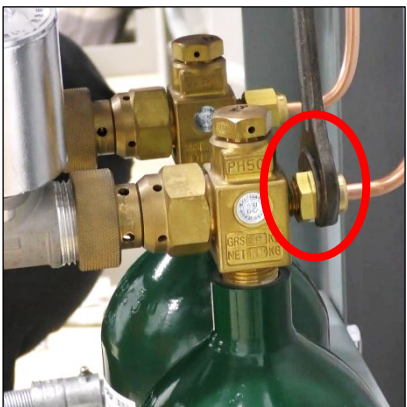
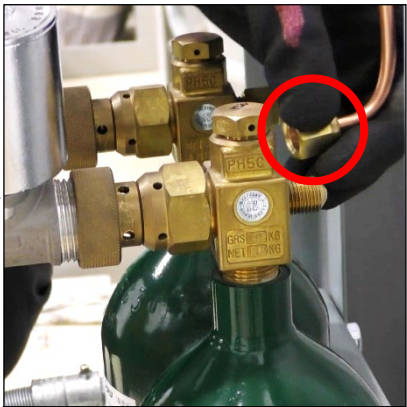
502 株式会社コーアツ

(1) 操作管取外し箇所の確認

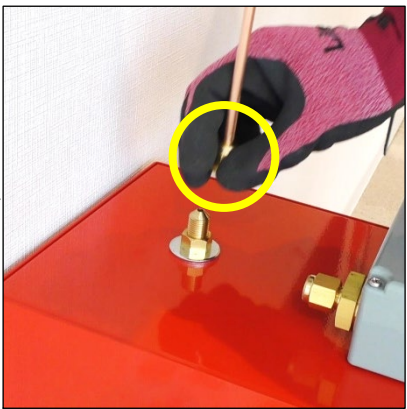
系統図やポンベ庫詳細図から操作管のルートを確認し、安全措置上切り離す必要がある操作管箇所を把握します。

(2) 操作管の取外し

ア 起動用ガス容器から操作管を取り外す場合

 容器弁ソレノイド 起動用ガス容器		
① 設置位置の確認 ポンベ庫に設置されている起動用ガス容器を確認します。	② フレアナットを緩める スパナ又はモンキレンチを使用しフレアナットを緩めます。	③ 操作管を取り外す 容器弁出口から操作管を取り外します。

イ 起動容器箱から操作管を取り外す場合

 起動容器箱 (容器弁ソレノイド及び 起動用ガス容器収納)		
① 設置位置の確認 ポンベ庫に設置されている起動容器箱を確認します。	② フレアナットを緩める スパナ又はモンキレンチを使用しフレアナットを緩めます。	③ 操作管を取り外す 起動容器箱から操作管を取り外します。

ウ 貯蔵容器に直接容器弁ソレノイド(電磁式容器弁開放器)が取り付けられている場合

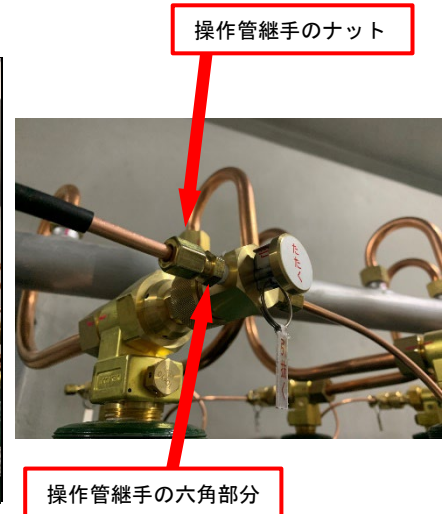
連結管(貯蔵容器出口のループ管)に接続された操作管を、スパナ又はモンキレンチを使用して取り外して下さい。

↓ 起動用ガス容器から 取り外す場合 	動画を 確認! 	↓ 起動容器箱から 取り外す場合 
---	--	--

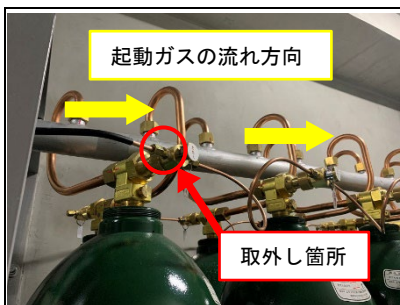
503 東京計器株式会社(株式会社トキメック) 容器弁 TMC-15A(よ-108 号)

(1) 外観例

消火設備図面及び実物にて、操作管の起動ガスの流れを確認し、取外し箇所を正確に把握する。

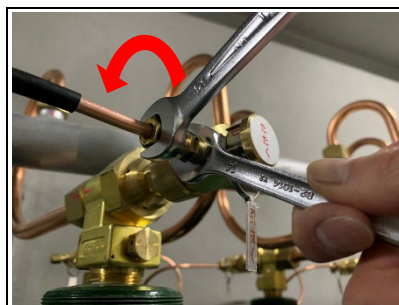


(2) 操作管の取外し



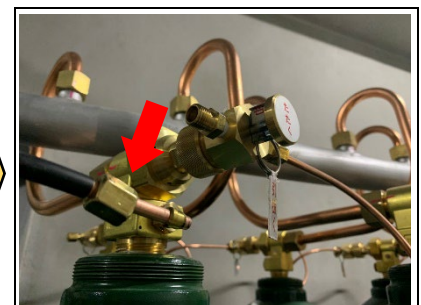
① 作業箇所の確認

起動ガスの流れ及び、操作管と開放器の接続状態を確認し、取外し箇所を確認する(写真では1ヶ所だが複数ある場合もある)。



② 取外し作業 1

容器弁開放器に接続されている操作管継手の六角部分をスパナで固定し、操作管継手のナットをスパナで緩め、操作管を取り外す。



③ 取外し作業 2

取り外した操作管を開放器から離す(操作管と開放器が一直線に並ばないようにする)。



動画を
確認!

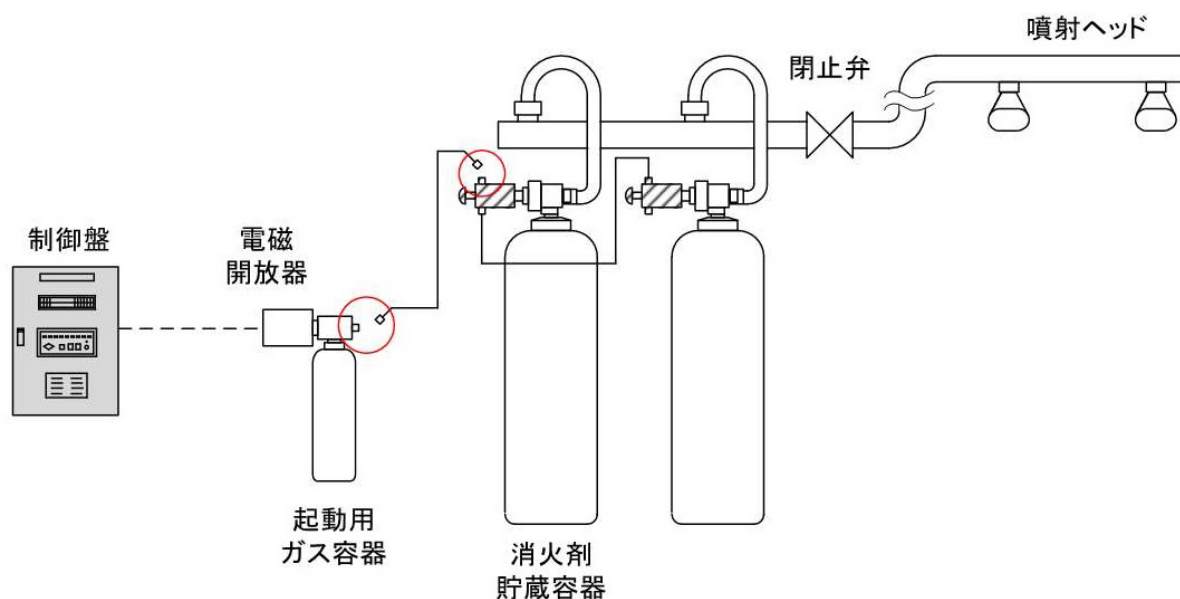
↓ 操作管の取外し



504 ニッタン株式会社

(1) 二酸化炭素消火設備の構成及び操作管のルートの把握

二酸化炭素消火設備の系統図、貯蔵容器室平面図等を参照し、ボンベ室の位置、操作管のルート及び操作管取外し箇所を正確に把握すること。



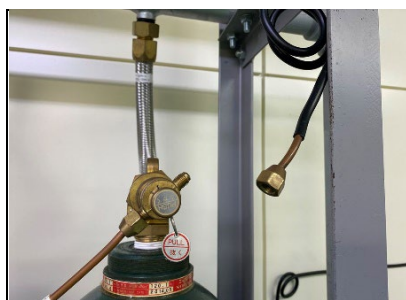
(2) 操作管の取外し

ア 貯蔵容器側の取外し



① 取外し箇所の確認

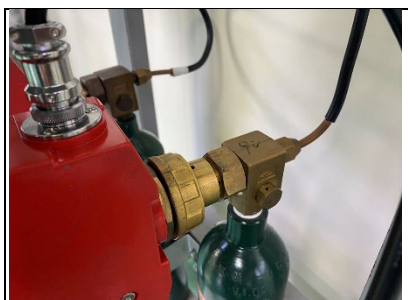
取外し箇所に誤りがないことを確認する。



② 操作管の取外し

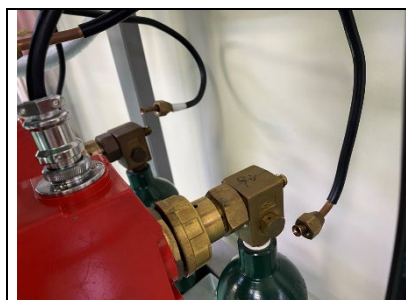
スパナ等を使用し、操作管を取り外す。取り外した管端は一直線に並ばないようにする。

イ 起動用ガス容器側の取外し



① 取外し箇所の確認

取外し箇所に誤りがないことを確認する。



② 操作管の取外し

スパナ等を使用し、操作管を取り外す。取り外した管端は一直線に並ばないようにする。

↓ 操作管の取外し
(貯蔵容器側)



動画を
確認！

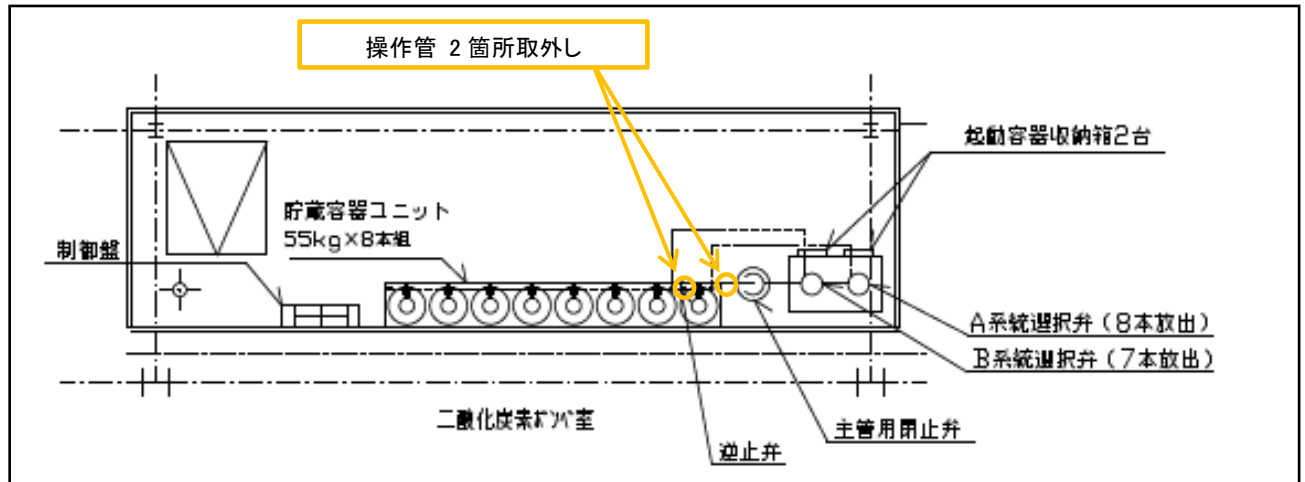
↓ 操作管の取外し
(起動用ガス容器側)



505 日本フェンオール株式会社

(1) 操作管ルート確認

系統図またはポンベ室平面図等により操作管のルートを確認し、貯蔵容器ユニットからの操作管取外し箇所を確認する。



ポンベ室平面図

(2) 操作管の取外し

① 取外し箇所確認 ・ポンベ室内の操作管ルートが図面と一致していることを確認する。 ・操作管取外し箇所に札などの印をつける。	② 取外し ・容器弁開放装置に接続されている銅管継手を、二面幅 14mm のスパナを使用して取り外す。	③ 取外し確認 ・必要箇所の取外しを二人以上のダブルチェックで確認する。

(3) 操作管の接続

- ・ 札などの印をつけて取り外した操作管をすべて接続する。
- ・ 全ての操作管が元のとおり接続されていることを、二人以上のダブルチェックで確認する。

↓ 操作管の取外し	動画を 確認!	↓ 操作管の接続
------------------	--------------------	-----------------

506 株式会社初田製作所

起動用ガス容器箱に接続されている操作管(起動用ガスライン)を取り外す。

(1) 操作管の取外し方法

	
① 取外し箇所の確認 起動用ガス容器の上部にある操作管の取外し箇所を確認する。	② 操作管の取外し スパナ等を使用し、操作管を取り外す。 取り外した操作管は、継手からずらす。

(2) 上記作業後、次の作業を行う

- ・ 閉止弁を「閉」にする。
- ・ 制御盤の「閉止弁 閉」表示灯の点滅を確認する。
- ・ ソレノイド(電磁開放器)を取り外す前に、ソレノイドの安全栓が取り付けられていることを確認する。
- ・ ソレノイド本体をしっかり持って、ソレノイドの接続袋ナットを緩めていく。
- ・ 接続袋ナットが外れたら、ゆっくりソレノイドを起動用ガス容器から取り外す。
- ・ 制御盤の電源をOFFにする。

↓ 操作管の取外しまで 		動画を 確認！	↓ 操作管の取外しから 電源 OFF まで 
--	---	--------------------	---

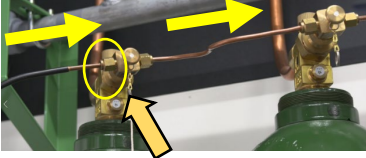
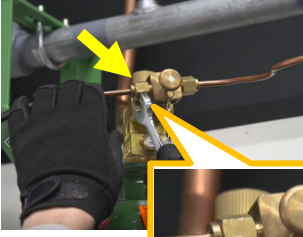
507 ヤマトプロテック株式会社

(1) 外観例



図面及び実物確認にて、操作管の起動ガスの流れ確認、取外し箇所を、あらかじめ確認する。

(2) 作業方法

起動ガスの流れ方向  取外し箇所	 	
① 作業箇所の確認 ・操作管(起動管、起動銅管)と開放器の接続状態を確認する。 ・取外し箇所を確認する。	② 取外し作業 1 ・工具で接続箇所(袋ナット部)を掴む。 ・工具で接続箇所を緩める。	③ 取外し作業 2 ・操作管を開放器から取り外す。 ・開放器が間違っって加圧されない様に、取り外した操作管を開放器から離す。